

# 地方史情報

133  
2017年9月

織豊期研究の現在〈いま〉

藤田達生

織豊期研究会が発足して、早くも20年が経過した。この間、それなりに学会として認知されたとしたら、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康という三人の天下人の故郷である東海地域に事務局を置くという、その地域性によるところ大であろう。発足当初から、共同研究を重ねながら、おおよそ次の問題意識が研究会メンバーに共有されてきたと、筆者は認識している。

① どうして、東海地域から近世化への胎動がはじまったのか。

たまたま三人の英雄が誕生したからではなく、東海地域の地域的特性が彼らの活躍の前提として大きく作用したと考えた。つまり、東国社会の成熟を前提としつつ、京都と東国を結び、かつ日本海と太平洋の距離がもっとも短く、東西・南北の流通の結節点という地域的な特徴が、積極的に作用したとみたのである。

② 織豊期は、戦国期とも江戸期とも異なる一段階ではなかったか。

戦国期からの量的発展とは違い、質的な転換を遂げた時代であり、必ずしもそのまま江戸期にはつながらない一段階と考えた。連続か断絶かではなく、様々な可能性があり、その生成・消滅過程としてとらえることをめざした。

私たちが、この20年間の研究会活動を通じて確信したのが、如上のごとき織豊政権の独自性だった。今回の織豊期研究会創立20周年記念シンポジウム「織豊期研究の現在〈いま〉」は、約1年前から構想を練り、準備報告会を重ねて実現したものであるが、特にこの点に焦点を絞ることになった。当日(2015.11.28)の報告を経て、本書に収録した論考は下記の通りである。

基調講演 藤井譲治「身分としての奉公人—その創出と消滅—」

論考編 本多博之「織豊期経済論」 山本浩樹「織田期の政治過程と戦争」

光成準治「織豊大名論」 藤田達生「天下統一論」 平井上総「豊臣期地論」  
(中略) この20年間、織豊期を対象とする研究は活況を呈し、格段の深化を遂げた。シンポジウムを準備する過程で、研究会に出席する若手研究者を中心に、テーマ別に研究史の成果と課題に関する報告会を開催した。これについては、「第2部 研究史をふり返る」に収録された各論考を参照されたい。

(織豊期研究会編『織豊期研究の現在〈いま〉』2017.5、小社刊、「総論」より)

# 地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

\*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

## 北海道・東北

### ◆アイヌ語地名研究

アイヌ語地名研究会（発売：北海道出版企画センター）

〒001-0017札幌市北区北十七条西1丁目  
1-1 コーポ望 TEL011-299-6834 年5000円  
1998年創刊

◇19 2016.12 B5 125p 2000円

タツコブ像の再検討—夕張郡のタツコブをめぐって 明石 一紀  
タツコブ地形を再考する

—タツコブは双頭の山 中野 良宣  
タツコブ地名(資料) 渡辺 隆  
まほろしの村 迫別(せまりべつ)

と鶴抜(ぬえぬんけ) 早田 国光  
利尻島史にみるアイヌ語地名 西谷 榮治  
頓別川筋のアイヌ語地名 伊藤せいち

地名解 試行錯誤(1) 伊藤せいち  
地名探訪うらばなし 渡辺 隆  
池田実・清水清次郎 著作目録

### ◆アイヌ語地名研究会会報

〒001-0017札幌市北区北十七条西1丁目  
1-1 コーポ望 TEL011-299-6834 年5000円  
◇62 2017.3 B5 6p

アイヌ語地名を歩く—山田秀三の  
地名研究から 網走／オホーツクを学ぶ 戸部 千春

動のアイヌ民族史  
ササ葺き住居の秘密 瀬川 拓郎  
◇63 2017.4 B5 8p

『アイヌ語地名を歩く—山田秀三

の地名研究から— 2013年夏  
根室』を学ぶ 戸部 千春

神津島のタツコブ 村崎恭子著

「アイヌ語地名で探る日本列島」  
第18回 2016.12.6 より抜粋

### ◆浦幌町立博物館紀要

〒089-5614北海道十勝郡浦幌町桜町16-1  
TEL015-576-2009 2001年創刊

◇17 2017.3 A4 36p

資料紹介 大正十五年・昭和元年  
教育雑件 浦幌村役場(2) 三浦直春・解説

### ◆浦幌町立博物館だより

〒089-5614北海道十勝郡浦幌町桜町16-1  
TEL015-576-2009 2000年創刊

◇4月号 2017.4 A4 2p

6月17日は「5年に1度の全道—  
斉花調査」の日 フラワーソン  
2017に参加しよう！ 持田 誠

### ◆浦幌町立博物館年報

〒089-5614北海道十勝郡浦幌町桜町16-1  
TEL015-576-2009 2000年創刊

◇17 2017.3 A4 92p \*事業報告のみ  
《2015(平成27)年度事業報告》

### ◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目  
かでの2・7ビル9階 TEL011-271-4220  
hokkaido-bunkazai.jp

◇359 2017.1 A4 12p

丹頂保護の歴史と今 松本 文雄

化石の魅力!! 「夢とロマンを探  
して」36年 田中 三郎

アイヌ文化の保存伝承  
川村カ子アイヌ記念館 川村 兼一

地域に根ざした運営  
つきさぶ郷土資料館 茂木 慶一

古都奈良を訪ねて 舟山 廣治  
北海道150年事業、実行委を設置

2018年に向け、多彩な取組み 武藤 健  
北海道高文連主催

郷土研究発表会に9校参加 本間 愛之  
白石区役所新庁舎

白石郷土館の併設 遠藤紘之助  
北海道遺産の今とこれから 萩 佑

文化遺産を活かした地域活性化事  
業 北海道内の聖徳太子講(上)

山田 雅也  
酪農のメッカたらむダン像に見守

られて 園家 廣子  
道央ブロック成果発表会 郷土愛

を育てる子ども民俗芸能  
教育庁・博物館課

長沼町幌内からから由仁町古川ま  
での道筋の変遷 中野 良宣

道外研修の旅  
西山厚先生と巡る奈良の寺院 大町 和男

◇360 2017.3 A4 8p  
北海道庁 赤レンガ庁舎修復・改

修へ  
生誕100年記念「染色家 岡村吉右

衛門」展を見る 舟山 廣治  
旧永山邸改修 平成30年再オーブ

ン 併設「旧三菱鉱業寮」は、  
カフェに 田村 拓未

庶民の娯楽伝える農村歌舞伎  
札幌市北区 篠路歌舞伎 遠藤紘之助

しりべしミュージアムロード  
「海と山と田園」結ぶ 矢吹 俊男

喜茂別町旧双葉小史料館は廃校舎  
今関 舞子

地域活性化事業 土地神や産業神  
など北海道内の聖徳太子講(下)

山田 雅也  
文化財講演会 「留萌のニシン漁

場」の歴史—佐賀家を中心に (Y・M)

### ◆北海道の文化 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目  
かでの2・7ビル9階 TEL011-271-4220  
1961年創刊

◇89 2017.3 A5 93p

表紙写真解説 北海道の太子講 関川 修司  
巻頭言 鉄道の転換期に 佐藤 京子  
幻の鉄道を追って 航空写真に残

された由仁軌道跡 中野 良宣  
タキワカイギユウ発見と研究・

普及活動について 木村 方一  
小川運平—北方史研究と大陸浪人

鈴木 仁  
読売あをによし賞(1) 新川 寛

「北海道史事典」の刊行あれこれ 卜部 信臣  
看雨村田峯次郎と「國富在農」碑

橋本とおる  
岡崎文吉と札幌階段式運河技術史

(2)—創成運河と閘門の実態を  
探る 山田 大隆

北海道における聖徳太子講 山田 雅也

### ◆北海道立北方民族博物館研究紀要

〒093-0042北海道網走市潮見309-1  
TEL0152-45-3888 1992年創刊  
hoppohm.org

◇26 2017.3 B5

木村捷司が描く樺太・オタスの北  
方民族—その背景と人々(2)  
網走市立美術館所蔵作品より

古道谷朝生／笹倉いる美  
網走市能取岬西岸遺跡 a 地点発掘  
調査報告書 種石 悠  
資料紹介  
謝辞『職貢図』満文解説訳注一  
アムール流域とサハリンの諸  
民族を中心に 増井 寛也  
阿寒 藤戸竹喜氏製作の木彫り  
作品について 内田 昌宏  
資料 のりすと2016  
一北方研究データベース 笹倉いる美

◆北海道れきけん 北海道歴史研究会  
〒063-0037札幌市西区西野七条9-2-12  
田中貢方 TEL011-667-2137  
homepage3.nifty.com/tm3053/  
◇84 2017.1 A4 12p  
28年度の行事(総会后12月まで)  
北海道歴史研究会 「江戸のくらし」第2回 江戸時代のお仕事・  
武士編 役職につきたい武士たち  
ち／文字が読めない武士たち 横山 義男  
勉強会報告「江戸のくらし」第1  
回(江戸のお仕事・庶民編) 講  
師：横山義男氏 (文責・田中)

◆北方民族博物館だより  
北海道立北方民族博物館  
〒093-0042北海道網走市潮見309-1  
TEL0152-45-3888 1991年創刊  
hoppohm.org  
◇103 2016.12 A4 8p  
第31回北方民族文化シンポジウム  
網走「環北太平洋地域の伝統と  
文化 1 サハリン」 中田 篤  
講座 北海道博物館紀行 羅白町  
郷土資料館 講師：天方博章氏  
種石 悠

講習会 はじめてのアイヌ刺繍  
講師：西田香代子氏 山田 祥子  
◇104 2017.3 A4 6p  
ロビー展 東京農業大学学術情報  
課程実習成果展示 食べられる  
虫たち 山田 祥子  
講座 海外所蔵写真で見る明治時  
代のオホーツク 講師：宇仁義  
和氏 山田 祥子  
講座 網走湖と世界の氷下漁  
講師：吉田睦氏 中田 篤

◆茂呂瀾 室蘭地方史研究  
室蘭地方史研究会  
〒051-0015北海道室蘭市本町1-3-7  
本野里志 TEL0143-23-9864 年3000円  
◇51 2017.3 A5 156p 1000円  
巻頭言一故駒木先生に捧ぐ 本野 里志  
駒木佐助前会長逝去  
挨拶 駒木真理子  
弔 辞 駒木先生「告別式」ご挨拶 西山 透  
故駒木佐助先生の遺されたもの  
(抄録) 岡村和義／平林滋明  
松浦武四郎による探検記録 福田 隆三  
北海道陸軍特別大演習大本営行在  
所 昭和天和納の御座椅子を探  
して 久末 進一  
浜田家文書を読む 第四回 野尻 和朗  
浜田家文書を読む 第五回 野尻 和朗  
懐かしき共楽座 岬 巴華  
輪西屯田兵村における愛媛県(香  
川県)入植者についての一考察 小森 重紀  
千里淳旧蔵資料概要一大正・戦前  
期における地方史研究活動の一  
端 松田 宏介  
民俗資料館収蔵の映画資料につい

て 谷中 聖治  
むろらんの開拓の祖 添田龍吉翁、  
泉麟太郎翁、泉忠廣翁(後) 伏木 晃  
資料紹介 むろらん事始め(3)  
編集 成田弘・伏木晃

◆郷土史三沢 三沢郷土史研究会  
〒033-0022青森県三沢市字園沢219-211  
小比類巻満方 TEL0176-54-2583  
2005年創刊

◇13 2017.3 B5 147p 1000円  
口絵 岡三沢神楽 山本 優  
「木崎野」を想う 成田 陸憲  
浜三沢・つる屋商店の由来 坂本 和子  
私の幼き頃の様子 沼田 石  
「楠木正成」異聞 皆川 勝信  
ある読者からの便り 紹介・小比類巻みつる  
私の八甲田縦走記一昭和三十五年

赤沼 晃  
三沢を支えた村々  
一岡通り編 小比類巻みつる  
開牧社について 「日本初の洋式  
……」をめぐるなど 新堂 一郎  
共同研究

三沢の方言(ま行にかかわる方言)  
馬場操・地名方言研究会  
古文書・意識「御巡見使御出ニ  
付道路普請等見積書」  
及川光男・古文書を読む会  
「三沢のむかしを語る会」(6)  
一人と馬と浜のくらし一  
記録「三沢の昔を知る会」  
〔人と馬と浜の暮らし〕

中里豊子／赤沼晃／馬場操／小比類巻  
文幸／種市嗣彦／司会・小比類巻満  
感想文「三沢の昔を知る会」に  
参加して  
山崎等／坂本和子／川守田エン／

種市テル／林崎八千代／吉田姫／  
沼田石／堀内トサ子／種市嗣彦／  
藤田光彦／山崎伸／李沢健一  
浜三沢にあった商店のことなど (みつる)  
私のマンガ遍歴 皆川 勝信  
やどこ 馬場 操  
会報(第121号～第130号)

◆弘前大学国史研究 弘前大学国史研究会  
〒036-8560青森県弘前市文京町1 弘前大  
学人文学部日本史研究室内 1956年創刊

◇142 2017.3 B5 100p  
『国家珍宝帳』に見える「王義之  
書法廿卷」の性格 黒田 洋子  
「なこやより、信直」一黒羽大名が  
みた「唐入」とその影響 千葉 一大  
弘前藩領における神職について 篠村 正雄  
七戸藩日記類にみる同藩成り立期の  
諸問題 中野渡一耕  
史料紹介 二つの児玉家、岩槻藩  
と弘前藩の児玉家一児玉南柯と  
児玉武七について 福井 敏隆  
書評と紹介  
小口雅史編『北方世界と秋田城』  
(考古学リーダー25) 渡部 育子  
熊谷公男編『アテルイと東北古  
代史』 佐藤 英雄  
『青森県史 資料編 中世4 金  
石文・編さん物・海外資料・  
補遺』 千々和 到  
『青森県史 資料編 近現代7  
青森論』 ネイスン・ホブソン

◆いわて文化財 岩手県文化財愛護協会  
〒020-0102盛岡市上田字松屋敷34  
岩手県立博物館内 TEL019-661-9688  
1970年創刊  
◇269 2017.1 A4 12p

遺物が語る郷土の歴史 「柳之御所  
遺跡 輪宝と楸」(重要文化財) 鎌田 勉  
創立四十七周年 金野 静  
蘇民ってなあに 藤波 洋香  
櫻山神社の文化財について 坂本 広行  
「全国神楽大会 ハヤチネ2016」を  
迎えて 小国 朋身  
「笛の技術講習会」とともに 高橋 邦広  
『南部家文書』の影写本で古文書展  
滝尻 侑貴  
平成28年度民俗芸能セミナー  
充実した意見交換 事務局  
わが館の文化財 えさし郷土文化  
館『平泉藤原文化の陶磁器群』相原 康二  
被災地の発掘調査現場から(8)  
赤浜Ⅱ遺跡 小林 弘卓  
◇270 2017.3 A4 8p  
遺物が語る郷土の歴史 「花立Ⅱ  
遺跡 軒平瓦」(重要文化財) 鎌田 勉  
文化財の積極的活用 相原 康二  
国指定重要文化財「小岩井農場施  
設」について 野沢 裕美  
旧菅野家住宅及び土蔵群一往來を  
見守り続ける町屋たち 浅川 甲子  
県民俗芸能フェスティバル  
一千人の観客を魅了 事務局  
わが館の文化財 二戸歴史民俗資  
料館 相馬大作の残した「隠居  
勧告文」 菅原 孝平  
被災地の発掘調査現場から(9)  
高根遺跡 西澤 正明

◆東北宗教学 東北大学宗教学研究室  
〒980-8576仙台市青葉区川内27-1 東北大  
学大学院文学研究科 TEL022-795-6022  
2005年創刊  
◇12 2016.12 A5 193p  
道元の自然観 華園 聰磨

歯骨納骨の変容—村山地方におけ  
る葬送習俗を通じて 山下 亮恂  
雑誌記事にみる民間信仰の蹟在化  
—遺言に関する記事を中心に 張 晨陽  
じゃんがら念仏踊りの発祥と伝承  
過程について 齊藤りほん  
現代民話に見る他界観分析—「よ  
みがえり」から見る他界と現世  
の境界 佐崎 愛  
自著を語る  
『宗教現象学入門』余談 華園 聰

◆ナジェージダ(希望)

石巻若宮丸漂流民の会  
〒236-0052横浜市金沢区富岡西2-21-23  
大島幹雄方 TEL045-773-4643  
deracine.fool.jp/wakamiya/  
◇37 vol.15 2016.12 A4 44p  
多十郎のジャケットが『ロマノフ  
王朝展』に『ロマノフ王朝展』  
見どころ紹介 牧野 元紀  
ダメじゃん小出「若宮丸漂流物語」  
公演レポート  
ダメじゃん小出さんの「若宮丸  
漂流物語」(通し)を聴く 柴田 明子  
「若宮丸漂流物語」を上演して  
ダメじゃん小出  
追悼 加藤九祚先生を偲ぶ会に出  
席して 大島 幹雄  
津太夫は語り始める(8) 春名 徹  
パクッたのは誰か 佐藤三寿夫  
若宮丸探検隊、ブラジルに到着!!  
—若宮丸紙芝居のブラジル公演  
レポート 福島 青史  
石巻若宮丸漂流民に関する新教材  
を作成して 齋藤 博  
井上靖『おろしや国酔夢譚』と若  
宮丸漂流民 木村 成忠

本木庄左衛門と「通詞外交」 松本 英治  
レザ—ノフ来航後の幕府の対外交  
渉を展望する 『近世後期の対  
外政策と軍事・情報』 大島 幹雄  
書評 『ラングスドルフ日本紀行  
クルーゼンシュテルン世界周  
航・レザ—ノフ遣日使節随行記』  
ゲオルグ・ハインリヒ・フォン・  
ラングスドルフ著 滝川 祐子  
新刊紹介 『Expedition as Experi  
ments』『ナマズの博覧誌』 滝川 祐子  
牡鹿半島漂流記 移住と覚悟 太田 和美

◆史の杜 東北大学東北アジア研究センター  
上廣歴史資料学研究部門ニューズレター  
〒980-8576仙台市青葉区川内41  
TEL022-795-3196/022-795-4140 2013年創刊  
uehiro-tohoku.net

◇5 2017.1 A4 8p  
古文書のひろば  
渡辺屋儀蔵の幕末維新一白石に  
のこされた古文書から 清水翔太郎  
若き元岩出山伊達家家老の北海  
道開拓移住にける思い  
—「吾妻家文書」から 友田 昌宏  
古文書整理の現場から  
古文書整理を体験して 井上 瑠菜  
この一冊  
高橋陽一編著『旅と交流にみる  
近世社会』 高橋 陽一  
友田昌宏編著『東北の近代と自  
由民権—「白河以北」を超えて』  
友田 昌宏

◆秋田近代史研究 秋田近代史研究会  
〒010-0063秋田市牛島西2-1-12  
アーバンティ三浦203 柴田知彰方  
TEL018-837-2303 1958年創刊

akitakindaishi.hatenadiary.jp  
◇56 2017.2 B5 43p 1000円  
自由民権秋田立志会事件の「血痕  
刀授受」に関する一考察 長沼 宗次  
郡役所について—由利郡役所(1) 大島 正美  
資料紹介 郡役所文書群調査研究  
便覧(秋田県)(1)—郡関係法制:  
「郡制」改正前 柴田 知彰

◆秋田近代史研究会会報

〒010-0063秋田市牛島西2-1-12  
アーバンティ三浦203 柴田知彰方  
TEL018-837-2303 1958年創刊  
akitakindaishi.hatenadiary.jp  
◇174 2017.2 A4 5p  
2016秋季研究会研究報告要旨  
作曲家小松耕輔と秋田県—そこ  
から学ぶこと、そして展望 廣田 俊介  
平鹿地方史研究会の歩み 土肥 稔  
会員随想(2) 水谷 悟  
回顧60年(2)—会報の創刊(1967年)  
新刊紹介 秋田近代史研究会発行  
『明治・大正期における農民層  
分離—鈴木達郎著作集—』  
◇175 2017.4 A4 2p  
2017春季研究会のお知らせ 高橋  
秀夫氏「公文書の内と外」、柴  
田知彰氏「秋田県平鹿郡におけ  
る徴兵令反対—揆—阿気騒動関  
係史料の再検討—」、高橋務氏  
「秋田県公文書館蔵の戸村家文  
書の利活用を考える」

◆秋田県公文書館研究紀要

〒010-0952秋田市山王新町14-31  
TEL018-866-8301 1995年創刊  
www.pref.akita.ig.jp/koubunsho/  
◇23 2017.3 B5 98p

講演録 存在と時間のアーカイブ  
 ズー公文書管理法への視座 保坂 裕興  
 伝承と史実のあいだに—津軽安藤  
 氏・津軽下国氏・松山下国氏・  
 湊氏の場合 鈴木 満  
 秋田県公文書館におけるデジタル  
 化資料の現状と課題 高山 昭弘  
 農村部の地域アーカイブズを活用  
 した地域参加へのいざない 佐々木康久  
 郷土資料整理に関する覚書 鍋島 真  
 史料紹介  
 「文化系図」所収文書 鈴木 満  
 湊九一「郡方見回役加勢勤中日  
 記」文政十年亥正月同六月迄  
 国季

◆秋田県公文書館だより  
 〒010-0952秋田市山王新町14-31  
 TEL018-866-8301 1995年創刊  
 www.pref.akita.jp/koubunsoyo/  
 ◇32 2017.3 A4 8p  
 平成28年度寄贈史料  
 「忍家文書」と「八代家文書」  
 刊行物紹介  
 「岡本元朝日記」第三巻  
 平成28年度 企画展報告「公文書  
 で見る秋田の石油開発—『石油  
 王国秋田』誕生ものがたり」  
 企画展の展示資料だより  
 明治四十三年 産業功績者調

◆秋田民俗通信 秋田県民俗学会  
 〒010-0951秋田市川尻大川町2-8 秋田文  
 化出版内 TEL018-864-3322 1974年創刊  
 ◇116 2016.12 B5 4p  
 「地域おこしと民俗」のテーマが  
 豊かに—第33回東北地方民俗学  
 会合同研究会ひらかる 小田島清朗

◆古文書倶楽部 秋田県公文書館  
 〒010-0952秋田市山王新町14-31  
 TEL018-866-8301  
 www.pref.akita.jp/koubunsoyo/  
 ◇76 2017.3 A4 2p  
 北畠氏と安藤氏 鈴木 満  
 古文書こぼればなし 山は近世秋  
 田の国の宝か—「山林盛衰之大  
 凡考」より 渡部 紘一

◆菅江真澄研究 菅江真澄研究会  
 〒011-0909秋田市寺内見桜1-5-55  
 古四王神社社務所内 TEL018-845-0333  
 1981年創刊  
 w2.amn.ne.jp/~sugae/masumi.html  
 ◇87 2016.12 B5 16p  
 真澄はすごい 小笹 鉄文  
 原文対照現代語訳 菅江真澄『『雪  
 の出羽路平鹿郡』雄物川地域版』  
 の作成について 高橋 眞  
 探訪会報告 『水の面影』秋田城  
 跡と寺内の歴史を訪ねて  
 講話 「水の面影」 小笹 鉄文  
 真澄の一枚(19) 雁田明神の雄元  
 『粉本稿』より(大館市立中央  
 図書館提供) 菊地 利雄

◆北方風土 北方風土社  
 〒019-1541仙北郡美郷町土崎字上野乙1-  
 254 森本彌吉 TEL0187-85-4027  
 1980年創刊  
 ◇73 2017.1 A5 130p 2000円  
 わらべうたとは何か 本城屋 勝  
 雪のアラカルト(1) 稲 雄次  
 鳥海山大物忌神の創祀に関する研  
 究序—地主神から撫夷神へ 神宮 滋  
 錯簡のない『後三年合戦絵詞』—  
 『金沢史叢』で伊藤直純が紹介 加藤慎一郎

真田幸村と秋田—四つのキーワー  
 ドからの考察 石山 憲二  
 病死した人物が五十年後にまた自  
 刃!?—大館、江崎味右衛門家の  
 由緒書に見る主従関係 那珂 通義  
 年中行事の本義の解明Ⅲ—仲秋の  
 名月とススキ(沈み行く太陽へ  
 の感謝)・蓑笠の行事(一揆の衣  
 装など・小正月の来訪神とコト  
 コト)・油祝い 松橋 由雄  
 皇居お濠の積石に「無阿爾」の刻  
 字 神宮 滋  
 史料編 我が村の歴史 第六号  
 深澤多市著 翻刻 森本 彌吉

◆南陽の歴史 南陽の歴史を知る会会報  
 〒999-2232山形県南陽市三間通361-8  
 須崎寛二方 TEL0238-43-5299  
 ◇217 2016.12 B5 10p  
 南陽の歴史を知る会  
 学習会101回以降の主題一覧  
 南陽の歴史を知る会 学習会覚え書  
 ◇218 2017.3 B5 10p  
 西郷隆盛のことは尋ねて 須崎 寛二  
 2016年総会報告  
 南陽の歴史を語る会会報 151号～  
 219号総目次(181号以降は次号)  
 みくだりはん(三行半) 須崎 寛二  
 ◇219 2017.3 B5 12p \*終刊  
 星まつり 須崎 寛二  
 明治初年のある借金証文 須崎 寛二  
 南陽の歴史を語る会会報  
 151号～219号総目次のつづき

◆山形県地域史研究  
 山形県地域史研究協議会  
 〒991-8501山形県寒河江市大字西根字石川  
 西355 村山総合支庁西村山地域振興局

山形県総務部学事文書課分室 県史資料質  
 内 TEL0237-83-1215 年2000円  
 ◇42 2017.2 A5 119p 1000円  
 戦後庶民生活の変貌 宇井 啓  
 平安初頭の南出羽における律令信  
 仰の諸相 須賀井新人  
 左沢楯山城跡発掘調査概報 木戸部泰子  
 慈恩寺の法会 大宮 富善  
 平塩経塚発掘調査の紹介 建部 真也  
 天保飢饉と郡中備金・郡中備粉・  
 池田代官 森谷 圓人  
 本道寺口山先達について 保科 文俊  
 堀込四郎兵衛(実)日誌に見る幕末  
 ・維新期の一面 鈴木 勲  
 五百川三十三観音の成立の一考 長岡 信悦  
 旧月光山本道寺遺跡調査報告 山内 善信  
 山形県における歴史公文書の公開  
 佐藤正三郎  
 平塩の夜行念仏資料 中山 秀子  
 『八鍬の歩みと伝承』並びに『昭  
 和三十年 八鍬の家並図』作成  
 について 菊池 進

◆郡山地方史研究 郡山地方史研究会  
 〒963-8876福島県郡山市麓山1-8-3  
 郡山市歴史資料館内 TEL024-932-5306  
 1965年創刊  
 ◇46 2016.3 A5 127p  
 中世安積郡の宿町 高橋 明  
 郡山市の中世城館(12) 高倉城再  
 考(27の2) 付:観音山館(矢吹)  
 と大信の三城(大山城、東堂山  
 館、八幡山館) 広長 秀典  
 郡山市史  
 古代名「丈部清吉」について 佐藤 和司  
 「試論 近世中後期 郡山の歴史」  
 細部 榮  
 日本が基督教団郡山教会石川伝道

史および石川幼稚園史—石川町  
におけるキリスト教伝道百年の  
歩み・戦後編 庄司 一幸  
平成27年度史跡巡りに参加して 七海 喜男  
◇47 2017.3 A5 122p  
故渡辺康芳前会長追悼  
前会長渡辺康芳氏を悼む 大河 峯夫  
渡辺康芳氏の略歴及び主要研究  
業績  
天正十九年九月田村郡平沢村検地  
一検地手法と定量分析 加藤 義久  
富久山町の地名に関する一考察(1)  
高橋 康彦  
大槻原開拓と中条政恒の暗殺計画  
について 柳田 和久  
刑部内館と重層する境目 垣内 和孝  
鎮守山泰平寺大元明王についての  
記事を目にして 佐藤 新一  
関根要八の妻の先祖は赤穂浪士  
木村定三と佐佐木信綱の序歌 庄司 一幸  
平成28年度史跡巡りと伊能忠敬測  
量隊の話 齋藤 誠一  
「道谷坂陣」?を行く 広長 秀典  
道谷坂の陣考察 金田 榮

◆フークトープ通信 フークトープ通信社  
〒960-8021福島市霞町9-38 メゾン吉川12  
山田英明方 2015年創刊  
◇11 2016.12 A4 2p  
佐藤朝山(玄々)とパリ 増淵 鏡子  
フークトープ紀行(11)  
塔のへつり(下郷町) 赤井 武史  
◇12 2017.3 A4 2p  
生誕百年 作詞家・丘灯至夫 菅野 俊之  
フークトープ紀行(12)  
馬刺し(会津坂下町) 赤井 武史

◆ふぉーらむ・F 福島県民俗学会  
〒965-0807福島県会津若松市城東町1-25  
福島県立博物館内 2011年創刊  
fukushimafolklore.jimdo.com  
◇4 2017.2 A4 4p  
平成28年度 総会報告 内山 大介  
平成28年度公開講演会報告 坂本  
要氏「傘ブクから吊り下げ雛へ  
—傘と吊り下げ物の民俗—」 大里 正樹  
研究発表会報告  
田仲桂氏「郷土芸能の継承の課  
題—いわき市における『三匹  
獅子舞』の事例」 内山 大介  
大里正樹氏「会津のお日市につ  
いて」 佐々木長生  
文化財の動き 福島県内 南相馬  
市鹿島区江垂 日吉神社のお浜  
降り 二本松文雄  
noteから「会津の三十三観音め  
ぐり」日本遺産に認定 内山大介  
展示見学記 福島県立美術館「よ  
みがえるオオカミ 飯館村山津  
見神社・復元天井絵」 (岩崎)

◆福島県史料情報 福島県文化振興事業団  
〒960-8116福島市春日町5-54  
TEL024-534-9193 2002年創刊  
www.history.fcps.or.jp  
◇47 2017.2 A4 4p  
江戸時代の檜枝岐村の景観 渡邊 智裕  
江戸時代の力士免許状 山田 英明  
佐竹永海が描いた磐城産のマンボ  
ウ 渡邊 智裕  
掘り出されたお金の扱い 小野孝太郎  
村人たちの戊辰戦争(2) 山田 英明  
第一回県会議場西蓮寺 安田 稔

◆福島の民俗 福島県民俗学会  
〒965-0807福島県会津若松市城東町1-25  
福島県立博物館内 1973年創刊  
fukushimafolklore.jimdo.com  
◇45 2017.3 A5 74p  
2016年度公開講演会 傘ブクと吊  
り下げ物の民俗—傘ブクから雛  
の吊り下げ飾りへ 坂本 要  
境界伝説と中世の世界 野沢 謙治  
会津のお日市にみる町と村の交流  
一津島講の事例から 大里 正樹  
『会津農書』にみる紅花の栽培と  
民俗 佐々木長生  
民俗と歴史事実—女国についての  
試論を聴講して 菅野 拓  
資料紹介 明治二十五年、行方・  
宇多郡諸社の芸能及び祭礼 岩崎 真幸  
民俗短信 一二年に一度の祭礼  
—鶏足神社の浜下りが津波被災  
地で復活 二本松文雄  
書評・書誌紹介  
東京芸術大学大学院美術研究科  
文化財保存学専攻保存修復建  
造物研究室編『喜多方市小田  
村 伝統的建造物群保存対策  
調査報告書』 小澤 弘道  
歴史春秋社編『柳津町』 内山 大介  
懸田弘訓+岩崎真幸・國分球子  
『ふくしまの復興と民俗芸能  
のちから』 岩崎 真幸  
いわき地域学會『熊川稚児鹿舞  
が歩んだ道—福島県双葉郡大  
熊町—』 渡邊 彩  
訃報 岩谷浩光先生のこと 菊池 健策

## 関 東

◆茨城の民俗 茨城民俗学会  
〒310-0036茨城県水戸市新荘2-8-16

今瀬文也方 TEL029-231-4665 年3000円  
1963年創刊 www.minzoku.net  
◇55 2016.12 B5 88p  
《特集 愛すべき野菜たち》  
残したい野菜で作る宝舟 照山 洋  
たくあん漬五十二年  
付記 白菜漬 久家けい子  
野菜と切り方 飯村 保  
野菜から考えた日本の社会・文化  
清水 亨桐  
愛すべき野菜たち 松崎健一郎  
愛すべき農産物を食べる 今瀬 文也  
行方市玉造大宮神社の例大祭  
(節句祭) 近江 礼子  
アワビと採鮑 大森 政美  
金砂大祭礼の起源は鉄の祀り 黒澤 雅博  
壬申戸籍・宗門人別改帳・芹沢家  
譜の続柄 海老澤正孝

◆常総中世史研究 茨城大学中世史研究会  
〒310-8512茨城県水戸市文京2-1-1  
茨城大学人文学部 高橋修研究室  
TEL029-228-8120 2013年創刊  
◇5 2017.3 A5 99p 500円  
関東・東北豪雨で被災した常総市  
若宮戸石塚家石塔群について  
比毛君男/石塚政弘  
「康応記録」の成立と伝来につい  
て—戦国期佐竹家中の系図類作  
成に関する一考察 泉田 邦彦  
土豪の城と「惣構」—河内館跡(常  
陸大宮市)とその周辺 高橋 修  
那珂市中世城郭遺跡分布・縄張調  
査報告(3)—飯田・鴻巣・西木  
倉・戸地区 茨城大学中世史研究会  
常陸太田市来迎院所蔵大般若経調  
査報告(3) 茨城史料ネット

- ◆鹿沼史林 鹿沼史談会  
〒322-0031栃木県鹿沼市陸町287-14  
鹿沼市立図書館内 TEL0289-64-9523  
年3000円 1954年創刊 tochigi-vnpo.net
- ◇56 2017.2 B5 32p  
鳥井戸の大櫓異聞 中島 正  
正月考 中島 正  
「鹿沼古文書研究会」の歩み(補遺)  
中島 正  
福聚若石初代会長の思い出 中島 正  
栗野地区の修験回峰の足跡 駒場 一男
- ◆那須文化研究 那須文化研究会  
〒329-2752栃木県那須塩原市三島5-1  
那須野が原博物館 TEL0287-36-0949  
1987年創刊
- ◇30 2017.3 B5 100p  
續・温泉神社考 中山 晶壹  
〈大田原市大田原地区プロジェクト  
調査報告書〉  
絵葉書で見る那須地方の昔(9)  
—大田原市街地とその周辺(2) 長谷川 操  
大名家文書(大関家文書)は語る  
(15)—大関資増等連署宛状写  
新井 敦史  
地方文書は語る(15)—大田原藩  
「永々組頭格・苗字差免状」につ  
いて 高根沢広之  
新刊紹介 『下野おくのほそ道』  
／『市野沢と練貫の郷土略誌』 中村 悟  
栃木県文献一覧(2015追録)(2016)  
『那須文化研究』総目録  
(第21号～第30号)
- ◆歴史だより 栃木県歴史文化研究会会報  
〒320-0865栃木県宇都宮市陸町2-2  
栃木県立博物館内 TEL028-634-1313  
年4000円 1991年創刊

- ◇102 2017.1 A4 4p  
《特集 博学連携考える2》  
学校における「論語教育」の実践  
中野 正人  
市民に親しまれる博物館のために  
小竹 弘則  
学校と埋蔵文化財センターの連携  
のあゆみ 進藤 敏雄  
宇都宮藩「当用留」 堀野 周平
- ◆群馬地名だより 群馬地名研究会  
〒379-2144前橋市下川町6-16 井野修二方  
TEL027-265-3859 1989年創刊
- ◇91 2016.12 B5 6p  
地名再々考(2)—牛の来た道 角田賀津三
- ◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会  
〒376-0011群馬県桐生市相生町2-995-2  
宮崎俊弥方 年4000円 1957年創刊  
blogs.yahoo.co.jp/gunmabunka/
- ◇328 2017.1 A5 108p  
藤岡地域の古墳 小林 敏夫  
天和二年の役料地方直し  
—邑楽地方の村々の実態 塩谷 正久  
高山社分教場の役割とその実態 関口 覺  
世界文化遺産「荒船風穴」建屋終  
焉の考察—一・三号風穴建屋解  
体と風穴石積について 秋池 武  
「真田用水研究会」の活動 藤井 茂樹  
小特集 群馬県地域文化研究協議  
会創立60周年記念事業  
『群馬文化』創立60周年を迎えて  
宮崎 俊弥  
記念講演会『「群馬文化」の六〇  
年—その時代と社会—』 石原 征明  
歴史文化遺産の保存と活用を考  
えるシンポジウム 飯森 康広  
ぐんま絹遺産紹介 第3回 六合赤

- 岩養蚕農家群(中之条町大字赤岩)  
山本 伸一
- 新刊紹介  
飯島義雄著『女堀の実像を求め  
て』 峰岸 純夫  
高崎市立中央図書館市史担当編  
『柴田日記 高崎市指定重要  
文化財 高崎の商人が書き留  
めた激動の幕末明治』 田口 正美  
館林市史編さん委員会編『館林  
市史 通史編2 近世館林の  
歴史』 関口 荘右  
口絵 上杉輝虎書状(富岡家文書)  
—群馬県立歴史博物館蔵品資料  
(129) 築瀬 大輔
- ◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会  
〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1  
TEL027-223-2785 年4500円 1973年創刊  
www16.plala.or.jp/kuzira226/
- ◇247 2016.12 A5 56p  
楯取素彦の諸届を読み解く  
—群馬県内の政治情勢の変化 井野 修二  
山崎一『群馬県城館址調査の手引  
き』(17) 茂木渉・翻刻／飯森康広・割付  
山崎一『群馬県城館址調査の手引  
き』連載を終えて 飯森 康広  
高山彦九郎日記による歴史散歩  
(55) 『北行日記』(14) 正田 喜久  
碓氷峠の鉄道遺産  
登り勾配66.7パーミルに挑戦 小峯 茂久  
歴史散歩の報告(事務局企画)  
蔵の街 旧県都栃木—戦国武将  
皆川氏・巴波川の舟運 (山崎)  
江戸を歩く(20)  
—新吉原と浅草界隈を歩く (山崎)
- ◇248 2017.2 A5 56p  
谷中霊園歴史散歩—谷中霊園に眠

- る群馬もゆかりの人々を訪ねて  
井野 修二  
自性寺焼よもやま 自性寺焼里秋  
窯 青木 昇  
高山彦九郎日記による歴史散歩  
(56) 『北行日記』(15) 正田 喜久  
阿久津の天王様(高崎市)  
—コレラの流行に関連して 服部 瑛  
支部だより  
藤岡支部(第83回歴史散歩) 上  
野国の真田氏と天空の城下町  
輿水 泉  
渋川子持支部 小田原城、一夜  
城、箱根芦ノ湖周辺の旅 新井 敏夫
- ◆群馬歴史民俗 群馬歴史民俗研究会  
〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1046-4  
板橋春夫方 1980年創刊
- ◇38 2017.3 A5 90p  
『日本書紀』神功皇后四十九年条  
と上毛野地域 関口 功一  
武田「牢人衆」名和無理助の基礎  
的考察 廣瀬 亮輔  
『義民の冤罪』と『五萬石騒動』  
の再検討 和田 健一  
中近世における玉村町角測集落の  
変容と周辺遺跡—条里地割と道  
路、城館 飯森 康広  
近世後期における上野国と信濃村  
上氏の—考察—村土義守発給文  
書を中心に 山本 昂伯
- ◆武尊通信 群馬歴史民俗研究会  
〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1046-4  
板橋春夫方 1979年創刊
- ◇148 2016.12 B5 4p  
「放光寺」をめぐる諸問題 関口 功一  
伝承的な名づけとキラキラネーム

鈴木 英恵  
第1回共同研究会記事  
加能地域史研究会・群馬県歴史  
民俗研究会共同研究会に参加  
して 竹内 勲  
加賀前田家の中山道通行と安中  
宿 秋山 寛行  
◇149 2017.3 B5 4p  
加賀藩士になった上州人 佐藤 孝之

◆埼玉史談 埼玉県郷土文化会  
〒350-0231埼玉県坂戸市泉町12-5  
大圖口承方 TEL049-281-4983 年4000円  
1929年創刊  
◇325 (63-3) 2017.1 A5 46p  
古代男衾と式内社 森田 悌  
代五渡の生業を探る上須戸村文書  
から 奥田 豊  
滑川町三門館跡と泉福寺 高柳 茂  
崇徳寺跡を考える(下)  
一地域史の立場から 内野 勝裕  
長瀨町の応安の板碑と関連史跡(1)  
一碑面に刻まれた人物は誰か 村田 嘉行  
資料紹介  
与太者と七とその周辺(1) 佐藤 繁  
書誌紹介 『江戸前の石工 窪世  
祥』嘉津山清著

◆昔風と当世風 古々路の会  
〒343-0027埼玉県越谷市大房1006-4-410  
津山正幹方 TEL048-976-9387 1973年創刊  
◇101 2016.12 B5 138p  
《鳥根県邑智郡邑南町日貫地区合同調査特集》  
住まいと暮らし  
文責 森隆男／文 宮崎玲子・劉  
羽虹／図 宮崎勝弘・出口絵莉子  
鳥根県邑智郡邑南町日貫地区合同  
調査を終えて 森岡 弘典

日貫の民俗  
一岡山の民俗と比較して 河合 久和  
邑南町日貫の大元神楽 北河 直子  
「大元神楽の里」を訪ねて一鳥根  
県邑智郡邑南町日貫地区におけ  
る大元神楽伝承者より聞き取り  
森岡 弘典  
日貫に伝承される大元神楽 西尾 嘉美  
石見神楽 樋口 航  
日貫での水の利用 谷川 隼也  
邑南町・昭和初期の食から 丸山 久子  
保存食と道具から見る日貫のくら  
し 茶谷まりえ  
昔話と伝承 柳原 美聖  
裁縫道具とそれを取り巻く要素  
一鳥根県邑南町の報告 岡本 岬  
鉄穴残丘 下境 芳典  
日貫開書一神様になった代官・井  
戸平左衛門と地蔵盆ほか 佐志原圭子  
母子健康センターから「日本一の  
子育て村」へ一鳥根県邑智郡邑  
南町 むらき数子  
中国山地の山に囲まれた世界  
一鳥根県邑智郡邑南町日貫 津山 正幹  
日貫見聞記 五十嵐 稔  
民俗学と研究会活動(2)  
大正期の日本民俗学会 今野 大輔

◆我孫子市史研究センター会報  
〒270-1132千葉県我孫子市湖北台5-15-17  
岡本方 TEL04-7149-6404  
www.geocities.jp/abikosisiken/  
◇178 (通485) 2017.1 A4 12p  
「水戸道中 藤代宿～若柴宿を訪ね  
る」に参加して 関口眞喜子  
12月歴史探訪部会「水戸道中  
藤代宿～若柴宿を訪ねる」に参  
加して 萩原 正美

我孫子の社寺を訪ねる(21)  
中峠地区(2) 金成 典知  
◇179 (通486) 2017.2 A4 6p  
歴史部会「我孫子市のアンバ大杉  
信仰」を終えて 近江 礼子  
大杉神社 参拝 矢野 朝水  
古文書解説火曜部会 1月の活動  
報告 川村一夫家文書「五人組  
御仕置帳」 佐藤 章  
「大地震両川口津浪記」 相津 勝  
◇180 (通487) 2017.2 A4 20p  
我孫子市に郷土資料館を 市史研  
・歴史講演会「我孫子中世史へ  
のアプローチ相馬氏をめぐる  
歴史・伝承の世界」を聴いて  
飯白 和子  
歴史探訪部会 1月の活動報告  
第18回研究講座 山崎章藏会員  
「近世初期の「領」名称と由来—  
我孫子周辺を中心にして—」 山崎 章藏  
我孫子の社寺を訪ねる(22) 下ヶ  
谷地区(1) 西音寺 藤井吉彌／関口一郎  
前九年・後三年の役の講演に参加  
して 古賀 清昭  
中里薬師堂十二神将像修復の3体  
お目見え 中澤 雅夫  
◇181 (通488) 2017.3 A4 12p  
歴史探訪部会  
相馬霊場の札所参り(10) 中嶋 正義  
近隣市町の歴史資料館見学(2)  
印西市立木下交流の杜歴史資料  
センター・印西市立印旛歴史民  
俗資料館 金成 典知  
歴史部会2月「沼南に生まれた高  
僧・弁栄上人と手賀沼」 村上智雅子  
我孫子市古戸のオビシヤ(御備社)  
近江 礼子

◆神田外語大学日本研究所紀要  
〒261-0014千葉県市美浜区若葉1-4-1  
TEL043-273-1389  
◇9 2017.3 A5 266p  
慶應期政局における薩摩藩の動向  
一薩長同盟を中心として 町田 明広  
From Descartes and Hegel to  
Andō Shōeki and Nishida  
Hitarō: Philosophy in Japanese  
Textbooks for Civil Servants  
(Part1) Roman PAŞÇA  
坪井信道門人による薬名術語集の  
成立と展開(上) 松田 清  
神田外語大学附属図書館所蔵 洋  
学文庫にみる日本文化 松田 清  
研究プロジェクト報告  
島津久光・小松帯刀による幕末  
維新政治史の再構築 町田 明広  
「パッシング」とされるもの—  
アイヌと民族的判読不能性を  
めぐる歴史的・理論的研究  
マーク・ウィンチェスター  
近代日本社会と文化の諸相一人  
・地・産業のネットワーク  
亀井ダイチ・アンドリユー

◆佐倉市史研究  
佐倉市総務部行政管理課市史編さん担当  
〒285-0038千葉県佐倉市弥勒町78  
TEL043-486-3478 1983年創刊  
◇30 2017.3 A5 140p  
講演録「殿様」の死と佐倉一堀  
田正睦・堀田正倫を中心に 宮間 純  
佐倉市太田・大篠塚遺跡出土の旧  
石器時代遺物の再評価—有樋尖  
頭器に関する一考察(上) 橋本 勝雄  
佐倉藩の御用炭と佐倉城下町一平  
井家文書の佐倉炭関連史料 土屋 雅人

六崎組十善講  
一二冊の御詠歌集について 村上 昭彦  
資料紹介  
佐倉藩公務人(貢士)依田学海の  
「藩制議」—京都御所東山御文  
庫別置御物収蔵の建言書 白石 烈  
佐倉町における日清戦争後の臨  
時招魂祭—増子永人「机上日  
記」の紹介を兼ねて 小田 真裕  
将門御林屋鋪割絵図・飯野御林  
屋鋪割絵図 土佐 博文

◆佐倉の地名 佐倉地名研究会会報  
〒285-0864千葉県佐倉市稲荷台1-3-6  
野村忠男方 TEL043-487-1033 年2000円  
2012年創刊  
◇15 2017.1 A4 12p  
志津の地名について(4) 田中 征志  
しづ市民大学、しづ学入門講座の  
こと 宮武 孝吉  
地名を訪ねる会レポート 里山と  
田園の地「和田の歴史と民俗を  
訪ねる」 平田恭一郎  
国指定史跡 虎塚古墳 瀬田 華貴  
気になる「左衛門」「右衛門」の付  
く屋号 野村 忠男  
『佐倉地名研究会報告(第一巻)』  
収録内容の紹介 白井図書館蔵  
書  
「祖国への愛と国境を越えた愛」 小川 眞資

◆千葉県立中央博物館研究報告—人文科学  
〒260-0852千葉市中央区青葉町955-2  
TEL043-265-3111 1989年創刊  
www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/  
◇27 (13-2) 2017.3 B5 31p  
東アジアにおける貝製仮面および  
その類似品に利用された貝類の

同定 黒住 耐二  
近現代の“地点貝塚”から得られ  
た貝類遺体の情報—能登半島福  
浦港の一例 黒住 耐二

◆利根川文化研究 利根川文化研究会  
〒101-8301東京都千代田区神田駿河台1-1  
明治大学史資料センター 阿部裕樹気付  
TEL03-3296-4329 1991年創刊  
www7a.biglobe.ne.jp/~tonebun/  
◇40 2016.12 B5 84p  
戦国期史料にみる「利根川端」の  
考察 築瀬 大輔  
『利根川図志』の版本の異同と変  
遷過程について 古田 吉光  
近世中後期における行徳塩浜の普  
請形態—天保十四年の「御改革」  
の経緯をめぐって 菅野 洋介  
流域に生きる人々 利根川・手賀  
沼をめぐる学問的風土—岡田武  
松を中心に 中村 勝  
史料紹介 小松原家文書目録と未  
目録文書の目録化について 青木 歳雄  
活動報告 関東・東北豪雨の水損  
文書に刻まれた治水の景観—猪  
瀬太右衛門家と「惣困堤」 添田 仁  
巡検報告 懐郷巡検記—戸田周辺  
を巡検し中仙道に昔を偲ぶ 大島文二郎  
研究コラム  
古墳と牟邪臣を検証する 川戸 彰  
書評・新刊紹介  
野中和夫著『江戸城—築城と造  
営の全貌—』 北原 糸子  
黒須茂著『近世武蔵の農業経営  
と河川改修』 池田 宏樹  
中村勝著『手賀沼開発の虚実—  
「千間堤伝説」と「井澤弥惣  
兵衛伝説」の謎を解く—』 原 淳二

山中康裕・石田泰弘・山中清史  
編『関東近世村落史の研究  
山中清孝遺稿集』 阿部 裕樹  
畑中雅子著『津波がくるぞ！  
元禄十六年・千葉県沿岸の津  
波被害』 實形 裕介  
巡検報告 市川歴史博物館と行徳  
地区の巡検 川名 禎

◆成田市史研究 成田市教育委員会  
〒286-0017成田市赤坂1-1-3 成田市立図書  
館 TEL0476-27-2000 1972年創刊  
◇41 2017.3 A5 88p  
成田ニュータウンの遺跡(4)  
外小代公園の古代を探る—外小  
代遺跡 高木 博彦  
行方沼東とその遺された資料—行  
方家文書にみる選挙資料(2) 中村 政弘  
戦後の「ゆさはり句会」時代の三  
橋鷹女 川名 大  
資料紹介 下総国殖生郡矢口村元  
藤崎家文書 菅原 憲二  
『成田の地名と歴史—大字別地域  
の辞典—』編集余話5  
遊行上人の成田山参詣 小倉 博  
千葉常胤の寺社造営と駿河国智  
満寺 木村 修  
香取秀真と成田の国学者 外山 信司  
未完に終わった成田山鉄道馬車  
矢嶋 毅之  
中郷村赤荻区の神社合祀につい  
て 神尾 武則  
成田市台方・下方古墳群の再検  
討 高木 博彦  
三里塚No.55遺跡と古代遺跡 小川 和博  
成田市史年表稿 2014(平成26)年  
解説・神尾武則  
成田市関係新聞記事目録

2014(平成26)年  
◆成田史談 成田市文化財保護協会  
〒286-8585千葉県成田市花崎町760  
成田市教育委員会生涯学習部生涯学習課内  
TEL0476-20-1534 年2500円  
◇62 2017.3 B5 70p  
印波国造の来た道—常陸国からの  
ルートを考える 伊藤ゆかり  
江戸時代の成田村の家族形態と人  
口の流入 小倉 博  
成田の文学ノート 市原 善衛  
成田市宝田愛宕神社祭礼(覚書)  
(1) 小川 和博  
新島新吾さんが語る 沖繩下総開  
拓組合家族記念アルバムのこと  
など 聞き手・大里富枝  
円城寺敏夫前顧問追悼  
前顧問・第六代目会長 円城寺  
敏夫氏履歴 大木 英行  
円城寺敏夫氏を偲ぶ  
「北総四都市江戸紀行」が日本遺  
産に！ 事務局  
新指定文化財の紹介 千葉県指定  
有形民俗文化財 楽満寺の安産  
子育て祈願関係資料

◆西上総文化会報  
〒292-0833千葉県木更津市貝淵1-11-4  
TEL0438-25-2003  
◇77 2017.3 B5 140p  
岡田真澄の『上総日記』を読む 橋田 昭雄  
飯野村女流歌人 稲村喜勢子 藤平 俊雄  
至徳堂と武内事件—千葉県での名  
主の自決と三つの遺書の評価 三浦 茂一  
松岡葵岡と二つの郷学(住徳堂と  
朝陽館) 野崎 竜太  
飯野藩史余録(2) 八田 英之

金田中島村の富士山信仰 木村 智行  
明治十三年の暴風雨(台風)と大堀  
製塩所 村田 峯生  
幻の蝶ルーミスジミと木更津教  
会 川俣 公男  
北斎と木更津―「潮干狩り図」考 上杉 義隆  
歌人 塩谷朝業 石 喜美代  
井伊直虎と龍潭寺 橋田 昭雄  
移動研修レポート

下総北東方面を訪ねて 藤平 俊雄  
日本のボンベイ かみつけの里  
を訪ねて 鬼形むつ子  
横浜称名寺と金沢文庫・極楽寺  
を訪ねて 高木 秀子

研究発表  
君津地域の富士講石造物につ  
いて 藤平 俊雄  
木更津の航路 上総藩について 宮本 敬一  
西上総文化会創立六十周年を顧み  
て 藤浪 弘美

#### ◆房総石造文化財研究会会報

〒275-0001千葉県習志野市東習志野5-30-4-  
404 木原律子方 TEL047-473-3540  
年3000円 1980年創刊

◇132 2017.1 B5 8p

新年のご挨拶 早川 正司  
バス研修旅行参加報告  
南房総市周辺の石仏 小西 則子  
石仏見学会参加報告

小湊鉄道沿線の石仏見学会記 入谷 雄二

#### ◆房総の石仏 房総石造文化財研究会

〒275-0001千葉県習志野市東習志野5-30-4-  
404 木原律子方 TEL047-473-3540  
年3000円 1982年創刊

◇26 2017.1 B5 70p

道祖神雑記 川戸 彰  
君津・富津地域における江戸の石  
工 藤平 俊雄  
印西市域と北総の「百庚申」につ  
いて―最近の調査と知見から 蕨 由美  
庚申塔造立のタイミングを考える  
木更津の石造物 入谷 雄二  
口絵写真解説 石祠型庚申塔 稲木 章宏  
早川 正司

#### ◆松戸市立博物館紀要

〒270-2252千葉県松戸市千駄堀671  
TEL047-384-8181 1994年創刊  
www.city.matsudo.chiba.jp/m\_muse/

◇24 2017.3 A4 47+14p

小特集 松戸市根木内遺跡第5地  
点出土の人骨について 峰村 篤  
縄文時代中期における幼児葬の一  
事例―松戸市根木内遺跡第5地  
点出土幼児人骨の再検討 峰村篤/渡辺新  
松戸市根木内遺跡から出土した縄  
文時代中期人骨の炭素・窒素同  
位体比 米田 穰

城郭からみた高城氏の防衛構想  
―発掘調査資料に基づく予察 間宮 正光  
「絵引研究」のあゆみと課題 富澤 達三  
資料紹介 松戸市河原塚4号墳の  
発掘調査と出土遺物 小林 孝秀  
史料紹介 新収蔵の西原文書につ  
いて 山本隆志/中山文人

#### ◆まつどミュージアム 松戸市立博物館

〒270-2252千葉県松戸市千駄堀671  
TEL047-384-8181  
www.city.matsudo.chiba.jp/m\_muse/

◇24 2017.3 A4 4p

《最終号》  
コレクション紹介 千葉胤富書状

／今川氏真感状  
24年 企画展・特別展の数々…／  
これまでもこれからも 1993年  
～ 松戸市立博物館  
Next Exhibition 平成29年度前  
半の展示、です

#### ◆アーカイブ通信

ネットワーク・市民アーカイブ  
〒190-0022東京都立川市錦町3-1-28-301  
TEL042-540-1663 年6000円  
www.c-archive.jp

◇9 2017.3 A4 8p

開館3周年記念講演会 たちかわ  
RISURUホール「“情報公開”  
の現在とアーカイブ」講師：  
三木由希子さん  
公開学習会 シリーズ“原点”か  
ら考える(2) 報告 アーカ  
イブを市民の力に―道場親信  
の仕事と私たち

成田空港問題「歴史伝承委員会」  
で残したこと 波多野ゆき枝  
「市民・住民運動資料研究会」等  
の活動を通じて 平川 千宏  
東京南部サークル運動資料と道  
場さん―文化工作研究会との  
関わりを中心に 山本 唯人  
報告を受けて―道場さんにとっ  
ての市民アーカイブ 杉山 弘  
会場から/アンケートから

第2期緑陰トーク報告  
(3)三多摩の市民活動をたどる 江頭 晃子  
(4)市民活動を分類する 町村 敬志  
ミニコミ紹介 沖縄の怒りと共に  
／こがねい女性ネットワーク  
私と市民活動資料(7) 運動資料  
を活かすための体制を 加藤 一夫

市民アーカイブ多摩の資料棚から  
(5) 原発(追記)「子ども保  
養」の現状  
記憶と記録の場をめぐる旅(9)  
深沢晟雄資料館「生命の尊厳、  
尊重」の理念と事績を伝える

#### ◆あしなか 山村民俗の会

〒330-0854さいたま市大宮区桜木町4-201-2  
塩野谷明夫方 TEL048-465-7818 年5000円  
1939年創刊 www8.ocn.ne.jp/~sanmin/

◇308 2017.2 B5 20p

表紙解説 伊勢地方の「恵比寿・  
大黒天札」 編集室・岡  
谷文晁画『日本名山圖會』と「天  
城山」図の誕生 鷲頭 隆  
石ぶみが教えた大山道  
―奥相模の山村から 杉崎満寿雄  
近藤富士と華表(続編)―列仙伝繙  
像の丁令威の図を捜す(2) 関 啓司  
あしなか余滴(1)

冬の水辺・小感―事務所から 塩野谷明夫  
旅の草ぐさ(21) 鷲霊神・鷲影山  
・替影神社―甲州韭崎市・甲斐  
市より 井上 明生

#### ◆足立区立郷土博物館だより

〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1  
TEL03-3620-9393 1996年創刊  
www.city.adachi.tokyo.jp/hakubutsukan/  
chiikibunka/hakubutsukan/

◇72 2017.3 A4 4p

今年も博物館は頑張ります!／大  
盛況となった開館30周年記念特  
別展覧会「昭和レトロ家電―増  
田健一コレクション―」「アラ  
サーみゅーじあむ モノがたり」

◆足立史談

足立区教育委員会足立史談編集局  
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1  
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇587 2017.1 A4 4p  
文瀾筆「恵比寿天図」と恵比寿講  
萩原ちとせ  
千住掃部宿の「旧書留」から(2)  
掃部堤と千住大橋 多田 文夫  
文化遺産調査企画展「アラサーみ  
ゅーじあむモノがたり」後期  
開館30周年 後期展示開催中  
です！ 三〇年と皆様のご協力/  
イラスト・マンガでご紹介

◇588 2017.2 A4 4p  
絵馬の奉納と鶏の絵馬 萩原ちとせ  
千住掃部宿の「旧書留」から(3)  
土地台帳と町の発展 多田 文夫  
伝統と保存の技術Ⅰ  
仏像彫刻 渡邊宗雲

◇589 2017.3 A4 4p  
白流大権現一保木間の屋敷神の一  
例 奥村麻由美  
千住掃部宿の「旧書留」から(4)  
河川と用水路 多田 文夫  
伝統と保存の技術Ⅱ  
表具師 勝村真光

◆足立史談会だより

〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1  
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇346 2017.1 A4 8p  
終戦直後の日本の教育改革の原点  
米国教育使節団の報告書(9) 堀川 和夫  
保存樹散歩 保存樹が見てきた町  
の歴史 マツ三題 妙蓮寺／島  
根四丁目／一ツ家三丁目  
史談カルタ 絵・画でも名高い建

部巢兆／ひ・廣重の眠るお墓は  
東岳寺／も・森鴎外の大正記念  
道碑／せ・關屋の里の片葉芦／  
す・すぐれた彫刻舎人の氷川社  
／ん・新撰組は五兵衛新田  
浅草名所七福神 一月探訪報告  
訃報 藤田重興氏 堀川 和夫  
史談会五〇周年に向けて  
千住に誇り・芭蕉陶像を語る 伊  
賀上野の陶像と同一の芭蕉像が  
千住に在る訳／「芭蕉を顕彰す  
る会」準備会  
おくのほそ道句集／「昭代楽事」  
の俳句作品を見る(明治二四年  
江北村の人々の作品)／一年生  
のはいく(正美先生提供) この  
子たちはいくつになつたのでし  
ょうか

◇347 2017.2 A4 8p  
文化遺産調査特別展 千ヶ崎梯六  
一与謝野晶子を支えた足立の歌  
人画家  
終戦直後の日本の教育改革の原点  
米国教育使節団の報告書(10) 堀川 和夫  
保存樹散歩 保存樹が見てきた町  
の歴史 アカマツ  
千住文化普及会10周年／「千住の  
誇り・芭蕉陶像を語る」  
区内の芭蕉句碑 旅立ち碑／芭蕉  
石像／西新井大師境内／千住神  
社／安養院／本氷川神社  
芭蕉陶像を宿場の象徴に  
報告1 伊賀上野の俳聖殿の芭蕉  
像と同一双子の兄弟像です 千  
住の誇りを宿場通りに 堀川和  
夫氏の報告  
報告2 千住と「おくのほそ道」  
ゆかりの地で活用例 旅立ちの

地の象徴に 報告：櫛原文夫氏  
特別報告 千住・足立の江戸文化  
と俳諧 博物館学芸員 多田文  
夫先生  
一年生のはいく 協力・正美先生  
／書籍紹介「こども歳時記」

◇348 2017.3 A4 8p  
終戦直後の日本の教育改革の原点  
米国教育使節団の報告書(11) 堀川 和夫  
保存樹散歩 保存樹が見てきた町  
の歴史 『足立史談』第49号  
区内初の「保存樹」  
2月探訪  
銀座周辺・初めてを訪ねる  
芭蕉翁陶像を宿場の象徴に 第2  
回集い 区内俳句界の状況・1  
／芭蕉翁陶像  
舎人三村の半鐘 薊 照夫  
「足尾を語る会」会報18号(平成28  
年7月)から 郷土の誇り 足尾  
随一の橋本組、土木建築請負業  
～創業者、橋本豊太郎一代記 伊藤 博

◆新しい地域文化研究の可能性を求めて  
人間文化研究機構  
2017年創刊

◇1 2017.2 A5 53p  
《人間文化研究機構広領域連携型基幹プロジ  
ェクト「日本列島における地域社会変貌・  
災害からの地域文化の再構築」ブックレッ  
ト》  
「地域における歴史文化研究拠点  
の構築」がめざすもの 小池 淳一  
方言の記録と継承による地域文化  
の再構築 木部 暢子  
日本列島における地域文化の再発  
見とその表象システムの構築 日高 真吾  
人命環境アーカイブズの過去・現

在・未来に関する双方向的研究  
西村慎太郎／加藤聖文／渡辺浩一  
災害にレジリエントな環境保全型  
地域社会の創生 窪田 順平

◆あるむぜお 府中市郷土の森博物館  
〒183-0026東京都府中市南町6-32  
TEL042-368-7921 1987年創刊  
www.fuchu-cpf.or.jp/museum/  
◇118 2016.12 A4 8p  
祝！府中駅誕生100年(3) 玉南鉄  
道府中駅はどこにあった？ 花木 知子  
最近の発掘調査 高倉古墳群で出  
土した埴輪 美好町三丁目 西野 善勝  
『県居井蛙録』にみる江戸時代の  
庶民の生活(7) 子権現(間島神  
社)の開帳 佐藤 智敬

◇119 2017.3 A4 8p  
祝！府中駅誕生100年(4)  
鉄道の開通がもたらしたもの 花木 知子  
最近の発掘調査 「丸」の屋号を  
記した磁器 宮西二丁目 野田憲一郎  
NOTE 国府八幡とは何か？ 小野 一之  
企画展 戦国の府中 小田原北条  
氏の時代 深澤 靖幸  
『県居井蛙録』にみる江戸時代の  
庶民の生活(8) 道祖神の柱を  
立てる 佐藤 智敬

◆板橋史談 板橋史談会  
〒174-0075東京都板橋区桜川2-27-3  
大澤鷹邇方 TEL03-5398-2682 1966年創刊  
www.sites.google.com/stite/itabashishidankai/  
◇291 2017.2 B5 40p  
表紙写真解説 「南蔵院のしだれ  
桜」(蓮沼町四八番) 写真と文 井上富夫  
特集 オリンピックの思い出  
東京オリンピックの思い出 三原寿太郎

東京オリンピックの聖火台階段  
のボサ菊の栽培 浅見喜代司  
東京オリンピックとカラーテレ  
ビ 笠木 劭  
板橋区史編さんと公文書館運営に  
関わって(5)一板橋史談会と私  
の縁 松浦 勉  
「板橋の歴史に残る五〇人」事業 石塚 輝雄  
武者行列を板橋区民まつりにて初  
御披露目 中村 正宏

◆奥武蔵 奥武蔵研究会

〒175-0092東京都板橋区赤塚7-18-7  
◇413 2017.1 B5 30p  
個性的なアクティビティを 小泉 重光  
表紙に寄せて  
誰にでも撮れる北アルプス 関口 洋介  
展望写真をより深く楽しむ 町田 尚夫  
慈光寺の奥ノ院(下) 酒井 昌樹  
父不見山の「三角天」考 町田 尚夫  
消えたオオカミとお犬様の謎 小泉 重光  
奥武蔵・秩父の獅子舞(66)  
一石田の干し物獅子 関口 洋介  
◇414 2017.3 B5 22p  
奥武蔵・秩父の楽しみ方の一考察  
小泉 重光  
父不見山の山名考 藤本 一美  
奥武蔵・秩父の獅子舞(67)  
近隣編一豊作獅子、伊草の舞 関口 洋介  
2016年 奥武蔵・秩父地域に於け  
る山岳遭難 町田 尚夫  
『奥武蔵登山詳細図』について 小泉 重光

◆解放研究／明日を拓く

東日本部落解放研究所  
〒111-0024東京都台東区今戸2-8-5  
TEL03-5603-1861 1993年創刊  
www.hbri.org

◇29/114 (42-4 通197)  
2017.3 A5 183p 2000円  
講演 関東の被差別部落の西と東  
一利根川水系=水上交通の視点  
から 坂井 康人  
東日本部落解放研究所第31回総会  
・記念講演 排除と支配の構造  
から脱却するためには一フラン  
スにおける「イスラーム」の間  
題をてがかりに 池田 賢市  
近世後期弾左衛門支配下における  
長吏集団と水番一上州群馬郡  
「植野場」を中心に 福田 美波  
部落差別の主題化と歴史的アプ  
ローチー部落差別の特性として  
の「穢れ視・動物視・人外視」  
という仮説 吉田 勉

◆儀礼文化ニュース 儀礼文化学会

〒160-0012東京都新宿区南元町13-7  
TEL03-3355-4188  
◇204 2016.12 A4 8p  
催事スケッチ 御神火祭り「繞道  
祭」新しい年の初めを祝う勇  
壮な火の祭典 奈良県桜井市三  
輪 大神神社 写真・文 渡辺良正  
儀礼文化セミナーの開催報告 儀  
礼文化セミナー(平成28年度第  
3回)料理 季節の料理(佐々  
木幸)、儀礼文化研究会発表報  
告 儀礼文化研究会 平成28年  
度第1回 ユネスコ無形文化遺  
産と儀礼文化(伊藤純)  
特集 台湾道教の祭りと儀礼文化  
浅野 春二  
会員を訪ねる  
三嶋大社／久能山東照宮  
生活芸術講座(第2回) ぐらしの

民俗「縄文土器—カタチとコ  
コロ—」講師：小林達雄  
儀礼文化講座(平成28年度第5回)  
民俗芸能「無形文化遺産時代  
の神楽」講師：久保田裕道  
◇205 2017.3 A4 8p  
催事スケッチ 青柴垣神事 国譲  
りの神話を今に再現する伝統の  
神事 鳥根県松江市美保関町  
美保神社 写真・文 渡辺良正  
春季大会は四月開催 舞楽一悠久  
からの贈りもの(小野雅楽会会  
長 小野貴嗣)／地方大会 彌  
彦神社の燈籠神事見学(儀礼文  
化学会)  
催しものレポート 第26回関西支  
部 秋季学術大会 松崎 陸彦  
儀礼文化講座(平成28年度第6回)  
キリスト教「キリスト教におけ  
る儀礼—カトリック教会のミサ  
を中心に—」講師：具正謨  
儀礼文化講座(平成28年度第7回)  
道教「道教の祭りと信仰」講  
師：浅野春二

◆北区飛鳥山博物館研究報告

〒114-0002東京都北区王子1-1-3  
TEL03-3916-1133 1999年創刊  
◇19 2017.3 B5 104p  
幕末維新期の写真資料における問  
テクスト性の生成と読解行為—  
明治初期、王子料理屋写真の中  
心に 石倉 孝祐  
資料紹介 明治43年水害と登山家  
冠松次郎に関する資料受入につ  
いて 中野 守久  
活動報告 未就学児対象プログラ  
ムの実践 安武由利子

博物館事業報告 平成28年度博物  
館普及事業の概要 鈴木 直人  
平成28年度文化財調査・保護事業  
の概要と実績  
文化財保護事業説明／平成28年  
さ度活動概要／刊行物／文化  
財説明板  
飛鳥稲荷社石造水盤の保存修理  
について 山口隆太郎  
旧松澤家住宅の屋根修理工事に  
ついて 山口隆太郎  
平成28年度古文書調査報告  
(概報) 田中 葉子  
平成28年度民俗調査報告(概報)  
指定文化財一覧表(国・都・区)  
・台帳登載文化財一覧(区)・  
文化財説明板一覧(北区教育  
委員会設置分)

◆北区史を考える会会報

〒115-0052東京都北区赤羽北1-3-10  
大澤栄美方 TEL03-3907-0040 1986年創刊  
◇123 2017.2 B5 8p  
第35回定期総会 林 健一  
第407回 月例研究会  
赤羽文化センター祭展示報告 川上 明  
第408回 月例研究会  
瀬野川の金融史 有馬 純雄

◆郷土史 八王子市川口郷土史研究会

〒192-0151東京都八王子市上川町3160-9  
車田勝彦方 TEL042-654-3101  
◇38 2017.2 B5 12p  
受け継がれる獅子舞 伊藤 勝之  
平成28年度・新年会  
戦後七〇余年を語り合う 岡村 繁雄  
八王子城曳橋今昔物語 金子 信一  
平成28年度 春の見て歩き 湯殿

山流域の名利と史跡を巡る 鈴木登紀子  
『東京・多摩地域の総合的研究』  
「秋山国三郎と北村透谷の親交」  
車田勝彦事務長の論考を掲載  
第23回透谷祭  
詩人が愛した川口の自然 瀬沼 秀雄  
市民自由講座 八王子市生涯学習  
センター川口分館共催 江戸時  
代の暦と時 落語「たがや」か  
ら消えた笑いは? 野原 良夫  
陣馬街道沿いの乙骨屋敷跡 伊藤 弘一  
秋の史跡めぐり  
武蔵野に秋を求めて 杉田 博  
手作り甲冑行軍記 秋山 正勝  
平成28年度川口中学校の総合的な  
学習を指導 第一学年地域学習  
への協力 瀬沼 秀雄  
山形県村山市で最上徳内サミット  
ーパネリストとして登壇 五味 元

#### ◆記録と史料

全国歴史資料保存利用機関連絡協議会  
〒330-0063さいたま市浦和区高砂4-3-18  
埼玉県立文書館 TEL048-865-0112  
1990年創刊 www.jsai.jp  
◇27 2017.3 B5 125p 1200円  
特集 災害経験にまなぶ一常総と  
熊本の事例から  
特集にあたって 広報・広聴委員会  
関東・東北豪雨による水損文書  
の復旧活動 倉持 敏  
資料(文化財)レスキューボラン  
ティアに参加して感じたこと  
・考えていること 横内 美穂  
熊本地震被災文化財復旧への応  
援ー博物館広域ネットワーク  
の取り組み 本田 光子  
平成28年熊本地震 熊本県内自

治体への公文書に関する被災  
状況等調査を実施して 橋本 竜輝  
アーカイブズの役割を見つめ直す  
ー「地域文書館」・「開かれた行  
政」を目指す板橋区公文書館の  
現状と課題 北浦 康孝  
アーキビストの眼  
全史料協近畿部会第130回例会  
の記録 東京大学文書館にお  
ける資料管理のとりくみにつ  
いて:理論の理解と実践の試  
み 森本祥子/松崎祐子  
平成28年度 公文書館機能普及  
セミナー2016 in 山口 “現在  
(いま)、求められる公文書管  
理と公文書館一備えるべき機  
能と役割”の開催を終えて  
橋本 竜輝  
アーカイブズ・ネットワーク  
山形県公文書センターの設立 山内 励  
印西市立木下交流の杜歴史資料  
センターの開館によせて 小池 康久  
公害資料館ネットワークの活動  
と資料保存 林 美帆  
書評と紹介  
坂口貴弘著『アーカイブズと文  
書管理:米国型記録管理シス  
テムの形成と日本』 金子彩里香  
エリザベス・シェパード ジェ  
フリー・ヨー共著 森本祥子  
平野泉 松崎裕子編・訳『レ  
コード・マネジメント・ハン  
ドブック:記録管理・アーカ  
イブズ管理のための』 富永 一也  
国文学研究資料館編『近世大名  
のアーカイブズ資源研究:松  
代藩・真田家をめぐって』 戸森麻衣子  
神奈川地域資料保全ネットワー

#### ◆市史研究きよせ

ク編『地域と人びとをささえ  
る資料:古文書からプランク  
トンまで』 山内 利秋  
山内宏泰編集『東日本大震災の  
記録と津波の災害史:リア  
ス・アーク美術館常設展示図  
録』 毛塚 万里  
白水智著『古文書はいかに歴史  
を描くのか:フィールドワー  
クがつなぐ過去と未来』 福嶋 紀子  
学校・施設アーカイブズ研究会  
編著『学校・施設アーカイブ  
ズ入門』 富田 健司

#### ◆市史研究きよせ

〒204-8511東京都清瀬市中里5-842 清瀬  
市企画部市史編さん室 TEL042-497-1813  
2016年創刊  
◇2 2017.3 A5 79p  
平成27年・28年度の古文書調査報告  
古代・中部部会  
新出史料紹介「東寺観智院金剛  
藏文書」上 杉憲顕奉書写 木下 聡  
大阪青山歴史文学博物館所蔵  
大石真月斎の受給文書の紹介  
小川 雄  
「正木武膳家譜」についてー北  
条氏照発給文書を中心に 石渡 洋平  
新出史料紹介 一色氏久宛て  
「北条氏照書状」について 新井 浩文  
市民が語る清瀬の歴史 近代部会  
・現代部会 清瀬の空襲(1)ー  
金子長平さんに聞く/清瀬の空  
襲(2)ー村山清治さんに聞く/  
清瀬の空襲(3)ー齊藤靖夫さん  
に聞く 聞き手 高村聰史・黒川徳男  
講演会報告「清戸の戦国と江戸  
ー『市史研究きよせ』を読む」

講師:根岸茂夫 市史編さん委  
員長

#### ◆下町文化

江東区教育委員会地域振興部文化観光課文  
化財係 〒135-8383東京都江東区東陽4-11-  
28 TEL03-3647-9819 1981年創刊  
www.city.koto.lg.jp  
◇276 2017.1 A4 8p  
江戸の漁師町を探る 深川漁師町  
ってどんな町? 広重「名所江  
戸百景 永代鳥嶋しま」(国立国  
会図書館デジタルコレクション)  
古写真の中の江東  
霊巖寺の江戸六地藏  
深川江戸資料館 企画展「歌舞伎  
と深川」  
平成28年度芭蕉記念館後後期企画  
展「其角と江戸俳壇」  
区外史料調査報告 幕末明治の技  
術者 小野友五郎  
古文書整理プロジェクト これま  
での活動と成果

#### ◆自由民権

町田市立自由民権資料館紀要  
〒195-0063東京都町田市野津田町897  
TEL042-734-4508 1987年創刊  
◇30 2017.3 A5 115p  
《特集 自由民権資料館開館30周年記念シン  
ポジウム 民権運動再考Ⅲ「〈激化〉から考  
える自由民権》  
報告  
明治10年代後半の〈激化〉状況  
について 田崎 公司  
福島・喜多方事件の激化ー青年  
民権家の果たした役割 横山 真一  
小久保喜七の加波山事件顕彰運  
動と「檄文」の変容 中元 崇智

コメント 報告を受けてー(激化  
状況)をどう考えるのか 大日方純夫  
参加記  
(激化)の時代と「抵抗権」「革  
命権」 林 彰  
シンポジウム参加記 金井 隆典  
追 悼  
安丸良夫さんー安丸民衆史の誕  
今西 一  
牧原憲夫さんー牧原憲夫さんの  
近代詩安丸民衆史の誕 落合 延孝  
書評 松沢裕作『自由民権運動』 松崎 稔  
新刊紹介 『武相の女性・民権と  
キリスト教』 杉山 弘  
民権ネットワーク  
北海道 國岡 健  
福島県 鈴木 吉重  
茨城県 飯塚 彰  
埼玉県 鈴木 義治  
千葉県 矢嶋 毅之  
東京都 福井 淳  
多摩地区 松崎 稔  
神奈川県 野崎昭雄／吉水亮太郎  
新潟県 横山 真一  
愛知県 中元 崇智  
滋賀県 苗村 和正  
熊本県 水野 公寿  
鹿児島県 久米 雅章  
旧幕臣 樋口 雄彦  
田中正造 赤上 剛  
文学 松原 真  
自由民権運動関係文献情報(30)

#### ◆城郭史研究

日本城郭史学会(発売:東京堂出版)  
〒174-8691 東京都板橋区 板橋北郵便局  
私書箱50号 年6000円 1968年創刊  
◇36 2017.3 B5 140p 2700円

大坂城真田丸を描いた最古の絵図  
ー鹿田氏蔵「大坂冬の陣配陣図」  
をめぐって 中村 博司  
天守台と初重(一階)平面の関係に  
ついて 松岡 利郎  
江戸時代旗本陣屋についてー同一  
基準による一覧表への試み 笹崎 明  
天守の壁ー徳川三代の江戸城天守  
の壁を考察する 阿部 和彦  
奥羽国境の城・湯原館とその周辺  
吉井 宏  
砕玉類題 武蔵国寺尾城ー謎多き  
諏訪氏の城 中澤 伸矢  
城郭史関係論文目録 阿部 和彦

#### ◆城郭だより 日本城郭史学会会報

〒174-8691 東京都板橋区 板橋北郵便局私  
書箱50号 TEL03-3967-1948 1993年創刊  
◇95 2017.1 A4 6p  
京御土居の発掘調査からー京都市  
北区で犬走・暗渠も出土(資料・  
写真提供は橋本楯夫氏)  
大宰府外郭土塁が出土ー筑紫野市  
前畑遺跡出土土塁は羅城の一部  
か 西ヶ谷恭弘

伏見指月城と島津邸の発掘  
最近の注目される城郭関係図書か  
ら／各地の城郭研究会活動から  
／日本城郭史学会活動から

#### ◆常民文化 成城大学常民文化研究会

〒157-0066 東京都世田谷区成城6-1-20  
TEL03-3482-1181 1977年創刊  
◇40 2017.3 A5 162p  
「キタミ」を探る 今井 恵理  
中世の死体放置をめぐって  
ー考古学的研究の可能性 武井 成実  
抽象的労働に抗するということ

ーニートの実践を事例に 立花 弘基  
言語ゲーム論に向けて 木下 聖三  
地域神社の祭神と集落の結集につ  
いて試論ー秋田県男鹿市渡部神  
社を事例として 保坂 泰彦  
家業という戦略ー静岡県磐田市に  
おけるお茶農家を事例に 町田 歩未  
近江毛野臣と近江臣氏 紅林 怜

#### ◆書籍文化史 鈴木俊幸

〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1  
中央大学文学部3833号室  
TEL042-674-3789 2000年創刊  
◇18 2017.1 A5 251+22p  
名古屋の本屋より転じた本居内遠  
の年譜 太田 正弘  
江戸の書家・平林東岳と「百徳図」  
岩坪 充雄  
古活字版悉皆調査目録稿(8) 高木 浩明  
古活字版B本『録内御書』に関す  
る書誌的覚書 堀部 正円  
萩原廣道の書簡からー『源氏物語  
評釈』刊行の一齣 中澤 伸弘  
平田鏡胤宛岩崎長世書簡集 中川 和明  
綏猷堂岡塾時代の片山潜 稲岡 勝  
共同研究 書籍安売りの新聞広告  
鈴木俊幸／中央大学FLP鈴木ゼミ  
『近世・近代初期 書籍研究文献目  
録』補遺(3) 鈴木 俊幸

#### ◆杉並郷土史会史報

〒167-0022 東京都杉並区下井草3-12-9  
新村康敏方 1973年創刊  
www.sugi-chiiki.com/rekishikai/  
◇261 2017.1 A4 10p 400円  
新年のご挨拶 新村 康敏  
甲武鉄道新八線ー中央線(2) 木村 輝郎  
第545回見学会記

漱石山房から神楽坂を訪ねる 伊東 勝  
第546回例会記「中世、江戸の景  
観」講師:小山貴子先生 前田 正治  
太宰治の居住・滞在歴 作成 高久ゆう／協力  
藤井雅和・村田くるみ  
浅草寺のニワトリ 新村 康敏  
◇262 2017.3 A4 10p 400円  
佐久間象山「望岳賦」碑と妙法寺  
参詣道の変遷(1) 寺田 史朗  
私の本棚から(52)「井伊氏サバ  
イバル五〇〇年」大石泰史著  
星海社 新村 康敏

#### ◆すみだ郷土文化資料館年報・研究紀要

〒131-0033 東京都墨田区向島2-3-5  
TEL03-5619-7034 2015年創刊  
www.city.sumida.lg.jp/sisetu\_info/siryou/kyoudobunka/  
◇3 2017.3 A4 18+84p  
古代戸籍における戸主の地位継承  
ー大嶋郷戸籍と半布里戸籍の比  
較から 田中 禎昭  
十七世紀における本所・向島・浅  
草地域の形成過程ー寺院の起立  
・移転を中心に 田中 麻衣  
史料紹介 すみだ郷土文化資料館  
蔵『江戸寺院縁起絵巻』(江戸  
名所記絵巻)について 日沖 敦子  
史料翻刻「弘前藩庁日記(江戸日  
記・宝永元年八月・九月)」／解  
説 福澤 徹三

#### ◆西郊民俗 西郊民俗談話会

〒160-0016 東京都新宿区信濃町17-1  
大島方 年2000円 1957年創刊  
seikouminzoku.sakura.ne.jp  
◇237 2016.12 B5 35p  
瓜生島沈没伝説と災害の記憶 福西 大輔

茨城県行方市浜の祇園祭 近江 礼子  
 横綱朽木山の伝承 印出 隆之  
 八八幡 大島 建彦  
 吉田綱富『見聞雑記』にみる盆の  
 行事について 水野 道子  
 石川県金沢市湯涌荒屋町の地蔵祭  
 清水 邦彦  
 川崎市多摩区堰の龍巖寺の大黒天  
 信仰 清水 亨桐  
 大仙市における文化財展示施設の  
 現状と可能性 小池 淳一  
 ◇238 2017.3 B5 31p  
 五代村の話―「仙人の碁」の伝承  
 に縁のある村 井田 安雄  
 茨城県龍ヶ崎市若柴町のオピシャ  
 近江 礼子  
 出雲路の幸神 大島 建彦  
 相摸神社としての蒲生神社―初代  
 横綱明石志賀之助と横綱朽木山  
 の伝承 印出 隆之  
 奄美群島域における歴史文化資源  
 の調査と活用―「奄美遺産」の  
 試みをめぐって 小池 淳一  
 ◆全国歴史資料保存利用機関連絡協議会会報  
 〒330-0063さいたま市浦和区高砂4-3-18  
 埼玉県立文書館 TEL048-865-0112  
 www.jsai.jp  
 ◇101 2017.3 B5 68p  
 《第42回 三重大会特集号》  
 大会テーマ「博物館でアーカイブ  
 ズ」/大会日程  
 総会 渡辺 彩香  
 委員会報告 学校アーカイブズと  
 地域の組織・団体アーカイブズ  
 の保存のために―アンケートの  
 まとめと課題 嶋田典人/山本六郎  
 活動報告

日本におけるアーカイブズ・レ  
 スキュー活動のネットワーク  
 ―全史料協の災害対応を中心  
 に 青木 睦  
 国立公文書館作成「日本におけ  
 るアーキビストの職務基準」  
 について 新井 浩文  
 大会テーマ研究会  
 博物館でアーカイブズ  
 大会趣旨説明 大会・研修委員会  
 報告  
 三重県総合博物館のアーカイ  
 ブズ業務について 藤谷 彰  
 戸田市立郷土博物館とアーカ  
 イブズ・センター 吉田 幸一  
 研修会  
 視察（三重県総合博物館の見学）  
 石井 裕  
 アーカイブズ入門―組織におけ  
 るアーカイブズの役割 西山 伸  
 展示照明としてのLEDを考え  
 る 高科 真紀  
 太宰府市における行政文書の保  
 存と公文書館の役割 藤田 理子  
 伊勢商人長谷川治郎兵衛家資料  
 調査の概要 門暉 代司  
 質疑記録 小西 昌志  
 三重県大会を振り返って 渡會 仁美  
 第42回全国(三重)大会に参加して  
 稲吉 昭彦  
 第42回全史料協全国(三重)大会を  
 終えて 藤谷 彰  
 ◆全日本郷土芸能協会会報  
 〒106-0032東京都港区六本木4-3-6  
 三河台ハイツ206 TEL03-6434-9434  
 年2000円 1995年創刊 www.jfpa.jp  
 ◇86 2017.1 A4 24p

八雲神社太々神楽 栃木県芳賀郡  
 芳賀町 町指定無形民俗文化財  
 平成28年度文化庁調査報告書作成  
 事業「正木の花とり踊り」(愛  
 媛県愛南町)現地調査  
 地域伝統芸能全国大会「日本の祭  
 り in ながはま 2016」  
 遂に実現を見た 第10回獅子博物  
 館表彰式兼「全日本獅子舞フェ  
 スティバル白岡'16」 高橋 裕一  
 東日本大震災・郷土芸能復興支援  
 プロジェクト 郷土芸能復興支  
 援メッセ/岩手県岩泉町の郷土  
 芸能状況/アミナコレクション  
 40周年記念 岳神楽公演 (小岩)  
 秋の地芝居(農村歌舞伎)公演行脚  
 吉澤 昭正  
 地芝居見聞(23)「第6回 茨城県  
 西塩子の回り舞台」,「藤野歌舞  
 伎 復活25周年記念公演」 北河 直子  
 地芝居あれこれ(24)  
 地芝居ポータル 蒲池 卓巳  
 地芝居探訪(60) 小森歌舞伎/横  
 尾歌舞伎/西塩子回り舞台歌舞  
 伎/入谷歌舞伎/小鹿野歌舞伎  
 /下條歌舞伎 松浦 鳥夫  
 空白の沖繩芸能史(15)  
 嗚呼!我青春の唄が聞こえる 中坪 功雄  
 特定非営利活動法人 横浜都筑太  
 鼓「結成30周年感謝の集い」 (西田)  
 第65回全国青年大会に出演  
 石川県 伝統芸能粟生獅子舞保  
 存会 川崎孝志代表  
 会員紹介  
 射和祇園祭囃子保存会 中村 正之  
 干溝歌舞伎保存会 大平 文一

◆総合女性史研究 総合女性史研究会  
 〒154-8533東京都世田谷区太子堂1-7-57  
 昭和女子大学総合教育センター  
 友野清文気付 <https://sites.google.com/a/sogojoseishi.com/zong-he-nue-xing-shi-xue-hui/>  
 ◇34 2017.3 A5 122p 1300円  
 烏孫への和蕃公主の外交活動と漢  
 の対外政策―江都公主、解憂公  
 主、侍女馮嫫の活動の記録 菅沼 愛語  
 甲塚古墳の機織り形埴輪から読み  
 解く古代女性の貢納布生産 東村 純子  
 日本女子大学校「毎月会」の発言  
 記録にみる女性観―明治末期の  
 女子高等教育論の背景に注目し  
 て 藤村 朝子  
 女性史と私 地域女性史を学ぶこ  
 との意味 宇佐美ミサ子  
 書評  
 石崎昇子著『近現代日本の家族  
 形成と出生児童数―子どもの  
 数を決めてきたものは何か』永原 紀子  
 早川紀代・秋山洋子・伊集院葉  
 子・井上和枝・金子幸子・宋  
 連玉編『歴史をひらく 女性  
 史・ジェンダー史からみる東  
 アジア世界』 三谷 博  
 新刊紹介  
 遠藤みどり著『日本古代の女帝  
 と讓位』 伊集院葉子  
 胡潔著『律令制度と日本古代の  
 婚姻・家族に関する研究』 田中 禎昭  
 亀井若菜著『語り出す絵巻―「粉  
 河寺縁起絵巻」 「信貴山縁起  
 絵巻」 「掃墨物語絵巻」 論』 辻 浩和  
 大口勇次郎著『江戸城大奥をめ  
 ざす村の娘―生麦村関口千恵  
 の生涯』 長島 淳子

吉田ゆり子著『近世の家と女性』  
松崎 瑠美

樋上恵美子著『近代大阪の乳児  
死亡と社会事業』 石崎 昇子

折井美那子著『近現代の女性史  
を考える—戦争・家族・売買  
春』 海保 洋子

沖縄県教育庁文化財課史料編集  
班編『沖縄県史 各論編第八  
巻 女性史』 櫻澤 誠

小浜正子編『ジェンダーの中国  
史』 前山加奈子

地域女性史

地域における女性史研究の成果  
—現状と課題(2016) 瀬上 ゆき

文献紹介『武相の女性・民権と  
キリスト教』『史の会研究誌  
第五号—「武相の若草」を読  
む』 海保 洋子

文献紹介『しずおかの女たち  
第九集』 石月 静恵

地域女性史グループ紹介(5)  
新潟女性史クラブ 小林 睦子

ひろば

闘う沖縄の女たち—「男逸女労」  
から基地問題まで 宮城 晴美

女性史で読む水木しげる 野村 育世

大学という空間と子育て 木村 涼子

オバマ大統領の被爆地訪問 江刺 昭子

脇田晴子氏を偲ぶ—総合女性史  
研究会創設の頃 服藤 早苗

追悼  
犬丸義一さんと日本女性史 伊藤 康子

大会の記録

大会趣旨 長島 淳子

2015年度大会報告

古代日本の織物生産と女性  
—考古学の方法から 東村 純子

衣料生産をめぐるジェンダー  
言説—近世を中心に網野批  
判に及ぶ 長野ひろ子

製糸工女と衣料生産 榎 一江

例会の記録

第142回 女性史講座共催「選択  
的夫婦別氏問題」についての  
最高裁判決にふれて 折井 純

第142回 コメント—「夫婦同姓」  
は日本古来の伝統ではない 折井美那子

第143回 日本中世遊女史研究の  
現状と課題—セックスワーク  
論の視座から 辻 浩和

第144回 近世後期の大名家と公  
武婚姻—徳島藩蜂須賀重喜の  
事例を中心に 許 文英

第145回 自治と支配のはざまの  
女子青年団活動—神奈川県青  
年団機関誌『武相の若草』に  
みる 江刺 昭子

卒業論文発表会 仮宅訴訟にみる  
吉原—遊女屋を取り巻く人々 関 千賀子

◆**大道芸通信** 日本大道芸・大道芸の会  
〒157-0061東京都世田谷区北烏山2-3-9-101  
光田憲雄 TEL03-3307-2146  
www.k5.dion.ne.jp/~daidogei/

◇298 2016.12 A4 2p 100円  
江戸東京のお稲荷さん  
落語 疝の虫

◇299 2017.1 A4 2p 100円  
半田行人の変遷  
金比羅行人

◇300 2017.2 A4 2p 100円  
『絵本風俗往来』が載せる珍商売  
丹波の荒熊／降巫(いちこ)／唐  
人船 ホニホロ／阿呆陀羅經道  
楽寺和尚／歯力／

◇301 2017.3 A4 2p 100円  
大道芸通信総目録(4)  
—第221号から第300号まで

◇302 2017.4 A4 2p 100円  
字直しの曲画  
大道所見 飛入生 番外 志那人の  
行商／大道所見 高橋柯亭 其  
の七 軍装の売薬行商／藝仙人

◆**多摩地域史研究会会報**  
〒207-0033東京都東大和市芋窪4-1735-1-  
103 梶原方 1991年創刊  
tamatiken.web.fc2.com

◇124 2017.3 B5 10p  
第94回例会報告 多摩の中世城館  
を歩くⅨ 鉢形城 西股 総生

展示会・図録紹介『まちがやっ  
て来た—大田区 大正・昭和の  
まちづくり—』 北村 敏

◆**多摩のあゆみ** たましん地域文化財団  
〒186-8686東京都国立市中1-9-52  
TEL042-574-1360 年600円 1975年創刊  
www.tamashin.or.jp

◇165 2017.2 A5 102円  
《特集 治水・利水に関わる土木遺産》  
多摩川の水利と治水 松浦 茂樹  
一枚の絵葉書から読み解く多摩の  
水環境 大里 重人  
絵葉書と境界線と土木遺産を巡る  
フィールドワーク 小林 政能  
武蔵野台地の用水と小河川にみる  
水利用—石神井川と鈴木用水、  
鈴木田用水を例に 本田 創  
多摩地域の戦後水道広域化のあゆ  
み 中庭 光彦  
洋風建築への誘い(54) 旧日光街  
道たてもの遊山 瑞穂町 伊藤 龍也

建物雑想記(49)  
耕心館・柱から垣間見る近世 酒井 哲  
多摩のみほとけ(28) 日野市 金  
剛寺(高幡不動) 木造不動三尊  
像 齊藤 経生

本の紹介

こだいら水と緑の会編『用水路  
昔語り』 蛭田 廣一  
宮野浩二所蔵昆虫標本目録作成  
委員会編『宮野浩二所蔵昆虫  
標本目録』 松本 和馬  
府中市郷土の森博物館編『京王  
電車の開通と府中駅』 金井 安子

◆**調布市郷土博物館だより**  
〒182-0026東京都調布市小島町3-26-2  
TEL042-481-7656 1978年創刊

◇78 2017.3 A4 8p  
一九六四年 オリンピックが調布  
にやってきた マラソン折返し  
地点の記念碑除幕式にて  
多摩川霊園と京王閣  
東京の宝塚と呼ばれて 金井 安子  
地域回想法 博物館と福祉の連携  
森 悦子

◆**調布の文化財** 調布市郷土博物館  
〒182-0026東京都調布市小島町3-26-2  
TEL042-481-7656 1986年創刊

◇54 2017.3 A4 8p  
吉田包春作「深大寺釈迦如来倚像  
厨子」の新指定 赤城 高志  
新指定の文化財 深大寺釈迦如来  
倚像厨子と吉田包春 赤城 高志  
講演会抄録 石川昌生氏「日本の  
桜と樹木のはなし—桜堤通りを  
行く—」 芝崎由利子

◆伝 え 日本口承文芸学会  
〒150-8440東京都渋谷区東4-10-28  
國學院大學 花部英雄研究室  
TEL03-5466-0224 年4000円 1987年創刊  
ko-sho.org

◇60 2017.2 B5 4p  
口承文芸—聴き耳の旅50年 米屋 陽一  
第71回日本口承文芸学会 研究例  
会報告「現在の学校教育における  
「伝統文化」教育の位相を問  
う—教科書教材・授業実践の事  
例などを通して—」 黒川 麻実  
各地の語り・語り手・語りの場の  
紹介(4) 船橋の民話を聞く会 松山 章子

◆東京産業考古学会 NEWSLETTER  
〒174-0046東京都板橋区蓮根2-29-10 新進  
根団地105 多田統一方 FAX03-3964-8548  
／〒352-0011埼玉県新座市野火止4-8-43  
袖須絏一方 FAX048-479-7490 年2000円  
tias3.web.fc2.com

◇122 2017.1 A4 6p  
報告 講演会「旧国鉄荷物営業の  
終焉とその後」 奥原 一三  
報告 研究会「町の記憶を記録し  
て、はじめての「産業考古学」  
—東京台東区谷中のリボン工場  
を調べて」 奥原 一三  
報告 見学会「環境展—エコプロ  
ダクト2016」 多田 統一  
新刊紹介『セルロイドの町 か  
つしか』編集・発行：葛飾区郷  
土と天文の博物館 平井 東幸  
産業遺産を訪ねて(8) 東大和市  
の旧日立航空機の変電所—修復  
保存で募金活動も 平井 東幸  
茨城県石岡市の赤煉瓦建築物(3)  
「羽成氏煉瓦塀」 文・写真 八木司郎

◇123 2017.3 A4 6p  
2017年度総会開催される／八木司  
郎新会長の就任のご挨拶  
報告 講演会「飛行機による冒険  
こぼれ話」／報告 研究大会ダ  
イジェスト／報告 記念講演  
「石油化学の歴史と技術の系譜」  
奥原 一三  
支倉常長の遣欧使復元船の保存を  
断念(石巻市)ーサン・ファン・  
バウティスタ号は2020年以降に  
解体へ 吉田 修  
新刊紹介『東京カイシャハッケ  
ン伝ガイド』 多田 統一  
産業遺産を訪ねて(9) 鶴岡市の  
松ヶ岡開墾場の蚕室—明治初期  
の養蚕施設が5棟 平井 東幸  
茨城県石岡市の赤煉瓦建築物(4)  
「羽成氏煉瓦造」 文・写真 八木司郎

◆東京大空襲・戦災資料センターニュース  
〒136-0073東京都江東区北砂1-5-4 政治経  
済研究所 TEL03-5857-5631 年2000円  
2002年創刊 www.tokyo-sensai.net

◇30 2017.2 A4 8p  
開館15年、維持募金のお願い 早乙女勝元  
東京大空襲を語り継ぐつどい 東  
京大空襲・戦災資料センター開  
館15周年／2017年 第1回特別  
展「空襲被災者と戦後日本」  
特別展「空襲被災者と戦後日本」  
開催案内と共同研究「戦後都市  
社会における空襲被災者運動の  
歴史学的研究」 大岡 聡  
「文化社が撮影した敗戦直後の東  
京」写真展のご報告と研究成果  
報告書刊行のお知らせ 井上 祐子  
夏休みの特別企画 みんなで学び、

伝えよう！ 東京大空襲 比江島大和  
リニューアルのお知らせと募金の  
お願い 山辺 昌彦  
センターで体験を語って 小林 暢夫  
語り継ぐ 空襲体験センターを次  
世代へ継承するために一次世代  
継承研究会の取り組み 比江島大和  
霊名簿研究会の最近の活動 青木 哲夫

◆日本の伝統を守る会会報  
〒102-0085東京都千代田区六番町7  
番町グロリアビル2階 TEL03-6380-8412  
nihon-dentou.or.jp

◇23 2016.12 A4 8p  
日本の元号と改元の歴史 講座か  
ら(平成28年9月講座・浦井祥  
子講師「日本の元号と改元」か  
ら抜粋編集)  
ハレとケ 講座から(平成27年7  
月15日講座・加藤紫織講師『食  
卓と食文化』の抜粋・補訂編集  
恵方の決め方 講座から(平成28  
年2月25日講座・浦井祥子講師  
「時刻と方位」から抜粋・補訂  
編集)  
江戸の人々の作り上げた園芸文化  
・これが朝顔！ 澤田 諄

◆練馬郷土史研究会会報  
〒179-0072東京都練馬区光が丘5-2-3-806  
鎌田茂男方 TEL03-3977-3091  
1956年創刊

◇363 2017.1 A4 4p  
豊島氏関係史料を読む(20) 太田  
氏房判物に見える岩付城と城番  
伊藤 一美  
練馬の城を往く(17)  
高稲荷神社の出城(推定説) 八巻 孝夫

石神井公園史年表(3) 葛城 明彦

◆練馬区地名研究会会報  
〒176-0014東京都練馬区豊玉南3-24-4  
飯塚芳男方 TEL03-3992-0264  
年2500円 1987年創刊

◇116 2016.12 B5 4p  
第117回例会  
「風水都市・江戸東京を歩く」  
その2—風水における発展の  
氣と癒しの氣 西島 幸夫  
東横映画・太泉映画について 飯塚 芳男  
第20回地域観察会  
下練馬の高田道 冲野 一則

◇117 2017.3 B5 4p  
第118回例会  
豊島氏の城 石神井城を考える  
八巻 孝夫  
豊島一族と練馬城 葛城 明彦

◆練馬古文書研究会会報  
〒176-0022練馬区向山3-21 保戸塚太地方  
TEL03-3999-8871 1985年創刊  
www.7b.biglobe.ne.jp/~tagame-y/  
◇57 2016.12 B5 4p  
戸外学習会報告 新座、古文書、  
志木めぐり 保戸塚太地  
もう一つの藍玉工場 坂本 晶  
戸外学習会報告 林英夫氏のコレ  
クションをあるく 羽鳥 孝明  
古文書大会見学記  
文書に僧の名が 坂本 晶

◆東日本部落解放研究所ニュース  
〒111-0024東京都台東区今戸2-8-5  
TEL03-5603-1863 1986年創刊  
www.hblri.org

◇91 2017.2 A4 12p

第30回研究・交流集会開催

全体会 上演 部落に伝承された

操人形・込常戸三番叟

解説：小林岩男さん 文責・菅原智子

全体会 地元報告 群馬の部落解

放運動の現状と課題 栗田広明

さん 文責・石井昭一郎

全体会 記念講演 群馬の部落史

大熊哲雄さん 文責・和賀正樹

第1分科会 歴史 群馬の部落史

責任者：斎藤洋一・大熊哲雄・

鳥山洋・横山陽子 文責・石井昭一郎

第2分科会 教育 群馬の人権・

同和教育一現状と課題 北爪俊

男さん／日本語学級をとおして

思うこと 内藤暁枝さん／先生、

部落って何ですかー立ち上げた

子ども会、そこにすわり続ける

ことでー 岩崎正芳さん 文責・松浦利貞

オプション フィールド・ワーク

ガイド：小林岩男さん 文責・増田公雄

◆府中市郷土の森博物館紀要

〒183-0026東京都府中市南町6-32

TEL042-368-7921 1988年創刊

www.fuchu-cpf.or.jp/museum/

◇30 2017.3 A4 32+77p

府中市本宿の中世遺跡

一旧弥勒寺跡再考 深澤 靖幸

百草八幡神社の祭神ー古代・中世

多摩川中流域の残影 小野 一之

本宿用水と四ッ谷用水をめぐる争

論ー天保九年の訴訟を中心とし

て 花木 知子

編無為 依田貞鎮の「神道大宗」

における宇宙観と道徳観 野田 政和

間島神社と子権現の由緒 佐藤 智敬

◆民具研究 日本民具学会

〒221-8686横浜市神奈川区六角橋3-27-1

神奈川大学日本常民文化研究所内

TEL045-481-5661 年5000円

mingu-gakkai.com

◇154 2016.12 B5 82p

紀年銘唐箕の認定法についての問

題点 桂 眞幸

石炭ストーブと日本文化 宇田 哲雄

産育祈願の吊るし飾り

一福島県会津地方のカサボコ 内山 大介

江戸時代の駕籠におけるつくりと

材料の関係一現存する駕籠の調

査結果から 落合 里麻

「昭和15年砺波地方の昔の米作り」

再現DVDの作成について 高原 徹

名古屋博物館特別展「名古屋め

しのもと」 長谷川洋一

展示批評

神奈川県立歴史博物館特別展

「石展 かながわの歴史を彩

った石の文化」 加藤 隆志

埼玉県富士見市立難波田城資

料館企画展「ほうきと竹かご

一自然素材の生活用具」 服部 武

書籍紹介 井之本泰写真集『ヨイ

ショ ヨイショーチコちゃんの

四季』 宮本八恵子

◆民衆史研究 民衆史研究会

〒162-8644東京都新宿区戸山1-24-1

早稲田大学文学学術院 大日方研究室内

1962年創刊

◇92 2016.12 B5 74p 1500円

《特集 近代における知識青年》

特集にあたって 民衆史研究会委員会

文学青年の来歴ー日露戦争前後 木村 洋

大正初期における「高等遊民」問

題と試験制度改正運動 町田 祐一

「院外青年」運動と労働運動ー第

一次大戦直後の都市社会におけ

る諸運動交錯の一側面 伊東 久智

一九世紀初頭における〈俗人〉の

教化活動と真宗教団 芹口真結子

書評 海老澤衷・酒井紀美・清水

克行編『中世の荘園空間と現代

備中国新見荘の水利・地名・た

たら』 服部 英雄

◆民俗芸能学会会報

〒169-8050東京都新宿区西早稲田1-6-1

早稲田大学演劇博物館内

TEL03-3203-4141 年6000円

◇96 2016.12 A5 12p

研究例会の企画趣旨 第162回研

究例会（平成29年1月28日）

「パンソリ音楽文化の近代と今

日の全州大私習」 野村 伸一

◆無形文化遺産研究報告

東京文化財研究所

〒110-8713東京都台東区上野公園13-43

東京文化財研究所無形文化遺産部

TEL03-3823-2241 2007年創刊

◇11 2017.3 A4 139+17p

無形文化遺産の保護に関する第11

回政府間委員会の概要と課題 二神 葉子

資料紹介

七代目豊沢広助『義太夫 節と

手順』 飯島 満

梅村豊撮影歌舞伎写真(7) 鎌田 紗弓

木島正夫による青花紙製作の映

像記録 石村 智

田辺尚雄の南洋調査ノート 石村 智

東京文化財研究所所蔵 フラン

ス・パテ社製SPレコード

長唄『新浦島』を中心に 星野 厚子

無形文化遺産(伝統技術)の伝承に

関する研究会Ⅲ「現在に伝わる

明治の超絶技巧」セッション

「『明治工芸』を現代に活かす」

山崎剛／鈴木由紀夫／原田一敏／長崎

巖／荒河正明／編集構成：菊池理予

◆明治維新史研究 明治維新史学会

〒101-8301東京都千代田区神田駿河台1-1

明治大学文学部 落合弘樹研究室

2004年創刊 www.ishinshi.jp

◇14 2017.2 B5 76p

太政官期の法典編纂における「西

洋」「非西洋」ー江藤新平と大木

喬任の比較を通して 大庭 裕介

地租改正事務局官員穴戸昌と「東

北地方地租改正資料」 滝島 功

公開講演記録 自由民権運動史研

究の過去と現在 寺崎 修

追悼文

原口清先生のご逝去を悼む 勝田 政治

毛利敏彦先生のご逝去を悼む 家近 良樹

佐々木克さんを送る 原田 敬一

書評

久保正明著『明治国家形成と華

族』 刑部 芳則

内山一幸著『明治期の旧藩主家

と社会ー華士族と地方の近代

化ー』 寺尾 美保

宮地正人著『歴史のなかの『夜

明け前』 平田国学の幕末維新

小田 真裕

新刊紹介

勝田政治著『大久保利通と東ア

ジアー国家構想と外交戦略』 木村 直也

佐藤隆一著『幕末期の老中と情

報ー水野忠精による風聞探索

活動を中心に』 奈良 勝司  
 2016年度第46回明治維新史学会  
 討論要旨  
 篠崎佑太氏「嘉永・安政期にお  
 ける幕政と大名—徳川斉昭  
 「参与」の実態—」 白石 烈  
 竹ヶ原康佑氏「長州処分問題を  
 めぐる仙台藩の動向—情報収  
 集・藩内意見集約と対外発信  
 に着目して—」 落合 弘樹  
 岩村麻里氏「慶応期における土  
 佐藩政と中央政局—後藤象二  
 郎の大政奉還運動を中心に—」  
 中元 崇智  
 大庭裕介氏「旧刑法改正論のゆ  
 くえと司法省における旧民  
 法編纂の契機」 中川 壽之  
 飯塚彬氏「明治二〇年代初頭  
 地方青年の政治活動について  
 の一考察—民権運動家・森隆  
 介と雑誌『常総之青年』を中  
 心にして—」 田崎 公司

◆郵便史研究 郵便史研究会  
 〒112-0011東京都文京区千石2-42-7 田中  
 寛方 TEL03-3945-2497 年3500円  
 1995年創刊 www.yuubinshi.sakura.ne.jp  
 ◇43 2017.3 B5 50p 2000円  
 横浜仏局大型数字5118入菱形印 小林 彰  
 熊本郵便局の開設事情 立山 一郎  
 「フランス横浜郵便局」研究史(5)  
 松本 純一  
 わが国の鉄道郵便小史 山川 一郎  
 資料紹介  
 旧刊紹介(17)  
 『通信博物館五十年史』 鈴木 克彦  
 試作原画データ追補  
 慶應義塾創立100年記念切手 星名 定雄

近刊紹介  
 山崎好是 飛脚—飛脚と郵便—  
 訃報 浅見啓明氏を偲ぶ  
 たて書丸—印のライバル 田中 寛  
 郵便談義が懐かしい 手嶋 康  
 資料収集にも取り組む 近辻 喜一

◆洋学史通信 洋学史学会  
 〒182-8585東京都調布市調布ヶ丘1-5-1  
 電気通信大学電気通信学部 佐藤賢一研究  
 室気付 TEL0424-43-5512  
 yogakushi.jp.org  
 ◇27 (復3) 2016.12 A4 8p  
 私と洋学史学会  
 創立時の学会事務のこと 岡田袈裟男  
 自著紹介 ライデン国立民族学博  
 物館蔵 プロムホフ蒐集目録：  
 プロムホフの見せたかった日本  
 松井 洋子  
 新刊紹介 W.J.Boot, *Keizers en Sho*  
*gun, Een Geschiedenis van japan tot*  
*1868.* 横山 伊徳

◆厚木市史たより 厚木市  
 〒243-0018神奈川県厚木市中町3-17-17  
 厚木市教育委員会文化財保護課  
 TEL046-225-2060 2010年創刊  
 ◇16 2017.1 A4 4p  
 戸田小柳遺跡の調査成果について  
 戸羽 康一  
 鐘ヶ嶽採集瓦と武蔵国分寺の同范  
 瓦について 高橋 香

◆小田原史談 小田原史談会  
 〒250-0013神奈川県小田原市南町4-1-24  
 松島俊樹方 年3000円 1961年創刊  
 odawara-shidan.hustle.ne.jp  
 ◇248 2017.1 A4 32p

一心太助は鮑屋でい  
 話し手：市川孝夫  
 小田原の「懐かしい映画館」を追  
 って 平倉 正  
 小田原桐座について(8)  
 一川上音二郎乱闘事件の真相 荒河 純  
 沖縄の二宮金次郎像調査日誌 露木 順一  
 平成輔と小田原 野村 朋弘  
 徒然なるままに—忘れられた地名  
 (3)「早川上水・鍋町」 杉山 虔一  
 小田原の郷土史再発見  
 広島にある「北條氏直の墓」 石井 啓文  
 小田原史談会セミナー 第十五回  
 「火山の国イタリアと日本」講  
 師：杉山浩平氏 (山口)  
 片岡日記 昭和編(8)  
 昭和2年12月 片岡永左衛門  
 七十年前の小田原の街—府川角蔵  
 『小田原廻り』より抜粋 (文責・荒河)  
 晩秋紀行 甲斐路史跡と美術館 田中 豊

◆神奈川県立公文書館だより  
 〒241-0815横浜市旭区中尾1-6-1  
 TEL045-364-4456 1994年創刊  
 www.pref.kanagawa.jp/cnt/fl040/  
 ◇36 2017.3 A4 4p  
 第5回県立図書館・公文書館共同  
 展示「鎌倉再発見」の展示資  
 料から「御成敗式目(貞永式目)  
 天正2年写本」他  
 水戸黄門の編んだ地誌 県立図書  
 館・公文書館合同展示  
 十四代將軍徳川家茂の浦賀来航—  
 古文書講座で紹介した資料から

◆鎌倉 鎌倉文化研究会  
 〒248-0016神奈川県鎌倉市長谷3-11-2  
 観音ミュージアム内 TEL0467-22-6100

1959年創刊  
 ◇122 2017.1 A5 118p 1500円  
 一斎居士顔汝敷と南宋末禅林(下)  
 —建長寺開山蘭溪道隆と同門に  
 当たる在俗居士 佐藤 秀孝  
 鎌倉大仏存疑(上)—『吾妻鏡』記  
 載の大仏関係六条・私注 鈴木 良昭  
 武家の王としての足利氏像とその  
 形成 谷口 雄太  
 応安四年建長寺大衆申状書の紹介  
 と分析 大塚紀弘／白河宗源  
 余録 鎌倉乃記(13)—与謝野晶子  
 ・寛、そして鎌倉(8) 吉井勇(1)  
 坂本 俊雄  
 『鹿山公私諸般留帳』(48) 三淵美恵子  
 神奈川の窓(39)  
 —「地方史研究」から 井上 隆男

◆かまくら女性史の会 Newsletter  
 〒248-0012神奈川県鎌倉市御成町18-10  
 NPOセンター鎌倉気付 メールボックス  
 26 2013年創刊  
 ◇40 2017.1 A4 2p  
 100年続く鎌倉市大町の「鎌倉柳  
 都講」 浦野昭子／曾原糸子／前田セツ  
 講の歴史について (曾原)

◆京浜歴史研年報 京浜歴史科学研究会  
 〒233-0006横浜市港南区芹が谷5-59-12  
 大湖賢一方 TEL045-825-3736 1987年創刊  
 www.rekikaken.org/rekika/  
 ◇29 2017.2 B5 35p  
 佐久間権蔵日記と米騒動 大湖 賢一  
 横浜鎖港をめぐる水戸藩閩のネッ  
 トワーク—池田慶徳・徳川慶篤  
 ・一橋慶喜を中心に 塚越 俊志  
 カール・シュミットの国家論をめ  
 ぐって—『政治神学』と『政治

的なものの概念』を中心に 奥田 晴樹

◆**県史史談** 県史史談会

〒243-0033神奈川県厚木市温水342  
内藤佳康方 TEL046-247-1751 1961年創刊  
◇56 2017.1 A5 72p

資料紹介 旗本秋元明朝の中新田  
村 大坂屋当主宛幕末の書簡 細川 光成  
米軍は最大の砂利需用者だった 千葉 弘  
厚木の酒屋の移り変わり 橘川 明  
郷土の偉人 教育愛郷土愛の人

井上篤太郎一待望已マザリシ新  
校建設 小池 正春  
厚木市教育長殿  
一市民に精確な情報を 小池 正春  
投稿についてお願い 編集委員  
伝・荻野四郎忠義一族の供養塔と

居蹟(用田神社) 荻田 豊  
道了尊御本地(県下名勝史跡45佳  
選)を訪ねる 柳下 安行  
『小島家住宅調査報告書』より 編集委員

◆**クロス** 常民文化研究会

〒254-0016神奈川県平塚市東八幡2-8-20  
西海賢二方 年1000円 1979年創刊  
◇148 2017.2 B5 6p  
江戸・東京・東京の祭礼文化に民  
俗を読む(3) 西海 賢二

◆**寒川文書館だより**

〒253-0106神奈川県高座郡寒川町宮山135-  
1 TEL0467-75-3691 2007年創刊  
www.lib-arc.samukawa.kanagawa.jp  
◇21 2017.3 A4 8p  
資料紹介 寒川町家屋名入地図  
(寒川文書館蔵、藤井彰氏旧蔵)  
文書館活用講座を開講／神史協研  
修会を開催

おかげさまで10周年 シンポジウ  
ム「アーカイブズでできる先祖  
調べファミリー・ヒストリーの  
ススメー」

共催 企画展 図書館・文書館10  
年のあゆみ／共催 映像上映会  
「図書館・文書館ができたころ」  
収蔵庫の資料から(7) 一之宮西  
町年番文書、宮下町総代文書、  
鈴木喜明家文書、大澤リウ氏写  
真

◆**市史通信** 横浜市史編集室

〒220-0032横浜市西区老松町1 横浜市中  
央図書館地下1階 TEL045-251-3260  
2008年創刊  
www.city.yokohama.lg.jp/somu/org/housei/sisi/

◇28 2017.3 A4 12p  
開港九〇周年記念事業 百瀬 敏夫  
記念絵はがきと記念スタンプ 平野 正臣  
横浜大空襲罹災の実相 羽田 博昭  
アンケート集計結果より 川原 照美  
開架資料紹介 『横浜の町名』 羽田 博昭

◆**自然と文化** 平塚市博物館研究報告

〒254-0041神奈川県平塚市浅間町12-41  
TEL0463-33-5111 1977年創刊  
www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/

◇40 2017.3 A4 102+10p  
中原御殿に家康の戦略を読む 栗山 雄揮  
御領宮遺跡で発見された壺形土器  
について 佐藤成美／栗山雄揮  
米軍のコロネット作戦に対する第  
53軍の本土防衛—鷹取山に構築  
された本土決戦陣地遺構群 市原 誠  
幕末期争論にみる百姓・神職の二  
重身分 早田 旅人

◆**首都研ネットワーク** 首都圏形成史研究会  
〒231-0021横浜市中区日本大通3 横浜開  
港資料館気付(吉田律人・西村健)  
TEL045-201-2169 年3000円

◇75 2017.2 B5 4p  
情報ネットワーク 展覧会情報/  
出版情報 上山和雄『日本近代  
蚕糸業の展開』  
イベント情報 平成28年度神奈川  
県博物館協会三部会合同講演会  
知っておきたい博物館の話「学  
芸員の現場」  
会員インフォメーション 上山和  
雄編『軍港都市史研究Ⅳ 横須  
賀編』

◆**湘南考古学同好会々報**

〒251-0044神奈川県藤沢市辻堂太平台2-3-  
19-104 寺田兼方方 1980年復刊  
shounankouko.jimbo.com  
◇145 2016.12 B5 32p  
遺跡調査の整理に携わって 梶山 昇  
心の考古学まで(13) 前方後円墳  
の築造に関する考察(2) 古要 祐慶  
哀悼! 榎本洋一様  
グループ活動の総括 渋谷氏とそ  
の城館(1) 渋谷氏を考える会  
鎌倉出土「石棺墓」見学の記 天野 弘一  
『発掘された日本列島2016』見学記  
永山 鶴一  
『富山県小竹貝塚』—講師町田賢一  
氏の勉強会に参加して 道前あや子  
「古代ギリシャ—時空を超えた旅—」  
—9月臨時例会に参加して 久保 一介  
「綾瀬市神崎遺跡資料館」見学記 山口 礼子  
2015年度藤沢市・隣接市町考古学  
関係主要出版物一覧 伊藤郭・編  
地元高校生の古代鎌倉砂鉄たたら

製鉄再現実験論文の紹介 染谷 七重  
◇146 2017.1 B5 20p

『第34回 藤沢市遺跡調査発表会』  
に思う 寺田 兼方  
下土棚諏訪ノ棚(No118)遺跡第4次  
調査 中村 哲也  
用田大河内遺跡 吉田 浩明  
西富西原(No458)遺跡第6次調査 望月 芳  
鶴沼下ノ沢(No437)遺跡第4次調査  
大坪 宣雄  
「藤沢市遺跡調査発表会」の発表  
遺跡一覧(第27回～第33回遺跡  
発表会)

◆**戦争と民衆**

戦時下の小田原地方を記録する会  
〒250-0011神奈川県小田原市栄町3-13-21  
◇78 2017.3 A5 24p  
聞き取り  
箱根病院で元傷痍軍人と接して  
話し手:石原傳幸  
勤労働員と兵士体験  
話し手:岸達志  
交流報告  
静岡平和資料センター見学記  
戦災・空襲記録づくり第32回  
東海交流会参加記 矢野 慎一  
沖繩研修旅行報告 矢野 慎一  
続・地域で戦争を伝えるものを調  
べて(6) 大久保神社の砲弾と  
小田原高校の鎮遠の時鐘 香川 芳文  
国立箱根療養所から一九六四年の  
東京パラリンピックへ 井上 弘  
最近の『戦争と民衆』目次(第76  
号・第77号)

◆**日本地名研究所通信**

〒213-0001川崎市高津区溝口1-6-10

川崎市生活文化会館4階 TEL044-812-1106  
1993年創刊 www8.ocn.ne.jp/~timeiken/  
◇87 2017.2 B5 8p  
地名と季節 関 和彦  
川崎市長との会談 菊地 恒雄  
「地名を守る会」から「日本地名研  
究所」へ—その生い立ちの記 荒竹 清光  
鴻巣地域の地名調査(大字・小字)  
柏崎 伸夫  
球磨人の誇り 豊かな隠れ里  
住吉献太郎  
初めての東京大会 第36回全国地  
名研究者武蔵野大会への誘い 小田 富英

#### ◆日本の石仏

日本石仏協会(発売:青娥書房)  
〒224-0037横浜市都筑区茅ヶ崎南1-3-10-  
409 TEL0452-943-4409 年8000円  
1977年創刊 ur0.work/su9s/  
◇160 2016.12 A5 64p 2000円  
表紙の写真 半魚人(人魚)のシヨ  
ケラ持ち青面金剛像 写真と文 賛谷岳和  
「日本の石仏」160冊は協会の財産  
汗の結晶を活かしたい 坂口 和子  
《特集 生業の守護神》  
豊蚕祈願と石仏—長野県中信地区  
の大黒天・道祖神・蚕神とのか  
わりから 窪田 雅之  
群馬県における養蚕と蚕神信仰 角田 尚士  
石像愛染明王塔の庶民信仰の流れ  
を追って—江戸・甲州・下総の  
事例から 三代川千恵子  
置賜の近世「磨崖仏」巡拝—青面  
金剛像と文字塔を中心に 加藤 和徳  
会員の広場  
島根県隠岐郡西ノ島の石仏 遠藤 康子  
三重県内の天明八年銘を有する  
五神名地神碑(農耕神碑) 正富 博行

あ・ら・か・る・と—私の石仏案内  
志賀の大仏(おおほとけ)  
滋賀県大津市滋賀里甲 黄瀬 三朗  
高萩の「蚕影三神像」 埼玉県  
日高市高萩 下高萩公会堂 門間 勇  
石仏入門(14)  
日天・月天・火天・風天 門間 勇  
「石」を知る(48) 大坂三郷の「石」  
／大阪の「石材」 小松 光衛  
石仏写真と私(47) 「犬も歩けば  
棒に当たる」と多様性を求めて  
… ゲスト 門間勇さん 杉本 康希  
日本石仏協会主催・第110回石仏  
見学会報告 日野市程久保地域  
と万願寺地区を巡る 小島 隆司  
日本石仏協会主催・一泊石仏見学  
会報告 群馬県前橋市を中心に  
赤城山南麓の石仏巡り 中森 勝之  
コラム  
丸石道祖神の台座から丸石が出  
現 岡田 均  
生業の神仏が鎮座した山から 田中 英雄  
栃木・女体山の仁王 田中 英雄

#### ◆扣之帳 扣之帳刊行会

〒250-0021神奈川県小田原市早川60  
青木良一方 TEL0465-22-8852  
年2500円 2003年創刊  
hikaenochou.world.coocan.jp/mysite/  
◇55 2017.3 A5 120p 500円  
西さがみ文芸雑話(1) 小田原・  
大井・南足柄・二宮 知られざ  
る文士たち 石井 敬士  
『讃佛画集』(1) 橋本 龍  
天球院の容姿と心根 今川 徳子  
小田原領の下新田村の小八の仕法  
尾上 武  
あるべきようわ 岸 達志

新小田原市民歌を知っていますか

佐宗 欣二  
相模松田氏とその興亡 平賀 康雄  
邪馬台国を訪ねて(2) 卑弥呼の  
国を比定してその時代を知る 山室 智央  
国府津今昔(明治から昭和まで)(3)  
映像資料「早稲田の三老」の発  
見に至るまで 武井 秀夫  
市川右近の右団次襲名に想う 田中 豊  
関東十八檀林記(1) 青木 良一  
荒野から荒野へ(8) 英文学にお  
ける宗教性 サミュエル・ベケ  
ット(補遺) 茂木 光春

#### ◆民具マンスリー

神奈川大学日本常民文化研究所  
〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1  
TEL045-481-5661 年3500円 1968年創刊  
◇586 (49-10) 2017.1 A5 24p 350円  
青森県上北郡おいらせ町氣比神社  
の絵馬市—絵馬市の抱える問題  
と購入者の求める絵馬の特徴に  
着目して 三津山智香  
武蔵野美術大学 美術館・図書館  
民俗資料室所蔵絵馬コレクション  
ンについて 山口 拡  
月夜の船絵馬—資料紹介 昆 政明  
「明治の農具絵図」概要一覧 桂 眞幸  
◇587 (49-11) 2017.2 A5 24p 350円  
ムラ仕事の当番札  
—富山県南砺市楮の場合 森 俊  
民具の終焉の作法  
—洪澤敬三の民具観(4) 小島 環禮  
鳥取県智頭町の黄連採集加工用具  
について(1) 檜村 賢二  
民具短信 欽の附属具  
泥除けの名称について 佐々木長生  
◇588 (49-12) 2017.3 A5 24p 350円

本州の社寺に奉納された明治期の  
イナウについて 今石みぎわ  
イクパスイにおけるイトクバを用  
いた地域特定の可能性 中村 慧  
民具短信  
実践民俗学3 アイヌの未来 杉山 是清  
書籍紹介 『まちがやって来た—  
大正・昭和 大田区のまちづく  
り—』大田区立郷土博物館編・  
刊 鈴木 通大  
第49巻総目次

#### ◆悠久

鶴岡八幡宮悠久事務局(発売:おうふう)  
〒248-0005鎌倉市雪の下2-1-31  
TEL0467-22-0315 1980年第二次創刊  
◇148 2017.3 A5 120p 680円  
《特集 白山信仰》  
口絵 白山曼荼羅図／口絵解説  
白山曼荼羅図 福原 敏男  
眺望 原 和子  
対談 白山へのあこがれ—白山開  
山一三〇〇年によせて  
村山和臣／木崎馨山  
白山信仰の成立と展開 橋本 政宣  
加賀馬場の信仰 東四柳史明  
越前馬場の信仰 平泉 隆房  
美濃馬場の信仰 相山 林継  
白山信仰の祭礼と芸能  
—近世都市における展開 福原 敏男  
分布地図 全国に分布する白山信  
仰と各県の白山神社の神社数  
水源としての白山  
—歴史地理学の立場から 筒井 裕  
白山信仰の拡がり  
—藤原秀衡を例とし 若宮 多門  
八幡宮紹介  
横山八幡宮(岩手県宮古市宮町)

中 部

◆観賞 新潟文化財観賞会

〒950-0852新潟市東区石山3-12-19

斎藤寿一郎方 TEL025-286-1740

◇38 2017.2 A5 109p

戊辰戦争の局面推移と新潟開港

一外交と商船の視点から 青柳 正俊

新潟県初の授業研修会と小学校の

教員構成 伊藤 充

燕の産業の変遷 燕市産業史料館

齋藤 優介

持倉銅山跡へ（先祖の足跡を訪ね

て） 高杉 政子

近世地文書をよむ 名子重吉の出

稼ぎ期間延期願い 中村 義隆

露谷虹児と「花嫁人形」 齋藤 義明

第9回越佐地方史談話会の報告 野上 正栄

平成28年度文化財観賞研修旅行に

ついて

茨城県・千葉県の文化財を訪ね

て 野本 健一

上越市の文化財を訪ねて 藤井 保男

◆郷土史燕

燕市教育委員会・燕郷土史研究会連合会

〒959-1262新潟県燕市水道町1-3-28

燕市教育委員会社会教育課文化振興係

TEL0256-63-7002 2008年創刊

◇10 2017.3 A5 260p

地理学者・草間文績の人物像一同

時代の地理学者との相違点 亀井 功

「康平・寛治の古図」と小字（さめ

つら（鮫面） 亀井 功

小諏訪前B遺跡の黄釉陶器（黄釉

鉄絵盤）について 本間 敏則

吉田地区の狛犬を尋ねて（5） 大江 登

古代蒲原郡の施釉陶磁器 春日 真実

史料紹介 亡母の「想い出」ノー

トから一地藏堂町と大河津分水

工事と 山田ともゑ

続、大森子陽と大森家の謎を探る

竹内 登

良寛にとっての「天上大風」の意

味について 本間 明

乱世に生きた先祖たち一燕市五千

石の平澤氏の祖・高梨氏につい

て 平沢 陽一

史料紹介 市島九郎著「市島町見

聞録」について 濱田 達郎

割地制村落 塚本 智弘

地藏堂願王閣御遷座八百年を迎え

て 西海土寿郎

◆郷土史編さん誌みなみうおぬま

南魚沼市教育委員会

〒949-6680新潟県南魚沼市六日町680-1

社会教育課郷土史編さん係

TEL025-773-2197

◇14 2017.3 A5 69p

日本文化を世界にひろめよう 今成 卓而

近現代部会編集委員の高橋直栄さ

んを追悼する

近現代部会編集委員の滝沢繁さん

を追悼する

ふるさと通信

近世前期の村高を考える 本山 幸一

魚沼にみる近世前期高田藩の宛

入・中間 本山 幸一

明治時代の六日町のできごと一

家記「魚水亭」の記録を窺く

遠藤 利和

田村寛一郎の生涯 岡村 勝

日本一の庵寺・越後曹洞宗名利

雲洞庵の晋山式について 今成 卓而

◆高志路 新潟県民俗学会

〒950-2022新潟市西区小針6-29-1

鶴巻武則方 TEL025-231-6100 1935年創刊

www.geocities.jp/niigata\_minzokugaku/

◇403 2017.2 A5 54p

小特集 『北越雪譜』挿画を読む

『北越雪譜』の雪中歩行用具 五十嵐 稔

『北越雪譜』の挿絵 高橋 実

『北越雪譜』の降雪観と『雪華

図説』謄写の雪の図 鶴巻 武則

雪中の水害 高橋由美子

星の輝く盆唄 佐藤 和彦

小笠原長時による「貝之巻」およ

び「太鼓之巻」について 野村 憲一

◆ふるまち良寛てまり庵通信

〒951-8063新潟市中央区古町通2-538

TEL025-378-2202

◇21 2017.1 A4 4p

“良寛ゆかりの柘榴”が健やかに

育っています。 新津総鎮座

堀出神社

展示作品 書簡「すもり宛 人も

三十四十を…」 良寛記念館蔵

解説・小島正芳

言霊 是非得失一夢中／人間是非

飽看破

付録 良寛遺墨シート 五言絶句

対君々不語 良寛書 解説・小島正芳

◆良寛だより 全国良寛会会報

〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文

化博物館新潟分館内 TEL025-222-2262

1978年創刊

◇155 2017.1 A4 20p

良寛と貞心尼（初対面の歌） 安田

鞞彦（明治17～昭和53年）

リレーエッセイ 良寛つれづれ（4）

良寛さんの言霊と数霊 柳本 雄司

良寛遺墨鑑賞（3） 関川万助宛書簡

残暑甚罷成候 小島 正芳

折々の良寛（44）「ふるまち良寛

てまり庵」の運営について 長谷川義明

全国良寛会長岡大会

設立四十周年の歓びを長岡で 春日 浩三

恋文=愛語

祝!!全国良寛会長岡大会 吉岡 三郎

祝!!全国良寛会長岡大会

貞心尼はなぜ良寛の弟子に 中川 幸次

相馬御風の良寛（4）「良寛の肖像」

金子善八郎

良寛和尚がもたらしたご縁 本間 敏博

「全国良寛会糸川大会」記念展

示によせて 牧江靖齋父子と良

寛（上） 河合雅子／若林節子／反町タカ子

トビックス 伊藤文吉・全国良寛

会顧問を偲ぶ会／牧江春夫・東

京良寛会前会長を偲ぶ会

良寛 おかしみのうた 素描 吉田 福恵

『良寛和尚文獻目録』を刊行して 川口 霽亭

守り継がれる柘榴の木

一良寛と柘榴の縁 山口 啓介

良寛さんってどんな人!?

小学校へ出前の良寛さん講座 吉井 清一

良寛を訪ねて（4）

出家の寺 光照寺 吉井 清一

◆高岡市万葉歴史館紀要

〒933-0116富山県高岡市伏木一宮1-11-11

高岡市民文化振興事業団 TEL0766-44-5511

1991年創刊

www.city.takaoka.toyama.jp/manreki/

◇27 2017.3 A5 68p

人麻呂作歌「献新田部皇子歌」試

論一長歌の行為主体について 上野美穂子

山部赤人「吉野讚歌」（巻六・九

二二～九二七)の左注 鈴木 崇大  
沈く石をも玉とそ我が見る  
一越中萬葉歌の表現・少考 新谷 秀夫  
大伴家持歌と生薬(1)一越中国守  
時代を中心に(付『延喜式』  
典葉寮にみられる越中・能登の  
生薬) 田中夏樹子  
布勢の円山紀行(2)一津島北溪  
(続)・翁久允(付、復刻 津島  
北溪「英遠紀行」) 関 隆司

◆富山史壇 越中史談会  
〒930-0115富山県富山市茶屋町33-2  
富山県公文書館内 TEL076-434-4050  
1954年創刊  
◇182 2017.2 A5 72p 1300円  
常願寺川石工金山弥右衛門につ  
いて 古川 知明  
『喚起泉達録』成立背景をめぐる  
一考察 山吉 頌平  
高岡市等覚山蓮華寺ノート一本尊  
十一面観音立像と中世の寺史に  
関する所伝をめぐる 杉崎 貴英  
特別講演会要旨 中世北陸にお  
ける山野河海の利用と管理 盛本 昌広  
書評 高岡徹『戦国期越中の攻防  
一「境目の国」の国人と上杉・織  
田』 峰岸 純夫  
最近の地方史情報 中条 充子

◆とやま民俗 富山民俗の会  
〒930-0881富山市安養坊56甲-1 富山市民  
俗資料館内 年3000円 1974年創刊  
◇87 2017.1 A5 14p  
高岡御山車祭での「山車」が果た  
す役割 羽岡ゆみ子  
小矢部市興法寺浄教寺における花  
祭りと青年会報恩講 島田 章代

砺波地方のヤクメシ(握り飯)  
一南砺市福光地区を中心に 加藤 享子

◆北陸の民俗 北陸三県民俗の会年会記録  
富山民俗の会・加能民俗の会・福井民俗の会  
〒930-0881富山市安養坊56甲-1 富山市民  
俗資料館内 富山民俗の会 1983年創刊  
◇34 2017.3 B5 28p  
《北陸三県民俗の会第41回年会記録 2016》  
共通課題一民俗分布図の諸相

特別講演「民俗地図の可能性」  
國學院大學名誉教授 倉石忠  
彦先生  
『富山県民俗分布図』を読む 森 俊  
白山市の獅子舞 真山 武志  
福井県内の箕の分布と製造 坂本 育男  
沖の殿様というクジラ 勝山 敏一  
青い目の人形・石川の八十九年 村本外志雄  
黒川能と今様能狂言について 石山 祥子

◆石川県立歴史博物館紀要  
〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1  
TEL076-262-3236 1988年創刊  
ishikawa-rekihaku.jp  
◇26 2017.3 B5 89+58p  
真宗の文芸世界と絵馬文化 戸潤 幹夫  
糞尿と餅一金沢における下肥利用  
の変容 大門 哲  
金沢市・祇陀寺蔵(旧白山本宮伝  
来)の仏涅槃図について 北 春千代  
特集 堅田館の復元研究  
堅田館の建築復元一中世住宅建  
築研究の一課題として 富島 義幸  
堅田館跡の発掘調査と武士館の  
復元 向井 裕知  
堅田館の復元模型について 塩崎 久代

◆石川県立歴史博物館年報  
〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1  
TEL076-262-3236 ishikawa-rekihaku.jp  
◇17 2017.3 A4 60p  
《平成25・26年度版》\*事業報告のみ  
◇18 2017.3 A4 63p  
《平成27年度版》\*事業報告のみ  
◆加南地方史研究 加南地方史研究会  
〒923-0903石川県小松市丸の内公園町  
小松市立博物館内 TEL0761-22-0714  
1955年創刊 kananchihoushi.com  
◇64 2017.3 B5 100p  
未だ見ぬ大杉谷村史を求めて  
一下里家所蔵文書を通して 山前 圭祐  
多太神社回向札と遊行上人実盛回  
向の関係を考察する(2)一昭和  
三十一年「遊行上人兜回向行事」  
と能「実盛」・「サネモリさん」  
伝承 橋本 正準  
幕府御用銅船遭難の真相(3) 岡田 孝  
熊坂長範(北國出版)・熊坂と長庵  
(能登印刷)を振り返って(2) 池端 大二  
中世期の神社創建と小松天満宮の  
創建の考察 川畑 正勝  
百姓の持ちたる国の「戦国期本願  
寺教団の直参制と新訳・直参道  
場」について(3) 小枝 俊弘  
久谷焼史料研究ノートより『大聖  
寺焼』について 正和 久佳  
粟津保馬場長久寺について 橋本 巖夫  
那谷寺所蔵「天満宮造営奉加帳」  
及び「諸堂道敷石寄進名記」に  
ついて 室山 孝  
小松での堀越左源次の狂歌 綿抜 豊昭  
史料紹介  
近世那谷寺の絵画資料情報一小  
原文瑛画「那谷之全景」屏風

を中心に 室山 孝  
江戸期の絵図から観る発見と疑  
念 岡田 孝  
報告  
青空教室に参加して 伊井 虎男  
白山三馬場めぐり 竹田外喜男  
全国植樹祭開催記念関係施設の  
完成について 藤田 勝男

◆加能史料研究 石川県地域史研究振興会  
〒920-0964石川県金沢市本多町3-15  
石川県立図書館史料編さん室内  
TEL076-223-9579 1985年創刊  
◇23 2017.2 A5 130p 2000円  
戦国期加賀国金津荘の荘経営と在  
地構造 寺口 学  
八月十七日付本願寺顕如消息三通  
の年次について 木越 祐馨  
『加能史料』未収録木簡の紹介(2)  
三浦 純夫  
『加能史料』未収録史料の紹介(3)  
石川県立図書館史料編さん室  
加能地域史研究文献目録(古代、  
中世、近世)

◆加能民俗 加能民俗の会  
〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1  
石川県立歴史博物館内 TEL076-262-3236  
年4000円 1950年創刊  
◇160 (12-18) 2017.3 A5 8p  
近世後半の金沢における山伏・覚  
書 由谷 裕哉  
明治期の天狗報道一ジャーナリズ  
ムと民俗(6) 大門 哲  
著書紹介 松本孝三著『北陸の民  
俗伝承 豊饒と笑いの時空』 藤島 秀隆

◆加能民俗研究 加能民俗の会  
〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1  
石川県立歴史博物館内 TEL076-262-3236  
年4000円 1972年創刊  
◇48 2017.3 A5 74p  
柳田賞受賞の喜び 藤島 秀隆  
ミミアカウサギとその対比・近似  
の諸特殊名考—野兔の特殊名を  
中心に 天野 武  
近世加賀地方における泰澄伝承の  
生成 由谷 裕哉  
「天狗に攫はる」報道を読む  
—金沢における天狗観の変容 大門 哲  
白山麓における地内子の夫役—石  
川県旧白峰村大道谷の親つ様木  
戸口家事例 橋 礼吉

◆日本学研究所 金沢工業大学日本学研究所  
〒921-8501石川県石川郡野々町扇が丘  
7-1 TEL076-248-1100 1998年創刊  
◇19 2016.12 A5 168p  
中世前期における白山信仰日吉信  
仰全国伝播についての一考察  
(4)—山陰道・南海道を中心と  
して 平泉 隆房  
明治二十六年「和協の詔勅」と『内  
廷費献金録』—第四議会におけ  
る帝国憲法第六十七条の議論を  
中心に 川田 敬一  
史料 熱田神宮編年史料(稿本)  
中世十一 藤本 元啓

◆若越郷土研究 福井県郷土誌懇談会  
〒918-8113福井市下馬町51-11  
福井県立図書館内 TEL0776-33-8860  
年3500円 1956年創刊  
◇303 (61-2) 2017.1 B5 64p  
幕末期福井藩の殖産興業策と財政

について 本川 幹男  
福井市高雄神社石造多層塔の研究  
古川 登  
グリフィスの二人の助手について  
—大岩貫一郎と中野外志男 沖 久也  
越前(福井)藩の戊辰戦争戦没者の  
墓碑を訪ねて 南川 傳憲

◆富士信仰研究会会報  
〒369-0306埼玉県児玉郡上里町三町108-1  
中嶋信彰方 TEL0495-71-4850 年6000円  
◇42 2016.12 B5 8p  
新会長 吉田千秋氏就任  
総会および第一回見学会 埼玉県  
草加市瀬崎 浅間神社社務所  
田子山富士山開き  
祈りのかたち 蛇と水の民俗世界  
川口市立文化財センター別館  
郷土資料館企画展  
富士山ミュージアム企画展  
縄文人が目撃した富士山噴火  
浅草六区の人造富士  
錦絵と二枚の写真

◆飯田市美術博物館研究紀要  
〒395-0034長野県飯田市追手町2-655-7  
TEL0265-22-8118 1990年創刊  
www.iida-museum.org  
◇27 2017.3 A4 104p  
鈴木芙蓉の新作作品を巡って(1) 檀村 洋介  
資料紹介 菱田千代「思ひ出づる  
まゝに」(昭和15年頃、未完成  
原稿) 小島 淳  
禅宗文化圏における摩利支天像の  
受容と展開—信濃小笠原氏ゆか  
りの開善寺の事例から 織田 顕行  
調査報告 飯田町の景観と土蔵 中山 京子  
信州諏訪大工 立川富昌の名乗り

変遷と彼の末期について 水野 耕嗣

◆飯田市歴史研ニュース 飯田市歴史研究所  
〒395-0002長野県飯田市上郷飯沼3145  
TEL0265-53-4670  
www.city.iida.lg.jp/soshiki/39/201700601.html  
◇85 2016.12 A4 4p  
寄託史料の紹介 松下家文書の整  
理と調査—伊那谷の富士信仰と  
松下千代 梅澤(宮崎)ふみ子  
史料紹介—飯田藩の操練関係史料  
千葉 拓真  
リレーミニエッセイ(5) ネパー  
ルの小学校とたまごプロジェクト  
のこと 田嶋 一  
平成28年度文化庁文化芸術振興費  
補助金(文化遺産を活かした地  
域活性化事業) 旧川路村役場  
文書の整理作業を進めています  
羽田 真也  
歴研ゼミナール活動報告—近世史  
ゼミ「郡方覚書」をよむ 千葉 拓真  
◇86 2017.2 A4 4p  
平成28年度文化庁芸術振興費補助  
金(文化遺産を活かした地域活  
性化事業) ワークショップ  
芝居興行と地域社会—近世の庄  
内藩の事例より  
宮下功「満洲紀行」—昭和18年夏  
教学奉仕隊の記録 2017年春刊  
行予定  
飯田・下伊那の歴史と景観(4)  
飯田市街の景観 樋口 貴彦  
飯田市歴史研究所年報14 特集  
飯田・下伊那の歴史的景観 飯  
田市歴史研究所編  
リレーミニエッセイ(6)  
ブラジルのなかの下伊那 安岡 健一

お練り祭りと天保の改革  
—澤村屋呉服店の史料から 千葉 拓真  
◇87 2017.4 A4 4p  
歴史研究所第4期中期計画がスタ  
ートします  
飯田市歴史研究所 平成29年度の  
事業概要／平成28年度研究活動  
助成報告会が開催されました  
リレーミニエッセイ(7) 「肝腦地  
に塗る」—「十三町組頭日記」の  
多様な世界 竹ノ内雅人  
川路に残る江戸時代の古文書を用  
いたゼミを始めます 羽田 真也

◆伊那 伊那史学会  
〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048  
TEL0265-22-6017 年5500円  
◇1063 (64-12) 2016.12 A5 50p 550円  
口 絵  
洞岩寺 如意輪観音菩薩坐像 織田 顕行  
大正期における農村青年の金銭行  
動—「金銭出納録」(『胡桃澤盛  
日記』)から 清水 迪夫  
茂春ところどころ(6) 桃沢 匡行  
思い出の講師(6) 諏訪彰・鯉坂  
二夫・佐藤藤三郎 大原千和喜  
史蹟を訪ねて緑の旗は行く  
伊那史学会史蹟探訪  
萩・山口と尾道の旅 今牧 久  
萩・山口と尾道の旅に参加して  
丹治 正教  
尾道市浄土寺の石造文化財 岡田 正彦  
毛利氏は強大だった 山内 尚巳  
史跡巡礼の旅に参加して 伊藤 尚和  
萩・山口と尾道の旅 中島 道遥  
訪松下村塾 寺田 一雄  
伊那 第64巻総目録  
〈2016.1〉より〈2016.12〉まで

◇1064 (65-1) 2017.1 A5 50p 550円  
《民俗特集号》  
口絵 新野の雪祭り「上差しの矢」  
橋都 正  
仲藤増蔵著『信州新野の雪祭』と  
折口信夫—民俗芸能の記録作成  
をめぐって 櫻井 弘人  
町内会が支える旧飯田町の「津島  
様」 松上 清志  
この世に赤子を迎え入れるウブギ  
の習俗 片桐みどり  
遠山郷上村地区における祝い唄  
(メデタ)の習俗 岡庭 圭佑  
月待ち—二夜様 北原いずみ  
飯田お練り祭り本屋台の復元 中山 京子  
◇1065 (65-2) 2017.2 A5 50p 550円  
口絵 伊那郡帯川村絵図 山内 尚巳  
三河民権家国事犯事件と発覚地の  
飯田地方(6)—松本の軽罪裁判  
所および重罪裁判 北原 明文  
宮下相次郎「事務日誌」(1) 明治  
期の和合村(現阿南町)の動静を  
知る 且開村分村、日露戦役犠  
牲者の村葬など 松澤 英男  
思い出の講師(7) 藤原てい・平  
沢弥一郎・山本茂實 小原千和喜  
ルポ「飯田線の踏切」(7)  
伊那電開通し急遽建設 佐古 新一  
伊那山へ出掛く木曾王滝の柚—寛  
延二年(1748)の人別書上帳 神村 透  
◇1066 (65-3) 2017.3 A5 50p 550円  
口絵 柳田國男館(喜談書屋) 桜井 弘人  
吉岡城築城により開かれた集落と  
地名 原 董  
旧飯田町の「津島様」(2)—華やか  
な「祇園祭」からの移り変わり 松上 清志  
新野の御鞆様祭りを訪ねて 今井 啓  
美味しい郷土食「ヤキモチ(おや

き)”—民俗調査から 宮下 英美  
齊藤長左衛門碑の建立について 吉澤 健  
ルポ「飯田線の踏切」(7)  
桐の木の下でお菜洗い 佐古 新一  
下伊那日録(2011年8月~10月) 寺田 一雄  
伊那史学会・伊那谷地名研究会  
第460回郷土巡礼 三河と関わ  
りの深い「根羽」で 片桐 亀十  
◆伊那路 上伊那郷土研究会  
〒396-0027長野県伊那市ますみヶ丘798-7  
TEL0265-78-1269 年5000円  
◇719 (60-12) 2016.12 A5 40p 500円  
《広域特集号》  
〈第41回上伊那歴史研究会県外実地踏査報  
告 越中富山と上伊那とのつながりを探る  
—越中富山の薬売り・飛騨ブリ・木曾義仲  
(樋口次郎兼光)を視点に〉  
富山県への旅 田村 栄作  
白川郷と和田家 氣賀澤厚典  
俱利伽羅峠を訪ねて 渡辺 弘行  
飛騨ブリの道 竹若 康雄  
富山市売薬資料館を訪ねて 福澤 浩之  
薬種商の館金岡邸を見学して 内藤りつ子  
実地踏査良きかな 松澤英太郎  
富山方面実地踏査からあれこれ 伊藤 一夫  
今「信用」と「先用後利」に生き  
る越中・大和・近江の薬屋さん  
と上伊那 矢澤 静二  
伊那市が取り組む古い地名調査(5)  
竹松 亨  
『伊那路』第60巻総目次 上伊那郷土研究会  
◇720 (61-1) 2017.1 A5 40p 500円  
《創刊60周年記念特集(1)》  
年表『伊那路』600号~のあゆみ  
上伊那郷土研究会  
『伊那路』創刊60周年記念に寄せて  
池上 正直

この10年の『伊那路』掲載、俳人  
井月関係論考を読んで 竹入 弘元  
『古今書院』創設者・西春近村出  
身の橋本福松(4)—教員から実  
業家へと歩んだその波乱の生涯  
に学ぶ 三上 徹也  
わらべ歌の終わりの音について—  
心の状態と歌の終止音との関係  
竹淵 修二  
◇721 (61-2) 2017.2 A5 40p 500円  
《創刊60周年記念特集(2)》  
『伊那路』創刊60年  
最近10年間のあゆみ 清水 満  
『伊那路』創刊60周年記念企画  
『伊那路』アンケート調査集計 編集部  
蚕糸業と上伊那—『伊那路』創刊  
60周年記念特集に寄せて 小野 和英  
伊澤修二と聴覚障害者教育・幼児  
教育 柳川 広美  
井月日記甲・乙翻刻(4) 竹入 弘元  
文化短信 特別展「大下宇陀児」  
展 箕輪町郷土博物館 山本 勝  
日本の子育て(27) 不登校 大槻 武治  
井月拵の木刀の記 細田伊佐夫  
◇722 (61-3) 2017.3 A5 40p 500円  
《「上伊那郷土研究交流の集い」特集号》  
「第17回上伊那郷土研究交流の集  
い」報告 伊藤 修  
羽広誌研究会の取り組み—『羽広  
誌』刊行とそれを生かした活動  
山口 通之  
仲仙寺の寺宝を映像で探る 重盛 欣三  
林宗賢編著『羽廣山仲仙寺縁起』  
から仲仙寺史を概観する 池上 昭  
仲仙寺の絵馬 濱 慎一  
西箕輪羽広・仲仙寺に学ぶ  
—「交流の集い」の感想 松村 正明  
第17回上伊那郷土研究交流の集い

に参加しての雑感 太田 保  
仲仙寺との縁 蟹澤 廣美  
文化短信 まぼろしのコマクサ 吉田 保晴  
◆伊那民俗  
柳田國男記念伊那民俗学研究所  
〒395-0034長野県飯田市追手町2-655  
飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118  
年3000円 1990年創刊  
inaminkenhome/blogspot.jp  
◇107 2016.12 B5 8p  
表紙 面開き／新野の雪祭り・面  
形化粧 今井 啓  
柳田國男の俳諧—信州俳人への評  
価と戦時下の活動 湯澤 孝一  
民俗学入門ゼミナール第1期 成  
果論文要旨 消えた飯田の屋台  
祭り 岡庭 圭佑  
民俗学入門講座第V期 現代日本  
を民俗学から考える(第1回)  
3.11以降の社会と民俗学 福田  
アジオ所長講演要旨／高橋寛治  
会員発表要旨 文責・今井啓  
報告 国登録有形文化財記念事業  
見学会・講演会「柳田國男館の  
価値と今後の活用を考える」  
文責・松上清志  
DVD「天龍村坂部の年中行事」  
に寄せて 吉田 成己  
◇108 2017.3 B5 8p  
表紙 専業経営／有畜複合経営 高橋 寛治  
複合経営の中に未来を見つめる  
—飯田市千代 川手洋造さんの  
農業 高橋 寛治  
民俗学入門ゼミナール第1期成果  
論文要旨 名もなき道が地域で  
果たしてきた役割—飯田市 龍  
江周辺の道から 平澤 健

信州の不食供養について 奥村 隆彦  
民俗学入門講座第V期 現代日本  
を民俗学から考える(2~4回)  
福田所長講義要旨 第2回 家  
族の変化・先祖の変化/第3回  
現代の商品流通と民俗/第4回  
学校の怪談・都市伝説 文責・今井啓

◆伊那民俗研究

柳田国男記念伊那民俗学研究所  
〒395-0034長野県飯田市追手町2-655-7  
飯田市美術博物館内 TEL0265-22-8118  
年3000円 1990年創刊  
inaminkenhome.blogspot.jp  
◇24 2017.2 A5 107p  
講演録 美博文化講演会(柳田國  
男記念伊那民俗学研究所総会記  
念講演会) 自然災害と怪異伝  
承—民俗知の活用を考える 小松 和彦  
ちんちんめえり考 川崎 瑞穂  
柳田國男の著作物と「内容見本」田中 正明  
伊那谷の背負いばしご—残された  
朝鮮セイトが語ること 松上 清志  
天龍村大河内の石造信仰物 今井 啓

◆市誌研究ながの 長野市公文書館

〒380-0801長野市箱清水1-3-8  
長野市城山分室内 総務部庶務課  
TEL026-232-8050 1994年創刊  
◇24 2017.3 A4 197p 1400円  
平成28年度 長野市公文書館講演  
女優・松井須磨子とその時代 宮坂 勝彦  
近世初頭以前の鐘鑄堰の開発につ  
いて 宮下 秀樹  
松代藩における「夫役」の研究—  
勘定所元メの「夫役」に関する  
返答書を中心に 小林 佳枝  
十念寺仏彫刻製作者の系譜 袖山 榮眞

北村喜代松と直次郎(四海)の神楽  
屋台 草間 律  
善光寺手水屋について 宮澤 政太  
風土に生きた教育者三沢勝衛の人  
と業績 高木 寛  
水内郡市村の村政の展開と村社・  
市村神社—村落を構成する組の  
変遷を中心として 鬼頭 康之  
史料紹介  
白鳥神社の安政四年の奉納額 北澤 忠雄  
資料目録と解説 平成二十八年度  
移管「長野市役所文書」 関 秀延  
天狗の麦飯について—八木貞助の  
資料の紹介を兼ねて 落合 照雄  
表紙解説 「松代天王祭絵巻」  
長野市 真田宝物館 米澤 愛  
口絵写真解説  
十念寺仏彫刻製作者の系譜 袖山 榮眞  
安茂里大門組の神楽屋台 草間 律  
鬼無里財又の共有文書 小森 明里  
天狗の麦飯 落合 照雄  
観光客に親しまれた駅前アーチ  
関 秀延  
長野市インターネットテレビ番  
組「ふるさと長野—カイク  
んの歴史探訪」の動画画面紹  
介 宮澤 昌道

◆信濃 信濃史学会

〒399-0036長野県松本市村井町南1-28-35  
年10200円 www.shinano-shigakukai.jp  
◇803 (68-12) 2016.12 A5 84p 1150円  
《特集 中世の人・社会と経済》  
武田晴信の諏訪征服とその支配—  
勝者による敗者の救済と活用 峰岸 純夫  
信濃における苧麻の生産  
—安曇地方の生活史 福嶋 紀子  
室町幕府同名氏族論—中世後期社

会の人的統合をめぐって 村石 正行  
上田城用地と「城下囲」西部の村  
村 寺島 隆史  
史料紹介 石川氏の松本領檢地に  
関する二点の史料 鈴木 将典  
『信濃』第68巻総目次  
◇804 (69-1) 2017.1 A5 84p 1150円  
《民俗学特集号》  
長野県北部の大姥様信仰—虫倉山  
周辺と大町市域を中心に 松崎 憲三  
旧宿場町に生きる  
—木曾路・奈良井宿を事例に 荒井 浩幸  
「オンバシラ」再考(上) 三石 稔  
養蚕農家の生業構造と生業意識—  
群馬県前橋市総社町・都丸重一  
の記録から 永島 政彦  
調布市下石原八幡神社祭礼三匹獅  
子舞 森 悦子  
◇805 (69-2) 2017.2 A5 166p 1150円  
官営富岡製糸場における原料繭の  
扱いと信濃国内原料繭の購入 上條 宏之  
南北朝期の信濃村上氏  
—観応擾乱期を中心に 花岡 康隆  
「オンバシラ」再考(下) 三石 稔  
座談会の記録「信濃史学会の今、  
そしてこれから」を読んで 田中 薫  
報告 平成28年度地方史講座  
—八ヶ岳山麓の縄文文化 小林 康男  
◇806 (69-3) 2017.3 A5 80p 1150円  
《考古学特集号》  
信濃における後期・終末期古墳副  
葬矢の製作 平林 大樹  
平安時代黒色土器の出現契機とそ  
の系譜(予察)—甲斐・信濃両国  
の事例から 平野 修  
平安時代の信濃における横穴式石  
室の再利用 宮村 誠二  
塩田城再考 尾見 智志

報告 第101回セミナー 小野 和英

◆千曲 ふるさとに学ぶ

東信史学会  
〒386-0024長野県上田市大手2-7-13  
上小教育会館内 TEL0268-24-2182  
年3000円 1974年創刊  
◇161 2016.12 A5 44p  
南佐久の縄文時代概観 藤森 英二  
上田領仙石氏の御用金について  
—問屋日記からみる 手塚 若子  
中山道秘話 追分宿の食売女と岩  
村田遊郭の盛衰 小林 収  
全国地名研究者大会に参加して  
—地名の謂れに関心をもつ 牧 忠男  
郷土史随想  
木曾義仲の足跡を追っての旅 金井喜平次  
連載講座  
古文書解説講座 第152回 牧 忠男  
地区だより  
南佐久地区 出浦 晃彦  
更埴地区 牧 忠男  
◇162 2017.3 A5 51p  
真田信之の三人の妻—最初からの  
妻清音院を中心に 寺島 隆史  
白山大権現・真田氏と山家神社  
—未来に語り継ぐこと 押森 慎  
上小地域における弥生時代後期の  
金属器 尾見 智志  
郷土史随想 「父の徴兵忌避」  
—主われを愛す 金澤 道弘  
連載講座  
古文書解説講座 第153回 寺島 隆史  
扉写真と解説 国登録有形文化財  
飯島商店 事務局  
◆長野 長野郷土史研究会  
〒380-0905長野市七瀬南部14-7

TEL026-224-2673 年4000円 1964年創刊  
[www.janis.or.jp/users/kyodoshi/](http://www.janis.or.jp/users/kyodoshi/)  
 ◇305 2016.12 A5 64p 800円  
 表紙・口絵解説 24年に一度の湯  
 福神社「御柱大祭」 小林竜太郎  
 長野市と上水内郡における平成二  
 十八年御柱祭の日程 小林竜太郎  
 『真田丸』に登場する真田家臣た  
 ちの略伝—『本藩名士伝』より  
 (1) 小林 一郎  
 武井神社(長野市東町)の棟札  
 —坂口森右衛門と山崎儀作 草間 律  
 瀬下敬忠の未刊稿本(3)  
 鄙十百韻(乾巻)(3) 矢羽 勝幸  
 森鷗外と信州(4)  
 鷗外に漢詩を指導 中田 敬三  
 野尻湖宇賀神社で七年目ごとの式  
 年大祭 小林 玲子  
 七二会西河原耕地の割上げ制度に  
 ついて 太田 正彦  
 郷土史の視界(10) 長野の夜店  
 —『長野市郷土資料』より 小林 一郎  
 生きた町の歴史を知ろう(11)  
 長野市の御柱祭 地域の特徴と  
 課題 小林竜太郎

◆長野県民俗の会通信

〒399-3301長野県下伊那郡松川町上片桐  
 2626-24 三石稔方 TEL0265-37-3017  
 年5000円 [www.k2.dion.ne.jp/folklore/](http://www.k2.dion.ne.jp/folklore/)  
 ◇257 2017.1 B5 12p  
 御柱祭と諏訪信仰の広がり—長野  
 市内の御柱祭を中心にして 多田井幸視  
 総会講演「民俗学における女性研  
 究」をお聞きして 三沢枝美子  
 総会講演「民俗学における女性研  
 究—私を語る—」を聴いて 白井ひろみ  
 2016年佐野賢治ゼミナールの

安曇野・松本合宿の報告 市東 真一  
 大町市常盤清水 三嶋神明社のオ  
 フネ祭報告—調査日時 平成28  
 年9月22日午前10時30分 宮本 尚子  
 書誌紹介 牛山佳幸著『善光寺の  
 歴史と信仰』 福澤 昭司  
 平成28年度総会概要報告 (三石記)  
 ◇258 2017.3 B5 12p  
 自然石道祖神 福澤 昭司  
 「長野県民俗の会」の先達を訪ねる  
 (2)—倉石忠彦先生(1) 三石 稔  
 第203回例会報告 小原 稔  
 感想に寄せる感想—研究は肩ひじ  
 張ってするものではなく楽しむ  
 もの 倉石あつ子  
 私の一冊 辻井善彌著『磯漁の話  
 —一つの漁撈文化史』 安室 知

◆長野市公文書館便り

〒380-0801長野市箱清水1-3-8  
 長野市城山分室内 TEL026-232-8050  
 ◇26 2016.4 A4 4p  
 「さようなら 長野市民会館」—  
 市民のホール 惜しまれつつ  
 ◇27 2016.7 A4 4p  
 こよみも文明開化 旧暦(太陰太  
 陽暦)から新暦(太陽暦)へ  
 ◇28 2016.9 A4 2p  
 官営富岡製糸場への伝習工女の送  
 出  
 ◇29 2017.1 A4 4p  
 平成28年度 長野市公文書館講演  
 会「女優 松井須磨子とその時  
 代」松井須磨子研究家・宮坂勝  
 彦氏  
 平成28年長野市公文書館パネル展  
 「松井須磨子とその時代 明治  
 末から大正時代の長野」

近代化が進んだ大正時代の長野

◆松本市史研究 松本市文書館紀要

松本市総務部行政管理課松本市文書館  
 〒390-1242長野県松本市和田1058-2  
 TEL026-347-0040 1991年創刊  
 ◇27 2017.3 B5 131p  
 松本藩戊辰戦争出兵と森曾藤次重  
 久 森袈裟次郎  
 B C級戦犯の遺品—栗鴨プリズン  
 から持ち出したもの 牛丸 工  
 松本市文書館収蔵地域文書の概要  
 松本市文書館収蔵史料目録 四賀  
 村役場文書／水野武家文書

◆郷土研究岐阜 岐阜県郷土資料研究協議会

〒500-8368岐阜市宇佐4-2-1 岐阜県図書館  
 内 TEL058-275-5111 年2800円 1973年創刊  
[www.library.pref.gifu.lg.jp/dantai/kyosilen/k\\_index.htm](http://www.library.pref.gifu.lg.jp/dantai/kyosilen/k_index.htm)  
 ◇127 2017.3 B5 28p  
 関ヶ原古戦場ランドデザイン  
 フォローアップ 丸山幸太郎  
 飛驒山脈  
 —混乱するその範囲と名称 岩田 修  
 岐阜県の詩人—純粹詩の流れ 高井 泉  
 山論と廃仏毀釈 木村 稔  
 斎藤帯刀左衛門尉利茂と利茂発給  
 文書の変遷について 古田 憲司  
 洞地名について 土屋 一  
 長良川の川原の礫についての新知  
 見 古田靖志／古田華  
 書窓の風  
 金箔瓦御殿・濃姫の部屋と日本  
 遺産 内堀 信雄  
 御嵩町の中山道が国の史跡に 可児 光生  
 ふるさとたんけん学習 小嶋 司  
 郷土関係新刊書目録(112)  
 郷土関係逐次刊行物文献目録(111)

◆岐阜市歴史博物館だより

〒500-8003岐阜県岐阜市大宮町2-18-1  
 岐阜公園内 TEL058-265-0010 1985年創刊  
 ◇95 2017.3 A4 8p  
 表紙 動物をかたどった装飾土器  
 高山市赤保遺跡出土 縄文時代  
 中期 岐阜県埋蔵文化財保護セ  
 ンター蔵  
 歴博草創のころ 土山 公仁  
 企画展「タイムスリップ! 大むか  
 しのくらし」  
 歴博セレクション「三輪山真長寺  
 所蔵仏画展—仏画修復事業を通  
 して」  
 加藤栄三・東一記念美術館「栄三・  
 東一 花のいのちを描く」  
 館蔵資料紹介 金箔瓦 戦国時  
 代 岐阜市歴史博物館蔵

◆月刊通信ふるさとの民俗を語る会

民俗文化研究所  
 〒438-0086静岡県磐田市見付3532  
 TEL0538-32-3546 年2000円 2007年創刊  
[www4.tokai.or.jp/child-c-j/](http://www4.tokai.or.jp/child-c-j/)  
 ◇116 2017.1 A4 4p 300円  
 富士浅間宮の田遊祭 吉川 祐子  
 ◇117 2017.2 A4 4p 300円  
 節分の厄払いと豆まき 吉川 祐子  
 ◇118 2017.3 A4 4p 300円  
 再考“藤守の田遊び” 1 吉川 祐子  
 ◇119 2017.4 A4 4p 300円  
 再考“藤守の田遊び” 2 吉川 祐子

◆静岡県近代史研究会会報

〒422-8529静岡市駿河区大谷836  
 静岡大学人文社会科学部 橋本誠一研究室  
 年4000円  
 ◇460 2017.1 B5 4p 100円

1月定例会レジュメ 『しずおか  
の女たち 第9集・特集 国境を  
越えた女性たち』を発行して一  
満州からの引き揚げに関する一  
考察 大塚佐枝美  
『河井弥八日記 一九四〇年』に  
ついて 森山 優  
史料紹介 『鉄五郎日記』の「発見」  
一有東木地区調査報告 沼尻 晃伸  
◇特別号 2017.1 B5 8p 100円  
《原口清先生 追悼》  
原口清先生の御逝去を悼む 勝田 政治  
橋宗一少年の墓碑と原口先生 竹内 宏一  
法経短大時代の先生の思い出 桜井 規順  
明治維新史談会と原口先生 田村 貞雄  
原口先生の学問的情念 和田 守  
原口清先生の訃報に接して 山本 義彦  
原口先生の学問的姿勢に学ぶ 荒川 章二  
原口先生の鋭い分析力 橋本 誠一  
原口清先生から学んだこと 足立洋一郎  
原口先生を偲んで 鈴木 雅子  
略 歴  
◇461 2017.2 B5 4p 100円  
2月例会レジュメ 1950年代初期  
における「外国人」の実態とそ  
の境界一外国人登録の実施を中  
心に 李 英美  
書籍紹介 田中伸尚『飾らず、偽  
らず、欺かず』（岩波書店）を読  
んで 小池 善之  
原口先生と出会った頃 勝又千代子  
◇462 2017.3 B5 4p 100円  
3月例会レジュメ  
曾祖母中川リヨ一両大戦間期か  
ら戦後にかけての女性の暮ら  
しとその様相 沢田 杏奈  
在日米軍基地と社会インフラ一

1972年「米軍戦車搬出阻止闘  
争」を題材に車両制限令を考  
える 宮本 卓

◆静岡県地域史研究会報

〒421-3103静岡市清水区由比750-306  
北村啓気付 年4000円 2011年創刊  
◇210 2017.1 B5 4p  
今川氏女 嶺松院について 小林輝久彦  
例会告要旨  
5月例会 明治初期の久能山東  
照宮と出島竹斎 今村 直樹  
7月例会  
中近世移行期の東海道一三河  
国御油・赤坂に着目して 橋 敏夫  
徳川・武田両氏の攻防と二俣  
城 本多 隆成  
10月例会 河東一乱と堀越氏一  
北条氏綱書状の考察を中心に  
森田 香司

◇211 2017.2 B5 4p  
今川氏の遠江進出と惣領制 原田 千尋  
例会告要旨  
10月例会 戦国期における荘園  
所領と給人一「孕石光尚置文」  
の文責を中心に 戸塚 隆太  
11月例会  
三島曆師河合家とその領布と  
弘布 土屋比都司  
室町幕府奉公衆富永氏の研究  
一伊勢から遠江・駿河へ 小林輝久彦  
12月例会 近世富士山東泉院組  
織の基礎的考察一寺院社会に  
おける位置づけを中心に 山本 倫弘

◆静岡県民俗学会会報

〒424-0053静岡市清水区洪川1-9-6-101  
web.thn.jp/s-folklore/

◇162 2017.1 A4 4p  
シリーズ食(32) 節分の「恵方巻」  
川口 円子  
静岡県の民俗語彙・方言短信  
タコヤブリ/ユイデマ 中山 正典

◆静岡歴史研究会 静岡県歴史研究会

〒422-8045静岡市駿河区西島363-55  
篠原旭方 TEL054-286-8659

◇148 2017.2 B5 12p  
第114回研究会 大川誠一氏の「卑  
弥呼の地上絵」の概要と野澤晶  
代女史の二つの作曲と歌の披露  
／佐藤吉男氏の「小栗上野介と  
榊原健吉」の概要／堀川幸美氏  
の「平尾八幡宮祭礼 狂言興業  
の縫れ一件」の概要  
第115回研究会 遠藤照夫氏の「玉  
川栃原の伝説の石を尋ねて」の  
概要／鈴木康弘氏の「飯盛城の  
キリシタン入信と將軍義輝の  
死」(ルイス・フロイスの『日本  
史』を読む)の概要／太田晴道  
氏の「戦国の梟雄 松永久秀」  
の概要

◆愛知県史研究

愛知県総務部法務文書課県史編さん室  
〒460-8501名古屋市中区三の丸3-1-2  
愛知県自治センター 8階 TEL052-972-9171  
1996年創刊 www.pref.aichi.jp/kenshi/

◇21 2017.3 A4 118p  
近代名古屋における会社設立と有  
力資産家一鈴木惣兵衛家を中心  
として 中西 聡  
名古屋第十一国立銀行の経営展開  
一1877~97年 邊 英治  
愛知の草創期女性新聞記者

一市川房枝を中心に 伊藤 康子  
資料紹介  
下小田井(町方)の祭礼と尾張藩  
能楽笛方藤田流一「川右日記」  
をとおして 半田 実  
津島神社所蔵『牛頭天王講式』  
と奥三河伝来『牛頭天王五段  
式』の関わりについて 松山由布子  
犬山焼絵師・近藤清九郎(秀胤)  
とその陶画研究資料について  
井上あゆこ/佐久間真子  
愛知県史を語る会抄録 近代愛知  
はどのように作られたか一愛  
知県の成立から大正デモクラ  
シー  
愛知県の誕生 羽賀 祥二  
明治期の伊勢湾海運物語 森 靖雄  
大正デモクラシーと地方自治  
一町村合併を経て「地方の時  
代」へ 石川一三夫  
近刊市町村史誌紹介 『碧南市史  
料第七十一集 公私雑録』、『新  
修豊田市史』、『幡豆町史 本文  
編2 近世』、『稲沢の歴史年  
表』、『新編知立市史 別巻 文  
化財編』、『愛西市文化財調査報  
告書 第二集 八竜遺跡』

◆あつた 熱田神宮宮庁  
〒456-8585名古屋市中熱田区神宮1-1-1  
TEL052-671-4151 www.atsutajingu.or.jp  
◇253 2017.1 A5 32p  
熱田雑集(9) 太田 正弘  
創祀千九百年記念造営事業の回顧  
(10) 小久保雅広  
熱田神宮の祈願和歌と法楽和歌 辻村 全弘

◆郷土研究誌かりや 刈谷市郷土文化研究会  
〒448-0852愛知県刈谷市住吉町4-1  
刈谷市中央図書館内 TEL0566-25-6000  
1980年創刊

◇38 2017.3 A5 105p

文化講演会 子どもの本を楽しむ

野村 一秋

古代東海道沿線の遺跡—二村山周

辺から矢作川渡河推定地点 清水 正明  
探訪・刈谷藩江戸上屋敷—稲垣家

以降の刈谷藩江戸上屋敷 三ツ松 悟  
街道を歩く—記録写真から見る街

道歩き楽しさ入門 岡部 恒

野田の俳人笠亭桃里と野田村十六

景—「丙午」句は弘化三年か 鈴木 哲

名古屋市広見国民学校学童の富士

松村への集団疎開 山田 孝

「刈谷新聞」に見る一九七〇年代

の刈谷 岡本 建国

森銃三・森三郎兄弟と刈谷 神谷磨利子

刈谷市の野鳥 宮原 英明

市内研修会

境川河口の野鳥観察会 長罵 秀雄

県内研修会 埴輪や道風らの歴史

を訪ねる春日井市巡り—道風記

念館・二子山古墳・内々神社 長罵 秀雄

◆郷土文化 名古屋郷土文化会

〒466-0064名古屋市中区鶴舞1-1-155

名古屋市鶴舞中央図書館

TEL052-741-9822 年3000円 1946年創刊

◇227 (71-2) 2017.2 A5 108p 1500円

拗れる 桶狭間の戦い(2) 尾畑 太三

徳川家康の出自は源氏 太田 輝夫

武家の婚礼(後)

—『鸚鵡籠中記』の記述から 小林 元

「名古屋市守山区上志段味の歴史」

補遺(5) 大野 哲夫

明治四年の名古屋城見学 松井 雅文

名古屋駅開業と東西両京連絡鉄道

の変遷 松永 直幸

聞き書き・清須市土田の曲太鼓 半田 実

名古屋郷土文化会 見学研究会

犬山城下町めぐりに参加して 深谷喜代澄

◆新編西尾市史だより 西尾市

〒445-0847愛知県西尾市亀沢町480 西尾

市岩瀬文庫内 西尾市教育委員会文化振興

課 西尾市史編さん担当 TEL0563-56-2459

2015年創刊

◇3 2017.1 A4 8p

資料紹介 楠村町町内会資料より

岡田洋司／永田悠子

こちら中世部会です。 山田 邦明

調査報告 西尾市の哺乳類 トガ

リネズミ目トガリネズミ科ジネ

／トガリネズミ目モグラ科ヒミ

ズ 今泉久祥／金森正臣

岩瀬文庫特別展 新発見。新知見。

—新編西尾市史中間報告展Ⅰ／

特別講座「市史編さんの現場か

ら」

◆豊田市史研究 豊田市

〒471-0079愛知県豊田市陣中町1-19-1

豊田市教育委員会文化財課市史編さん室

TEL0565-36-0570 2010年創刊

◇8 2017.3 A4 140p

衣ヶ原飛行場の建設—航空イメー

ジの変遷に着目して 大山 僚介

戦後期の有畜農業とその周辺

—足助町冷田学区を事例に 高木 秀和

矢作川流域における局地豪雨の河

川水位への影響 大和田道雄／神谷俊彦

溝口晃之／恩田佳代子

足助地区における縄文時代の活動

様相とその展開 川添 和暁

資料紹介

豊田のナイフ形石器 川合 剛

『愛知日日新聞』の刊行と福地

源一郎 中元 崇智

調査報告 足助地区の縄文時代遺

跡—その資料報告 川添 和暁

◆年報 近現代史研究 近現代史研究会

〒464-8601名古屋市中種区不老町 名古屋

大学文学研究科日本史学研究室気付

TEL052-789-2228 2009年創刊

www.lit.nagoya-u.ac.jp/~nihonshi/kingendaishi.html

◇9 2017.3 B5 79p

幕末期萩藩の海軍建設とその担い

手 山田 裕輝

地域の視点 地域の文化財を伝え

るために—史跡 金ヶ崎城跡保

存活用計画の策定から 井筒 康人

コラム 中国海洋大学における学

術交流の記録 羽賀 祥二

〈特集 華族研究の到達点と課題—内山一幸

『明治期の旧藩主家と社会』、久保正明『明

治国家形成と華族』書評会の記録〉

開催の経緯 研究委員会

紙面化に当たって 編集委員会

書評

内山一幸『明治期の旧藩主家と

社会』 池田さなえ

久保正明『明治国家形成と華族』

原口 大輔

コメント

華族研究の到達点と課題 後藤 致人

池田さなえ氏の書評に答えて 内山 一幸

原口大輔氏の拙著『明治国家形成

と華族』への書評に答えて 久保 正明

◆蓬左 名古屋市蓬左文庫

〒461-0023名古屋市中区徳川町1001

TEL052-935-2173 1980年創刊

housa.city.nagoya.jp

◇93 2016.12 A4 8p

「国登録有形文化財」登録記念報

告 徳川園の建築文化財(2)

徳川園蘇山荘 畔柳 武司

徳川美術館 第5展示室

美しき かな

徳川美術館 第5展示室 企画展

全点一挙公開 日本最大の婚

礼調度—さちぎみ様のお嫁入り

「幕末維新書翰集」と水野彦三郎 木村 慎平

表紙 幕末維新書翰集(水野彦三

郎来翰)「幕末維新書翰集」と

その伝来

◆まつり まつり同好会

〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25

TEL0567-37-0441 年5000円 1961年創刊

◇78 2016.12 A5 60p 2000円

《特集 沖縄の民俗芸能》

沖縄の京太郎芸

—宜野座の京太郎を中心に 大城 學

沖縄のスマチ(4)

—南西諸島のサークルダンス 坂本 要

鳥神の巫及び現による醜の二元性

水原 渭江

文化財「風俗慣習」の価値認識に

ついて—東京都および区市町村

指定を例示して 中村 規

◆まつり通信 まつり同好会

〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25

TEL0567-37-0441 年5000円

◇587 (57-1) 2017.1 B5 8p 600円

表紙写真のことば 混合のコンブ

クロ行事 長野県下伊那郡阿智  
村浪合 坂本 要  
チベットに遺る粟特族の鳥葬(天  
葬)の残影—北海道フゴッペ洞  
窟の綫刻岩繪の解讀上の問題(3)  
水原 渭江  
火葬における儀礼と行為 川嶋 麗華  
「全国人形浄瑠璃の祭典 in 池鯉鮒」  
見学記 天野 卓哉  
◇588 (57-2) 2017.3 B5 8p 600円  
表紙写真のことば 協和車の坂上  
げ 愛知県半田市協和地区 田中 青樹  
千葉・上岩橋の獅子舞 石川 博司  
鳥葬の變相—北海道フゴッペ洞窟  
の綫刻岩繪の解讀上の問題(4) 水原 渭江  
余(畚)市地名攷 水原 渭江  
第23回 三遠南信ふるさと歌舞伎  
交流豊橋大会 報告 蒲池 卓巳

◆MIXED MUSES 愛知県立芸術大学  
音楽学部音楽学コース紀要  
〒480-1194愛知県長久手市岩昨3ヶ峯1-  
114 愛知県律芸術大学音楽学部内  
TEL0561-62-1180  
◇12 2017.3 B5 151p  
《愛知県立芸術大学創立50周年記念 国際シ  
ンポジウム「異文化へのまなざし」報告》  
\*特集記事略

◆もりやま 守山郷土史研究会  
〒463-0075名古屋市守山区市場15-12  
道木正信方 TEL052-791-2304 年3000円  
1982年創刊  
◇36 2017.1 B5 228p  
瀬戸線あれこれ(6) 伊東 重光  
山田郡彷徨(4)—「もりやま」第35  
号を読んで 徳田百合子  
中馬街道(2)—名古屋から瀬戸へ 秋山 武

明治二年広小路にさらしもの多く  
あり 下(4)—酷刑の終えん 加藤 英俊  
資料紹介  
小幡村御觸留(28)  
—明治八年 御用留(4) 守山古文書の会  
春日井郡大森村文書 道木 正信  
守山郷土史研究会の歩み(36)  
守山郷土史研究会  
変貌する瀬戸線(8) 荒川 康彦

◆皇學館史学 皇學館大学史学会  
〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704  
皇學館大学文学部国史学科研究室  
TEL0596-22-6456 1986年創刊  
kokushi.kogakkan-u.ac.jp  
◇32 2017.3 A5 60p  
岡田登先生のご退任にあたって 松浦 光修  
岡田登教授略歴及び研究業績 松浦 光修  
出土文献から見る古代日本の医書  
輸入 多田 伊織

◆皇學館大学研究開発推進センター紀要  
〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704  
TEL0596-22-6466 2015年創刊  
ww.kogakkan-u.ac.jp  
◇3 2017.3 A4 345p  
講演 平成27年度皇學館大学研究  
開発推進センター神道研究所公  
開学術講演会 中世に於ける公  
家衆の家名伝襲と家伝文書・家  
領の継承 橋本 政宣  
シンポジウム 平成27年度皇學館  
大学研究開発推進センター神道  
研究所公開学術シンポジウム  
桓武天皇とその時代  
発題者 佐野真人氏・遠藤  
慶太氏・大平和典氏／司  
会・コメント 荊木美行氏

発題  
桓武天皇の御生涯と祭祀 佐野 真人  
桓武天皇と『続日本紀』 遠藤 慶太  
『日本後紀』の桓武天皇紀 大平 和典  
コメント・討論  
資料 日本後紀史料(稿)  
—延暦十一年 史料編纂所  
令を講ずる総説(富山市立図書館  
山田孝雄文庫蔵) 山田 孝雄  
光仁・桓武天皇と齋宮 荊木 美行  
明治十年 福島県伊達郡東湯野村  
檀原神社創設の事情 石垣 仁久  
『止由気宮儀式帳』校訂試案 佐野 真人  
史料紹介  
岩井田家資料『留主心得雑記』  
文久元年(1861) 濱千代早由美  
東山天皇御即位図屏風の左雙は  
靈元上皇の讓位移徙御幸図 所 功

◆三重県史研究  
三重県環境生活部文化振興課県史編さん班  
〒514-0006三重県津市広明町13  
TEL059-224-2057 1985年創刊  
◇32 2017.3 A5 112p  
近世瓦の刻銘から人と地域の諸相  
を読む 伊藤 裕偉  
資料紹介  
旧鳥羽小学校所蔵謄写本の九鬼  
家文書について 豊田 祥三  
天文年間 松垣善五郎宛売券二  
通について 千秋 大志  
伊勢商人西村広林の蔵書目録 小玉 道明

書評  
『三重県史』「通史編 原始・古  
代」—考古部門から地域の特  
性をみる 柴垣 勇夫  
『三重県史』「通史編 原始・古  
代」 柴原永遠男

県・市町村史編さんの動向  
『三重県史』資料編 古代・中  
世(上)(下)、『三重県史』通  
史編 原始・古代、『三重県  
史』通史編 近現代1 県史編さん班  
『伊賀市史』第二巻 通史編  
近世、『伊賀市史』第三巻  
通史編 近現代1 笠井 賢治

◆三重の古文化 三重郷土会  
〒514-2305三重県津市安濃町清水1008  
浅生悦生方 TEL059-268-2671 年4000円  
1947年創刊  
◇102 (通143) 2017.3 A5 144p  
安楽寺木造地藏菩薩立像について  
—快慶作の可能性と南都眉間寺  
旧蔵新出資料 藤田 直信  
平成二十七年以前の三重県度会町  
における棚橋の御頭神事 味噌井拓志  
朝日町小向「八王子祭り」の性格  
に関する一考察 久志本鉄也  
小町塚瓦経の明治四十一年『瓦経  
拓本』帖 小玉 道明  
南伊勢町河内在の「仙宮神社」蔵  
の資料について 中世古祥道  
史料紹介 「一身田御隠門、瀬戸  
岩船御遊覧」 浅生 悦生  
長島浦の海商組合文書について 湊 章治  
津藩学問所洋学館について 松村 勝順  
釜生田古墳群の横穴式石室 村上 喜雄  
偽考古学者のこと—続八 考古少  
年のノートから 岩野 見司  
伊東富太郎の足跡(7)  
—伊東富太郎家日記 石神 教親  
松阪市の文化財保護の取り組みⅠ  
「史跡宝塚古墳の保存と整備」 下村登良男  
史料復刻 鈴鹿市「杉野家」文書  
三重郷土会古文書勉強会

## 近畿

## ◆湖国と文化 びわ湖芸術文化財団

〒520-0806大津市打出浜15-1

TEL077-523-7146 年2520円 1977年創刊

www.biwako-arts.or.jp

◇158 (41-1) 2017.1 B5 92p 584円

《特集 滋賀の地酒》\*特集記事略

大津京、万葉をうたう(3)

蒲生野の恋歌

文と曲・林博通／画・鈴木靖将

近江の懐(1) 大津宿 町衆の心

意気を感じる街 加藤賢治／石川亮

おもしろ近江考古学(10)

歌木簡甲賀市史跡紫香楽宮跡 松浦 俊和  
鳥の目巡遊(10) アナログとデジ

タル さかもとの石垣／あいと

うマーガレットステーション 延木由起子

滋賀文化事情 芸術の秋・文化の

秋／41年の歩み

森が育む(6) 里山保育(上) 丸橋 裕一  
北から南から

ヴェルツブルクからの贈り物 大木 文雄

日本茶の源流『朝宮茶』を訪ね

る 松村 太平

湖上を駆ける風—高島高校ポー

ト部 伊東 晃

ロマンをかき立てる稲部遺跡 眞壁 四郎

談話室(20) 新美南吉の世界 鈴木 靖将  
白鳥川の冬 吉田 栄治

シリーズふるさと遊彩(12) 番場

・鎌刃城と青竜の滝 絵・文 田中陽一郎

歴史の玉手箱(2) スポーツ 松岡 隆史  
三角点の山と私(11)

二つの白倉山

湖北・岐阜県境稜線の白倉山 山本 武人

縦走が楽しい朽木の白倉岳 鈴木 善恵

## ◆戦国史と人 女風林火山

戦国史と人を学ぶ会／武田勝頼・松姫探究

会 〒520-0528滋賀県大津市和辻高城289-

11 首藤義之方 年1400円

◇59 2017.2 B5 86p

《特集 続・本能寺の変と武田松姫》

明智光秀の息子玄琳と末子内治麻

呂の出自—光秀謀叛の真の動機

を推理する 首藤 義之

本能寺の変と法華宗の本能寺・寂

光寺・西山本門寺僧侶の動勢 首藤 義之

滋賀県米原市の清瀧寺徳源院—

佐々木京極家十九代高次から二

十五代高中の彫像・肖像画・墓

についての覚書(改訂稿) 首藤 義之

## ◆彦根城博物館だより

〒522-0061滋賀県彦根市金亀町1-1

TEL0749-22-6100 1988年創刊

www.hikone-castle-museum.jp

◇115 2016.12 A4 4p

特別公開 雛と雛道具

テーマ展 展示室1 祈りと救い

—彦根城博物館仏教美術選、テ

ーマ展 展示室1 中国故事人

物の姿—三国志の諸葛孔明から

詩聖李白まで、特別公開 展示

室 6 雛と雛道具、テーマ展

展示室 1 直弼発見! 大老

・井伊直弼の職務

武芸を学ぶ彦根藩士達 青木 俊郎

◇116 2017.3 A4 6p

テーマ展 直弼発見! 大老・井

伊直弼の職務

テーマ展 展示室 1 直弼発見!

大老・井伊直弼の職務、特別公

開 展示室 1 国宝・彦根屏風、

テーマ展 展示室 1 煎茶一文

雅清遊のいとなみ、企画展 展

示室 1 国宝・彦根城築城410

年祭関連事業 能面再興の立役

者 近代の美工・中村直彦

井伊直虎から井伊直政へ

青木 俊郎

井伊直虎と拵

古幡 昇子

## ◆京都府立大学文学部歴史学科

フィールド調査集報

〒606-8522京都市左京区下鴨半木町1-5

2015年創刊

◇3 2017.3 A4 120p

〈地域の歴史と文化遺産の調査(京都府域)〉

京都大学総合博物館平成28年度特

別展「日本の衣装—紙と絹の文

化を支える」展への企画協力

横内裕人／三輪眞嗣／井上真美

北波正宏／藤垣朝一／張思捷

京都市雲ヶ畑地区調査

齊藤 久子

宇治茶生産地での聞き取り調査

上杉 和央

建勲神社拝殿の建造物調査

岸 泰子

新史料発掘：戦時下の村と生活を

克明に描いた小学生の日記—

『鶴原日誌』発見にいたるまで 小林 啓治

京田辺市歴史資料共同調査・報告

会・市民ボランティア 東 昇

平成28年度 丹後宮津資料調査 棟田 成昭

大宮壳神社所蔵考古資料の整理と

活用 向井 佑介

大宮壳神社所蔵資料の活用—「ミ

ニチュア土器をつくってみよう」

の実施 川崎雄一郎

宮津市由良地域調査

宮下 遥

舞鶴市舞鶴幼稚園・多門院・余部

上地区の資料調査

水野 拓也

〈地域の歴史と文化遺産の調査(京都府外)〉

沖縄県現地調査2016

上杉 和央

沖縄県うるま市における照間ピー

グの調査 豊田 祥子

沖縄県うるま市津堅島における文

化的景観調査 島本 多敬

丹波市市島町・春日町の歴史的建

造物調査 岸 泰子

春日大社における社家日記調査

三輪 眞嗣

東大寺における中性院伝来襖下張

り文書調査 三輪 眞嗣

長崎県対馬市における渡来經典調

査 川口 成人

神河町福本遺跡まつりへの参加

中村 彰伸

イギリス国立公文書館における近

代中国関連の調査 荻 恵里子

兵庫県神河町所在古墳群の測量調

査 京都府立大学文学部考古学研究室

〈文化遺産デザイン研究報告

「京都の歴史を歩こう!—紫野編—」

事前調査 福間 優華

歴史遠足報告 福間 優華

〈文化遺産フィールド研修報告〉

兵庫県神崎郡神河町の文化遺産

—フィールド実習2016について 井上直樹／菱田哲郎

兵庫県神崎郡神河町におけるフィ

ールド研修日程 大野治輝／中村美琴／村上なつか

柏尾の文化遺産

村上なつか／松岡聖也／中村美琴

コラム 大歳神社(柏尾)の建造物

(本殿・拝殿)と由緒 岸 泰子

法性寺毘沙門堂の戸板裏書と津山

愛染寺 東 昇

コラム 大歳神社の絵馬にみる中

国故事 向井 佑介

銀の馬車道調査報告 岩田 聖也

神河町の遺跡・史跡

大須賀広夢／小山琴乃／佐伯圭史

神河町の地蔵盆  
 正田彩花／松岡聖也／有賀陽平

◆古代史の海 「古代史の海」の会  
 〒573-0084枚方市香里ヶ丘6-4-9  
 上遠野浩一方 年4000円 1995年創刊  
 www7.ocn.ne.jp/~kodaishi/  
 ◇86 2017.1 A5 64p 1500円  
 巻頭言 記紀神話の魔力と魅力 河越 尚司  
 「方～里」表記をめぐって(2) 中村 修  
 百済観音の飛鳥時代(9)  
 百済観音と浄土(3) 山下 輝幸  
 新刊紹介 塚口義信博士古稀記念  
 編『日本古代学論叢』 文責・上遠野  
 「磯宮」について 中村 修  
 初期ヤマト政権の国家神の転換に  
 関する考察—統一国家成立の思  
 想とオオモノヌシ 河越 尚司  
 古代史研究のレファレンスについ  
 て(3) 上遠野浩一  
 ◇87 2017.4 A5 64p 1500円  
 巻頭言 引用は正確に 中村 修  
 「方～里」表記をめぐって(2) 中村 修  
 百済観音の飛鳥時代(10)  
 飛鳥時代の政治と仏教(1) 山下 輝幸  
 八紘為宇と八紘一宇(2) 中村 修  
 記紀神話の歴史的形成過程の考察  
 (1)—国家神の転換とオオモノ  
 ヌシ 河越 尚司  
 古代高橋氏の水軍的側面について  
 の一考察 高橋 輝好

◆史迹と美術 史迹美術同致会  
 〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入  
 西大路町146 中西ビル内  
 TEL075-462-4292 年8000円 1930年創刊  
 https://www.shibikai1930.com  
 ◇870 (86-10) 2016.12 A5 34p 916円

日本の塔百選(50) 興願寺三重塔  
 中西 亨

鴻巣市上會下、龍嶋山雲祥寺鐘の  
 鋳物師 石塚 雄三  
 河内長野市高向神社の石造露盤 木下 浩良  
 「京都検定」を検定する(4)  
 「この前の戦争」 加藤 繁生  
 第2013回例会 奈良町の古代から  
 近代までの文化財を訪ねる 東 暲  
 第2014回例会 南河内の文化財 藪田 夏雄  
 久保仁平さんを偲ぶ 丸山 貞  
 レストラン「フォーチュンガーデ  
 ン京都」(旧(株)島津製作所河  
 原町別館)の建築 矢ヶ崎善太郎  
 2015・2016年度 石造美術勉強会  
 活動記録  
 第86輯(861~870号)総合目録  
 ◇871 (87-1) 2017.1 A5 30p 916円  
 大徳寺伝来『五百羅漢図』につい  
 て—我が国石造宝篋印塔成立期  
 の一資料として(上) 加藤 繁生  
 阿波国より高野山へ運ばれた石塔  
 —康永三年の板碑 木下 浩良  
 第1025回例会 犬山城・有楽苑の  
 文化財を訪ねる 岩崎 幸一  
 第1026回例会 久し振り淡路の文  
 化財を訪ねる 八田 洋子  
 第22回 石造物勉強会報告 田中 康夫  
 ◇872 (87-2) 2017.2 A5 32p 916円  
 江戸六地藏の鋳物師、太田駿河守  
 藤原正儀(5) 久右衛門と駿河  
 守(続)—宇都宮市、高照院芳宮  
 山清巖寺の旧金銅地藏尊 石塚 雄三  
 大徳寺伝来『五百羅漢図』につい  
 て—我が国石造宝篋印塔成立期  
 の一資料として(中) 加藤 繁生  
 第1027回例会  
 京都西山と丹波の古寺 矢ヶ崎善太郎

第39回総会報告 田中 康夫  
 ◇873 (87-3) 2017.3 A5 36p 916円  
 大徳寺伝来『五百羅漢図』につい  
 て—我が国石造宝篋印塔成立期  
 の一資料として(下) 加藤 繁生  
 島田市・東光寺の懸仏について 大塚 幹也  
 第1028回例会  
 奈良中央部発掘遺物を訪ねる 東 暲  
 追悼文集  
 故中西亨名誉会長を偲んで  
 中西亨名誉会長の熱い思い 尼崎 博正  
 八十八会を偲んで 東 暲  
 追悼 中西亨先生 加藤 繁生  
 中西名譽会長を偲んで 甲斐 常興  
 東京例会の追憶 嘉津山 清  
 中西亨名誉会長逝去の報に接し  
 て 水野 孝文  
 中西亨先生を偲んで 中尾 純子  
 消えた写真 藪田 夏雄  
 中西亨先生を喪って 丸山 貞  
 会長へのお礼 田中 康文  
 追悼 中西亨名誉会長 矢ヶ崎善太郎

◆史談福智山 福知山史談会  
 〒620-0883京都府福知山市本堀1430  
 中村邦夫方 TEL0773-22-2737  
 ◇777 2016.12 B5 4p  
 余談福知山音頭(1)「福知紺屋町  
 御霊さんの榎 化けて出るげな  
 古狸」のバージョン違いについ  
 て 尾松 克巳  
 歴史街道余話(1) 芦田 精一

◆都藝泥布 京都地名研究会通信  
 〒610-1126京都市西京区大原野上里男鹿町  
 14-5 入江成治方 FAX075-331-3431  
 年3000円 2002年創刊  
 kyotochimei.wix.com/kyotochimei/

◇56 2016.12 A4 8p  
 第44回地名フォーラム報告 講演  
 難読地名・一口(いもあらい)再  
 考—地名研究の落とし穴 小寺 慶昭  
 第44回地名フォーラム報告 発表  
 相楽の「惣村」と地名をめぐっ  
 て 中津川敬朗  
 蟹満寺と雪野寺から綺田の地名  
 を考える 中島 正  
 第45回地名フォーラム開催案内  
 研究発表 発表1 地名から仏  
 教揺籃の地 南大阪を掘り起こ  
 す(梅山秀幸氏)、発表2 京の  
 七口(綱本逸雄氏)  
 北山の山名(5) 小寺 慶昭  
 比良・八淵の滝の文字石 綱本 逸雄  
 ◇57 2017.3 A4 8p  
 第45回地名フォーラム報告  
 地名から仏教揺籃の地 南大阪  
 を掘り起こす 梅山 秀幸  
 石碑で巡る京の七口 綱本 逸雄  
 第16回総会 講演会 開催案内  
 講演1 枕詞「あしひきの」は  
 「峯集き」か(西崎亨氏)、講演  
 2 地名の漢字(鏡味明克氏)  
 北山の山名(6) 小寺 慶昭  
 寺の名の付いた町名 妙田寺町 清水 弘  
 京都「七口」のうち丹波口につい  
 て 梅谷 繁樹  
 比良・八淵の滝の文字石 綱本 逸雄

◆やましろ 城南郷土史研究会  
 〒619-0204京都府木津川市山城町上狛南野  
 田芝29 中津川方 TEL0774-86-3262  
 1953年創刊  
 ◇30 2017.3 B5 128p 1200円  
 近世の和東郷釜塚村について  
 —田中家文書の分析から 中川 博勝

木津川市上粕出身 不屈のジャーナリスト・柳沢恭雄とその人生(中) 小学校から大学まで一思想形成過程と行動 赤塚 康雄  
戦時下の木津町民にきた通達(下) 一北大路町内会文書『通達綴』(昭和19・20年度)が写し出す暮らし 青山由起子  
日本陸軍の徴兵制度について 仁張 真人  
追悼 故 佐伯快勝氏の思い出 浦本 幹男  
南山城の地域史研究を見守り続けて下さった上田正昭先生 中津川敬朗  
山城文学誌のあわさい(8) 童謡と民謡の詩人 酒井雨虹掌伝 古川 章  
南山城水害誌(高麗村にみる記録)(4) 大西 康允  
宇治 文学碑廻り(5) 小西 亘  
南山城地域の仏像 参考文献集成 十三世紀の菩薩像 八田 達男  
創作民話 木津川浜のポンポコ 文・東義久/画・奥山弘子

◆立命館大学国際平和ミュージアムだより  
〒603-8577京都市北区等持院北町56-1  
TEL075-465-8151 1993年創刊  
www.ritsumeai.ac.jp/mng/er/wp-museum/  
◇70 (24-3) 2017.3 A4 18p  
スポット ミュージアムの収蔵品(67) 戦時中の日記 兼清 順子  
巻頭つれづれ 沖縄へのフライト 中の「寄席」で考えたこと 安斎 育郎  
平和教育・研究 平和博物館における戦争体験継承のための展示モデル構築  
平和教育・研究 2016年度メディア資料研究会開催報告  
運営委員リレー連載

“平和”の教育と組織心理学 山浦 一保  
ここが見どころ 他者との未来に賭ける—平和の創造のために 小川さやか  
ミュージアムおすすめの一冊 『映画という《物体X》 フィルム・アーカイブの眼で見た映画』 岡田秀則著 川村健一郎

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報  
〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425  
井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円  
www.eonet.ne.jp/~sanonokai/  
◇349 2017.1 B5 12p  
石割松太郎『柳光斎如圭と俳諧』について よねかずゆうたろう  
明治初期の地誌書に見る泉州  
—日本地理志略(2) 岸田 修一  
各所にみる「弘法大師」(2) 北山 理  
和泉の中世城郭(46) 井田 寿邦  
たそがれの泉州弁(25) 中野 恒一  
泉佐野の歴史と今を知る会の新刊案内 地域論集VI 長滝  
◇350 2017.2 B5 12p  
享和2(1802)年の佐野村 井田 寿邦  
各所にみる「和泉式部」(1) 北山 理  
たそがれの泉州弁(26) 中野 恒一  
◇351 2017.3 B5 12p  
中世の神野荘は泉佐野市上之郷か  
—室町期の神野荘の史料紹介 廣田 浩治  
明治初期の地誌書に見る泉州  
—日本地志要略(3) 岸田 修一  
夏の研修旅行の報告 鯖街道から 敦賀そして菅浦へ(2) 勝矢 寛雄  
各所にみる「和泉式部」(2) 京都市新京極の誠心院 北山 理  
和泉の中世城郭(47) 井田 寿邦

◆大阪の歴史 大阪市史編纂所  
〒550-0014大阪市西区北堀江4-3-2  
大阪市立中央図書館内 TEL06-6539-3333  
1980年創刊  
www.oml.city.osaka.lg.jp/?page\_id=871  
◇84 2016.7 A5 122p 700円  
表紙 「心斎橋大丸新館と大阪市中心標」 橋爪 節也  
《特集 大大阪91年》  
大阪文化施設協会について 門上 光夫  
思想としての「大大阪」—北尾鎌之助の言説についての一考察 古川 武志  
大阪労働学校創立の所在地について—安治川教会は西区安治川にあったのか 井東一太郎  
座談会「大大阪」九〇年記念  
—「大大阪」の射程 古川武志/松岡弘之 川内淳史/野高宏之  
史料紹介  
岡本一平「大大阪君似顔の図」(上) 古川 武志  
日本基督教団大阪基督教会所蔵  
外島保養院家族教会関係資料  
松岡 弘之  
みおつくし 望遠鏡 内海 寧子  
新刊図書紹介  
原田敬一編『地域のなかの軍隊 4 近畿 古都・商都の軍隊』 古川 武志  
樋上恵美子著『近代大阪の乳児死亡と社会事業』 松岡 弘之  
菊田村寺田家文書研究会編『撰津国住吉郡菊田村 寺田家文書』 生駒 孝臣  
◇85 2017.2 A5 118p 700円  
表紙 『なにはがた』 相良真理子  
近世大坂における上荷船・茶船の浜=机場の構造—堀江地域を中

心として 井戸田史子  
大阪の新聞作家渡辺霞亭  
—生涯と思想 相良真理子  
史料紹介  
『大阪経済雑誌』にみる明治中之島風景 古川 武志  
岡本一平「大大阪組似顔の図」(下) 古川 武志  
国語をめぐる二点の史料 上田 長生  
みおつくし お雇い外国人 堀田 暁生  
新刊図書紹介  
渡邊忠司著『大坂遊覧 伊予職人と歩くなにわ』 内海 寧子  
安食文雄著『歴史家になる方法 昭和モダンの歴史に学ぶ』 堀田 暁生  
食満南北著 神戸女子大学古典芸能研究センター編『大阪藝談』 古川 武志  
武部好伸著『大阪「映画」事始め』 古川 武志  
山崎勝昭著『萩原広道』(上)(下) 松本 望

◆大阪歴史懇談会会報  
〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンテナショップ一兵内 TEL06-6931-1081  
年5000円 1984年創刊  
osakarekikon.cocolog-nifty.com  
◇388 (33-12) 2016.12 B5 8p  
巻頭言「神のおやしろのこと」(15) 「大阪天満宮」(3) 和久 敦也  
平成28年11月例会報告「日明勘合貿易と倭寇」 谷口規矩雄氏(報告・白須)  
平成28年度 秋の見学会「環濠都市 堺を歩く」案内人:白須一信氏・和久敦也氏(報告・井川)  
兵庫歴史研究会合同見学会「伊丹の旧西国街道そぞろ歩き」(報告・和久)

◇389 (34-1) 2017.1 B5 8p  
年頭のご挨拶 片倉 穰  
平成28年12月例会「真田信繁(幸村)最後の自筆書状とその前後」  
渡辺武氏 (報告・寺井)  
「神のおやしらのこと」(16)  
「堀川戎神社」 和久 敦也

◇390 (34-2) 2017.2 B5 8p  
巻頭言「神のおやしらのこと」(17)  
「堀川戎神社」(2) 和久 敦也  
平成29年1月例会報告「日本基督教史と大坂吉利支丹の展開」  
久米雅雄氏 (報告・和久)

◇391 (34-3) 2017.3 B5 8p  
巻頭言「神のおやしらのこと」(18)  
「お初天神」—露天神 和久 敦也  
平成29年2月例会報告「性の境界を越えた日本人の美意識」ヤマトタケルの変装などから 片倉 穰氏 (報告・朝山)

会員講座・第23回「石見国津和野城」—この城も天空の城  
田村紘一氏 (報告・磯崎)  
高田松原の被災松で作った仏像  
堺市の「妙國寺」にも 松坂 定徳

◆大塩研究 大塩事件研究会  
〒530-0053大阪市北区末広町1-7  
成正寺内 TEL06-6361-6212 1976年創刊

◇76 2017.3 A5 82p  
この言葉(31) 藪田 貫  
講演録 大塩平八郎の詩心 福島 理子  
きのうの友は今日の敵 澤田 平  
思想方法から見た大塩平八郎とルソー(上) 森田 康夫

天保能勢騒動 首謀者山田大助の狙いを推理する 首謀者山田大助と「浮世の有様」の著者との

葛藤を通して(下) 土岐 稔  
資料翻刻「難波美家解」(2)  
大塩の乱関係資料を読む部会  
大塩ゆかりの地を訪ねて(6)  
「大塩平八郎門人と藤樹書院」 志村 清  
会員日より「酒井一先生の論文集の刊行に關わって」 松永 友和

◆かいづか文化財だより テンブス  
貝塚市教育委員会  
〒597-8585大阪府貝塚市島中1-17-1  
TEL072-433-7126 1996年創刊

◇61 2017.3 A4 8p  
まほろしの寺院「海岸寺」の石灯籠  
第109回かいづか歴史文化セミナー 講演会「善兵衛の時代の天文学」を開催しました／岩橋善兵衛と望遠鏡(2)一初めての天体観測 尾宿

古文書講座—市内にのこる身近な古文書「ほっかんさんの江戸参府記—道中編」  
孝恩寺の仏像—菩薩(6) 十一面観音 重要文化財 十一面観音立像 1 軀／水間街道沿いの道しるべ その4 水間街道道標 6(名越)

◆家系研究協議会会報  
〒675-0101兵庫県加古川市平岡町新在家  
1745-203 馬原浩一方 TEL079-424-0921  
年5000円 2002年創刊  
www.geocities.jp/kakenkyou/

◇59 2017.1 B5 8p  
父の死と墓地墓石についての所感 相良 一夫

家系研究協議会 平成28年度秋の例会報告「二ノ丸家存続の経

緯について」本会会員 二ノ丸 吉武氏 (馬原)  
家系研究協議会 見学会報告 和歌山県九度山町「真田昌幸・幸村親子幽閉の地を巡る」  
永田鉄山の書 解説のお願い 安居 隆行  
珍名さんいらっしゃい(52) 眞野 幹也

◆近畿文化 近畿文化会  
〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13  
上本町YUFURA 7階  
TEL06-6775-3686 年2200円

◇805 2016.12 A4 10p 300円  
久御山町の文化財を訪ねて—山城  
三川の合流地と巨椋池南西岸 泉森 皎  
宇陀松山城と城下の史跡 松田 真一

◇806 2017.1 A4 10p 300円  
伊勢参宮街道を訪ねて(1) 来村多加史  
松阪城下町を歩く 岡田 登

◇807 2017.2 A4 10p 300円  
平城京東部の古墳 関川 尚功  
石川谷上流の大古墳とて磯長谷 一瀬 和夫  
◇808 2017.3 A4 8p 300円  
織田家ゆかりの町「柏原」 大澤 研一  
鹿瀬山・燈明寺山と周辺の仏像 関根 俊一

◆近畿民俗 近畿民俗学会  
〒569-0055大阪府高槻市西冠2-5-5  
伊藤廣之方 TEL072-661-0873 年5000円  
1949年創刊

◇183 2017.3 A5 56p  
農村地域における金毘羅燈籠への祈り—鳥取県中部の聞き取り調査から 白石太良／米原喜雄  
明治・大正期の上町台地の暮らし 岡本 正雄

天川村栴尾における交通と交易の伝承 伊藤 廣之

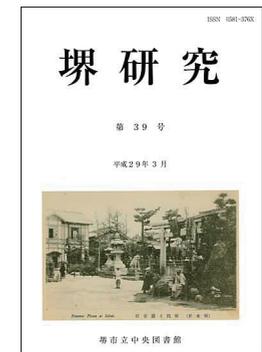
灸の民俗学的研究  
—灸に込められた人々の想い 舟木 宏直

◆堺研究 堺市立中央図書館  
〒590-0801堺市堺区大仙中町18-1 堺市立中央図書館総務課図書館サービス係  
TEL072-244-3833

◇39 2017.3 A5 88p 650円  
表紙解説『最新堺名所絵葉書「宿院と図書館」』堺市立中央図書館所蔵

歴史のなかの堺市立図書館—『大正五年五月以降／日誌』の紹介 島田 克彦

堺市立中央図書館所蔵の未整理文書について 岡田光代／大久保雅央



\*堺市立図書館は、日露開戦もない1904年に、戦争記念事業として堺高等小学校卒業生同窓会「櫻友会」が校内に設けた文庫を起源としている。その後、市民に公開され、1909年には大阪府立図書館からの資料貸出しや、地元財界の支援もあって私立堺図書館に発展、1916年に大阪電燈(株)から施設新築費用の寄付を受け市立図書館となった。初代館長は府立図書館長 今井寛一が兼務した。今井は弱冠34歳で府立図書館(当時は大阪図書館)長となり、後に西欧に学んで我が国に近代的な図書

館管理法をもたらした人物である。島田克彦氏「『歴史のなかの堺市立図書館』—『大正五年五月以降／日誌』の紹介」は、市立図書館開館前後の1916年から18年までの、執務規定と業務日誌を翻刻し、詳細な解説を付したものである。日記には頻発する職員の病欠欠勤や退職が記され、館長が雇用確保に腐心する様子が読み取れる。島田氏は厳しい労働と引き合わない給料の安さを指摘している。また、米価高騰で鬱積した民衆の気持ちが祭礼を機に騒動となり、私服警官が神輿の担ぎ手を図書館に連れ込んで暴行ふるったことの記載がある。打つ、踏む、蹴るなどの暴行の様子を鮮明に記した後、「私怨的態度ナリシヲ認め得ル余地アリシヲ筆者深ク悲シム」と記していることは興味深い。島田氏は、「本史料は大戦期堺の都市社会という、時代と地域の空気を濃厚にまとった歴史資料である」と述べている。同館にはもう一点、『大正七年九月以降／日誌』が残されているとのことである。是非これも翻刻、紹介されることを期待したい。

◆城だより 日本古城友の会

〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28  
平川大輔方 TEL06-6652-4511  
web1.kcn.jp/kojyo\_tomonokai/

◇576 2016.12 B5 20p

私の城と歴史遍歴 田村 紘一  
城に憑かれて60年の想い出 田村 紘一  
別冊 第638回 近江 鎌刃城を  
訪ねて 案内講師：中井均氏  
担当幹事：森田又一・平川大輔

◇577 2017.1 B5 22p

日本古城友の会  
平成28年度の例会(概要報告)  
12月・第638回例会の報告 近江  
鎌刃城を訪ねて 案内講師：中

井均先生 担当幹事：平川大輔  
・森田又一 森田 又一  
宮崎県の城を巡る(1) 延岡城 木下 修二  
古代山城・屋嶋城を訪ねて 坂本 昇

◇578 2017.2 B5 22p

1月・第639回例会の報告  
栢木隆「昨年訪れた城で感じた  
こと」 栢木 隆  
藪西旭「城郭石垣の見方と自論」  
藪西 旭

宮崎県の城を巡る(2)

飫肥城など 木下 修二  
別冊 第640回 河内上赤坂城を訪  
ねて 担当幹事：平川大輔・平  
田和久

◇579 2017.3 B5 22p

2月・第640回例会の報告 富田  
林寺内町と、河内烏帽子形城跡  
を訪ねて(当初計画：河内 上  
赤坂城を訪ねて) 担当幹事：  
平川大輔・平田和久氏 平川 大輔

復刻版しました『大坂城 石垣調  
査報告書(2)』郵送料込2500円  
で頒布します。 平川 大輔

河内金胎寺城探訪記 川端 義憲

別冊 第641回 河内津田城・私部  
城を訪ねて 担当幹事：川井剛  
・川端義憲

◆つどい 豊中歴史同好会

〒560-0054大阪府豊中市桜の町4-6-27-208  
小川滋方 月1000円 1988年創刊  
homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/

◇347 2016.12 B5 16p

継体天皇大和入りの反対勢力を考  
える 西川 寿勝  
読書室 『邪馬台国と初期ヤマト  
政権の謎を探る』塚口義信

◇348 2017.1 B5 18p

恭賀新春 生國魂神社絵馬  
難波大社 生國魂神社  
ヤマト政権と大夫制一六、七世紀  
の豪族と天皇の関係 水谷 千秋  
丹波の歴代大首長墳と隼人の地を  
訪ねる 石塚 一郎  
読書室 新刊紹介 塚口義信博士  
古稀記念会編『塚口義信博士古  
稀記念 日本古代学論叢』

◇349 2017.2 B5 18p

日本古代における文字使用の開始  
市 大樹  
飛鳥の終末期古墳を訪ねる 小川 滋  
◇350 2017.3 B5 22p  
横穴式石室にみる九州諸豪族とヤ  
マト王権—横穴式石室の地域性  
と畿内系横穴式石室について 宇野 慎敏  
生國魂神社初詣と大阪市内中心部  
の史跡を訪ねる 山口 久幸

◆枚方市史年報

枚方市教育委員会文化財課市史資料室  
〒573-1159大阪府枚方市車塚2-1-1  
枚方市立中央図書館内 TEL050-7105-8154  
1996年創刊

◇19 2017.3 B5 46p

漢詩で旅する淀川  
—『淀川兩岸一覽』の漢詩 新稲 法子  
明治十八年の淀川洪水と「鍵屋」  
—大阪府知事建野郷三に利用さ  
れた旅宿 片山 正彦

◆あわじ 淡路地方史研究会

〒656-0053兵庫県洲本市上物部161-8  
TEL0799-24-1512 年6000円 1984年創刊

◇34 2017.1 B5 107p

江戸時代・淡路国津名郡志筑浦の

海運業 海部 伸雄  
二つの洲本城 高松 新治  
『真田丸』の時代 淡路島の武将、  
国人(衆)の動向 永田 誠吾  
名探偵金田一耕助 淡路島へ行く  
定本 義広  
安倍喜平ゆかりの大國隆正の扁額  
浦上 雅史  
大塩平八郎とその首級を描いた幕  
末の絵師 藪長水 五島 清弘  
役行者と修験道 堀部るみ子  
秀吉が脇坂に命じた『淡路二郡指  
出寄帳』について 北山 學  
俳句とわたくし 高田 成樹  
木下敬さんを想う 黒田 敏夫  
春の研修旅行報告 徳島県美馬市  
脇町、卯建の町並み他、鳴門市、  
大麻比古神社 堀部るみ子  
秋の研修旅行報告  
播州赤穂城周辺と坂越 尾崎 雪子

◆こうべ空襲だより 神戸空襲を記録する会  
中田政子方

◇16 2017.2 A4 8p

お知らせ 今年も、第46回神戸空  
襲犠牲者合同慰霊祭を行いま  
す！！／第16回戦跡ウォーク  
さようなら 石野さん・杉田先生  
雨中の刻銘追加式  
第2回神戸空襲写真展—平和を願  
って／茨城県の県立水戸農業高  
校から、修学旅行で「いのちと  
平和の碑」を訪問  
大阪の「15年戦争研究会」の皆さ  
んが「神戸戦跡フィールドワー  
ク」に

◆史料ネット NEWS LETTER

歴史資料ネットワーク  
〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1  
神戸大学文学部内 TEL078-803-5565  
年1000円 siryo-net.jp  
◇84 2017.2 A4 4p  
《熊本地震特別号》  
熊本における史料ネット活動の現況 三澤 純

◆生活文化史 史料館だより

神戸深江生活文化史料館  
〒658-0021神戸市東灘区深江本町3-5-7  
TEL078-453-4980 1981年創刊  
fukae-museum.la.coocan.jp  
◇45 2017.3 B5 24p  
威容を誇った深江温泉 大国 正美  
明治期、深江小学校の教科書発見  
戦前に青木にあった弓道場と太田  
丙子郎 五賀 友継  
深江物語(6)  
深江文化村界隈の今昔 森口 健一  
「べっぴんさん」と史料館 道谷 卓

◆地域史研究 尼崎市立地域研究史料館紀要

〒660-0881兵庫県尼崎市昭和通2-7-16  
総合文化センター7階 TEL06-6482-5246  
1971年創刊  
www.archives.city.amagasaki.hyogo.jp  
◇116 2017.1 A5 187p 850円  
市長・地域史研究史料館専門委員  
対談 『図説尼崎の歴史』から  
『たどる調べる尼崎の歴史』へ  
岩城卓二／市沢哲／稲村和美  
幕末期城下町の借家暮らし一築地  
町新田屋庄兵衛家の「家賃入日  
記」より 中村 光夫  
近世尼崎城残石探し 中川雄三／佐藤功

『蘆荊』の刊行 菅原 敏二  
誌上レファレンス 地域研究資料館  
史料紹介  
史料編 尼崎の古代・中世一史  
料と研究 連載第3回 尼崎  
市史古代・中世史料補遺(3)  
天野忠幸／樋口健太郎  
源為義の大物押領事件 樋口健太郎  
大坂の陣と尼崎 天野 忠幸  
「喫茶問答」及び「胎厥編」に  
ついて 田中 敦  
『戸田左門覚書』 地域研究史料館  
書評 市制施行100周年を迎えて 森本 米紀

◆西宮文化協会会報

〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17  
西宮神社内 TEL0798-33-0321  
◇585 2016.12 B5 8p  
ブラジルの日本人(西宮人)  
鈴木悌一 堀内 陽光  
「西宮」保存箱、玉手箱(36)一情  
報公開課資料より 国道171号 豊田 みか  
昭和五十四年中国の旅 二宮 健  
◇586 2017.1 B5 8p  
文楽人形遣い・吉田文雀師匠を偲  
ぶ 森村 暁子  
「西宮」保存箱、玉手箱(37) 香  
櫛園之図一情報公開課資料より  
豊田 みか  
11月行事「東播に秋を求めて」に  
参加して 江崎健一郎  
◇587 2017.2 B5 8p  
日本に伝わった景色の見方“瀟湘  
八景” 阿部 達雄  
「西宮」保存箱、玉手箱(38) 横  
断歩道一情報公開課資料より 豊田 みか  
“昭和五十四年中国の旅”(2) 二宮 健  
◇588 2017.3 B5 8p

緒方洪庵「癸丑年中日次之記」に  
関し 藤田卯三郎  
「西宮」保存箱、玉手箱(39) 仁川  
峡堰堤一情報公開課資料より 豊田 みか  
甲陽園のカフェパウリスタ 若林あかね  
平成28年度 会報総目次

◆年報 香寺町の歴史 香寺町史研究室

〒679-2131兵庫県姫路市香寺町犬飼464-1  
犬飼公民館別館 TEL079-280-6665  
◇11 2017.3 B5 50p  
《特集 地域の力で地域史料を保全継承する》  
基調講演 地域歴史遺産と大字誌  
一歴史を学ぶ楽しさと地域づく  
り 奥村 弘  
提案型協働事業報告会  
協働事業の成果と課題 大槻 守  
自治会文書整理と保存への取り  
組み 金井 貞文  
ふるさとの歴史を語る史料展 竹尾 元一  
地域史料保全研修会の実施  
歴史研究会 活動報告  
歴史研究会事業報告  
研修旅行の実施一吉備路を行く  
駒田 新安  
レポート  
香寺公民館保存の動輪 大槻 守  
町史を歩く①相坂史跡散策 尾崎 恭子  
町史を歩く②恒屋谷の文化財ハ  
イキング 曾田 典子  
写された八徳山の鬼追い 大槻 守  
香寺民俗資料館の活動  
民具に学ぶ子供たち 橋本 良春  
地域探検パート2 香寺民俗資  
料館を訪ねて 廣瀬南豆の木学級  
◆LINK 地域・大学・文化 神戸大学大学院  
人文学研究科地域連携センター年報

〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1  
TEL078-803-5566 2009年創刊  
www.lit.kobe-u.ac.jp/~area-c/  
◇8 2016.12 B5 162p  
《特集  
自然環境・生業の歴史から地域を考える》  
中世の環境と地域社会 水野 章二  
「湖辺」のムラの確立と創造  
一「非力の村」論からみる 橋本 道範  
シシ垣遺構の保存と活用 高橋 春成  
近世丹波における農作物の獣害と  
対策一史料紹介を兼ねて 木村 修二  
十九世紀の大坂周辺地域における  
離檀問題と地域運営の転換一在  
郷町・平野郷町を事例に 松本 充弘  
在地代官家伝来史料より見る幕末  
期旗本平岩氏の家紋について 平岩 泰典  
フィールドレポート  
福崎町辻川界隈ジオラマ模型製  
作一柳田國男が暮らした街並  
みの復元事業  
槻橋修／佐野美幸／磯村和樹  
世界史の断片として一「青野原  
俘虜収容所開設一〇〇周年事  
業」 萩原 康仁  
地域資料を如何に伝えていくか  
平田 正和  
LINKを読む  
地域活性化と歴史・文化財一特  
集「地域の再生」と歴史文化  
II」を読んで 森下 徹  
関係のつくりかたとその歴史か  
ら地域再生を考える 清野未恵子  
時評・書評・展示評  
「播磨国風土記」特別陳列展 森田喜久男  
神戸大学附属図書館「村上家文  
書の世界一近世×神戸×農村」  
河野 未央

『過去を伝える、今を遺す—歴史資料、文化遺産、情報資源は誰のものか』九州史学会・公益財団法人史学会編 三村 昌司

◆歴史と神戸 神戸史学会

〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4  
田中印刷出版内 TEL078-871-0551  
年3000円 1962年創刊

◇319 (55-6) 2016.12 A5 49p 600円

《特集 新視角・ひょうごの近世史》

巻頭言「豪商 神兵 湊の組」

播磨国三木町地子免許特権の再検

討一地子免許状と町の構造を中心に

伊賀なほゑ

幕末期淡路廻船による大坂・九州

北部間交易の様相—津名郡草加

北村の財木屋「明神丸」の場合

海部 伸雄

尼崎市制一〇〇周年記念新「尼崎

市史」—『たどる調べる尼崎の歴史』の刊行

辻川 敦

自分史と地域史がクロスする場所

—尼崎の「新市史」を読みながら

上村 武男

江戸川柳による「平家物語」(5) 石川 道子

◇320 (56-1) 2017.2 A5 49p 600円

《特集 新視角・ひょうごの教育史》

明石女子師範学校附属小学校「動的

教育」の全国的展開—神奈川

県平塚市の場合 森本眞一／義根益美

1930年代、兵庫県における「新興

教育運動」 田中 隆夫

森田修一「ああ筒台の辺に」への

疑問—市立一中の校訓「総親和

・総努力」 永田 實

播磨で皮革業が発展した条件と原

動力はなんであったか—播磨

皮革史の研究』をまとめて のびしょうじ

江戸川柳による「平家物語」(6) 石川 道子

第16回神戸・阪神歴史講座(第13回

尼崎歴史講座)「ふすまから出

てきた歴史」—文書のはがし作

業から整理・公開にいたるまで

新聞地域版を読む 神戸新聞の文

化財記事(2013年11月14日~12

月10日) 大国正美／有吉康徳

◆大美和 大神神社

〒633-8538奈良県桜井市三輪

TEL0744-42-6633 www.oomiwa.or.jp

◇132 2017.1 B5 80p

イスケヨリヒメの歌

—短歌形式の成立と関わって 内田 賢徳

山崎闇齋と三輪 西岡 和彦

第13回三輪山セミナー—東京講

演録 倭屯田の成立と国譲り神

話の転換—画期としての欽明朝

仁藤 敦史

◆水平社博物館研究紀要

〒639-2244奈良県御所市柏原235-2

TEL0745-62-5588 1999年創刊

www1.mahoroba.ne.jp/~suihei/

◇19 2017.3 A5 42p 1000円

水平社の「徹底的糾弾」闘争がも

たらしたもの—水平争闘事件

(1922年3月)の反響を中心に 手島 一雄

史料紹介 ユネスコ・アジア太平

洋地域「世界の記憶」登録「水

平社と衡平社(チョンピョンサ)

国境を越えた被差別民衆連帯の

記録」 水平社博物館事務局

◆奈良学研究 奈良学学会

〒631-8501奈良市帝塚山7-1-1

帝塚山大学奈良学総合文化研究所

TEL0742-48-8842 1997年創刊

◇19 2017.2 A5 113p

南都の夏越祓いと七月節供 赤田 光男

明治の奈良観光出版物 森下 恵介

行基と菅原寺 若井 敏明

奈良仏師成朝の訴えを読む 杉崎 貴英

日佐集団と秦氏 鷲森 浩幸

◆奈良県立同和問題関係史料センター  
研究紀要

〒630-8133奈良市大安寺1-23-1

TEL0742-64-1488 1994年創刊

◇21 2017.3 A5 76+24p

中世宿者の警固に関する考察から

—大和薬師寺の芸能警固を主題

材として 山村 雅史

大和神社の祭祀組織の変容 清水 有紀

中近世移行期大和の地域社会と浄

土真宗寺院(1)—郡山今井町光

慶寺門徒の展開をめぐって 奥本 武裕

般若寺石製反花座について 山川 均

被差別部落の村落景観に関する一

考察—明治初期における奈良盆

地農村地域の村落の事例から 穴田 敏之

◆日本文化史研究 日本文化史学会

〒631-8501奈良市帝塚山7-1-1

帝塚山大学奈良学総合文化研究所

TEL0742-48-8842 1977年創刊

◇48 2017.3 A5 85p

南都の盆と地蔵盆の行事 赤田 光男

京都・仲源寺千手観音坐像の原所

在をめぐって—東山鷲尾金山院

千手堂本尊像か 杉崎 貴英

近代日本史学における聖徳太子研

究 鷲森 浩幸

『播磨国風土記』の通行妨害説話

と雄略紀—説話の舞台・年代の

比定を中心に 梁田明日香

◆熊歴情報 熊野歴史研究会

〒647-8555和歌山県新宮市春日1-1

新宮市役所商工観光課 山本殖生

TEL0735-23-3333 年3000円

◇204 2017.1 B5 2p

「旅と宗教の文化遺産」シンポジ

ウム／熊野学フォーラム／重要

文化財旧西村家住宅(西村記念

館)の保存修理事業

◆和歌山地方史研究 和歌山地方史研究会

〒649-6258和歌山県岩出市山980-2-1312

江本英雄方 年3000円 1980年創刊

wakayamachihoshi.hp.infoseek.co.jp

◇72 2017.2 A5 86p

秀吉の朝鮮侵略における降倭部将

沙也可と「雑賀孫市」をめぐっ

て 武内 善信

享保期の橋本と五條の伝馬所争論

笠原 正夫

八代藩主徳川重倫期の財政策(上)

廣本 満

有吉佐和子氏の小説「有田川」取

材旅行について 寺西 貞弘

戦後期和歌山平野における荘園の

様相—和佐荘を事例に 小橋 勇介

紀州徳川家版能(石橋)の復曲に

ついて 小笠原真実

書評 荘園・村落史研究会編『中

世村落と地域社会 荘園制と在

地の論理』 林 晃平

中国・四国

◆北東アジア文化研究

鳥取看護大学・鳥取短期大学北東アジア文

化総合研究所 〒682-8555鳥取県倉吉市福庭854 Tel.0858-26-1811 1995年創刊  
www.cygnus.ac.jp/local/asia.html

◇42 2016.12 A5 46p  
サンフランシスコ講話条約後の日  
本の竹島=独島政策 朴 炳渉  
高木東六作曲『《鶴》—朝鮮舞踊  
のために—より「春」] その音  
楽的特徴に関する考察—復元上  
演を通して 松本 哲平

#### ◆郷土石見

〒697-0017鳥根県浜田市原井町1023-9  
森脇晋平方 1976年創刊  
◇103 2017.1 A5 153p 1200円  
表紙写真 龍雲寺(浜田市三隅町  
芦谷) 文・神本晃/写真・森脇晋平  
旧藩・城への稀薄感、その一考察  
(上)—浜田開府四百年の感懐 岩町 功  
濱田藩と柔術の源流—濱田藩に柔  
術の源流の竹内流道場があった  
中川 平介  
石見銀山大盛時代の漁業と海運  
(中)—国絵図が語る石見の海 児島 俊平  
温泉津今浦の住民と鬱陵島 杉原 隆  
七世紀天変地異は石見邑智にもあ  
ったか—炭素同位体比気温によ  
る試練 久守 藤男  
石見の遺構『今福線』を探る(1) 嘉藤 太史  
幻の高津城 山岡 浩二  
日原の石仏—奥脇往還をたどる 内谷 知  
胡籙の局物語 岩田 昇  
町から村から  
吉賀地方の平家落人伝説考 橋本 雅夫  
郷里点描(1)  
—上古市場の岩本地蔵 田中 寿朗  
あっぱれ 林 正明  
石見の博物館を訪ねて(6) 森脇 晋平

新たな年に周布氏の歴史を考え  
る—周布は浜田へ—そして益  
田へつながる 芦谷 英夫  
第22回郷土石見文化賞  
文化賞受賞にあたって 吉川 正  
第28年度 石見郷土研究懇話会  
三隅大会 報告 岩町 功  
三隅大会研究発表  
「のろし行事についての報告」  
濱崎聖二/丸山義尚  
「石見の方言に魅せられて…」 神本 晃  
三隅の歴史(兼連の時代) 岡本 潤

#### ◆大社の史話 大社史話会

〒699-0751出雲市大社町杵築西2695-1  
稲根克也方 Tel.0853-53-4966 年2500円  
1974年創刊 www.taisha-shiwa-kai.jp  
◇189 2016.12 B5 44p  
出雲大社の建造物シリーズ(5)  
出雲大社境外社殿の保存修理工  
事について(3)—調査から判明  
した出雲井神社本殿の歴史  
文化財建造物保存技術協会  
出雲弥生の森博物館ギャラリー展  
大社考古学会の足跡 出雲弥生の森博物館  
有馬朗人先生と日御碕(1)  
—早春の出雲路を巡る 宮本よしえ  
出雲地域の歴史と文化(12)  
平田一式飾りとは 大島 治  
西六國民学校集団疎開の思い出(6)  
奥村 誠一  
消えゆくもの(53)  
—出雲弁(灘ことば) 春木 芳子  
研修会 「オロチ神話の源郷を訪  
ねる会」を開催 大社史話会事務局  
読者コーナー  
読後感 第188号を読んで 荒木八洲雄  
身近な史跡や地域の話題

女流俳人「出雲の千代女」 大家 茂樹  
大社の石造物(3)  
阿部知二の文学碑 藤原 慧  
常設展期間限定展示 めてたい!  
鳥根県立古代出雲歴史博物館  
手銭記念館の四季 杵築文学あれ  
これ(6)「誹諧之伝系」 佐々木杏里  
企画展 出雲を掘る 第六話—出  
雲郡漆沼郷の今昔 出雲弥生の森博物館  
◇190 2017.3 B5 54p  
出雲大社の建造物シリーズ(6)  
出雲大社 文庫について  
文化財建造物保存技術協会  
若き担い手たち  
—大土地神楽ノート 岩成 俊策  
戦後の大社陸上競技私史(1) 久家 彰  
大社町ボランティアグループの阪  
神・淡路大震災救援活動の思い  
出 藤井 壽男  
有馬朗人先生と日御碕(2)  
—早春の出雲路を巡る 宮本よしえ  
出雲地域の歴史と文化(13) 出雲  
文化伝承館「出雲偉人伝」から  
(編) 藤原 隆  
大社の石造物(5)  
三木与兵衛翁頌徳碑 藤原 慧  
出雲弥生の森博物館ギャラリー展  
「山陰最古の弥生遺跡—原山遺  
跡は何を語るか—」 出雲弥生の森博物館  
開館140周年記念企画展 出雲国  
風土記—語り継がれる古代の出  
雲— 鳥根県立古代出雲歴史博物館  
手銭記念館の四季  
企画展「黒と彩」 佐々木杏里  
消えゆくもの(54)  
—出雲弁(灘ことば) 春木 芳子  
「大社の史話」目次集  
第181号~第190号 編集部

#### ◆宇喜多家史談会会報

〒700-0826岡山市北区磨屋町6-28  
光珍寺内 Tel.086-222-2028  
年2000円 2002年創刊  
◇61 2017.1 A4 10p  
八丈島で悠々と生きて 菊池 まり  
樹正院の「御養子」寿星院につい  
て 大西 泰正  
末裔から見た宇喜多秀家像(前号  
継承)—関ヶ原・岐阜県白樺村・  
薩摩牛根郷を訪ねて 浮田 靖彦  
物語直家記伝 西大寺辺の城  
第32回 自立(9) 山重十五郎

#### ◆岡山の自然と文化 郷土文化講座から

岡山県郷土文化財団  
〒700-0822岡山市北区表町1-7-15  
Tel.086-233-2505 1982年創刊  
◇36 2017.3 A5 313p  
世界から見た日本の自然と文化 波田 善夫  
「石谷家文書」  
林原美術館所蔵 石谷家文書に  
ついて 浅利 尚民  
石谷家文書から見る長宗我部元  
親の四国平定戦 内池 英樹  
岡山の妖怪たち 木下 浩  
岡山弁再発見! 青山 融  
第6回おかやま文化フォーラム  
「今、中世の実像を求めて  
時代の変革と地域」  
基調講演「備作地域の戦国最末  
期史—「中国戦役」を考える—」  
岸田 裕之  
事例発表「宇喜多尚家の備前統  
一と岡山平野」 森 俊弘  
事例発表「考古学から見た中世  
城館—旭川流域・吉井川流域  
・神代川流域の調査事例から

一」 島崎 東  
 パネルディスカッション「今、  
 中世の実像を求めて 時代の  
 変革と地域」 司会・久野修義

◆岡山地方史研究 岡山地方史研究会  
 〒704-8113岡山市東区西大寺上2-6-36  
 村上岳方 TEL086-942-6156 年1500円  
 1986年創刊  
 homepage3nifty.com/okayama-chiho/chiho/c-main.htm

◇140 2016.12 B5 24p  
 周防・長門の陶山氏について 魚屋 翔平  
 吉備津彦神社社家 小山人文書に  
 ついて 内池 昭子  
 史料紹介  
 没落後の宇喜多氏について 大西 泰正

◆岡山藩研究 岡山藩研究会  
 〒169-8051東京都新宿区西早稲田1-6-1  
 早稲田大学教育学部 大橋研究室気付  
 okayamahanwaseda.seesaa.net/?1465280813/

◇81 2017.2 B5 8p  
 〈第43回全体会の記録〉  
 報告要旨  
 加賀前田家年寄の世襲支配 林 亮太  
 参加記  
 加賀百万石が家老に求めたもの  
 一林報告を聞いて 竹村 到  
 林亮太報告参加記 池ノ谷匡祐

◇82 2017.2 B5 10p  
 〈第44回全体会の記録〉  
 報告要旨 寛政・享和期における  
 松浦家の交際と学問・知識受容  
 吉村 雅美  
 参加記  
 吉村雅美報告「寛政・享和期に  
 おける松浦家の交際と学問・  
 知識受容」参加記 深谷 克己

吉村報告を聞いて 若尾 政希

◆岡山人物 岡山人物学会  
 〒703-8421岡山市中区高島新屋敷382-14  
 難波俊成方 年4000円 1949年創刊  
 okayamaminzokugakkai.web.fc2.com

◇237 2016.12 B5 62p  
 県史編纂事業と民俗学—新鳥取県  
 史編さん事業を通じて 榎村 賢二  
 旭川中流域における棒つかいにつ  
 いて—岡山県久米郡美咲町大坪  
 和地区の芸能を中心として 大倉 寿仁  
 干拓地の地神信仰 河合 久和  
 民俗拾遺(21) 保食神の坐像、小  
 狭木舞(鞭掛) 次田 圭介  
 沖新田東手の綿栽培について 麻生 君江

◆きび野 岡山県郷土文化財団  
 〒700-0822岡山市北区表町1-7-15 702号  
 TEL086-233-2505

◇144 2017.1 A5 14p  
 気分は殿様 近田 玲子  
 岡山の人物 宇喜多直家 森 俊弘  
 岡山の自然  
 干支(酉)の名前をもつ植物 狩山 俊悟  
 岡山の文化財 東西用水酒津樋門 樋口 輝久

わが町・わが村の自慢  
 柴田鍊三郎文学碑(備前市)  
 ふるさとの思い出  
 ふなめし(岡山市南区)  
 新見荘現地研修会に参加して 中野 正勝

◇145 2017.3 A5 14p  
 風景の向こうで揺らめくもの 畔地 里美  
 内田百閒記念碑園  
 標石の片割れ(補遺) 太田 武雄  
 岡山の人物 清水宗治 乗岡 実  
 岡山の自然 エヒメアヤメ 藤井 仁恵

岡山の文化財 旧勝田郡役所庁舎  
 園 正雄  
 わが町・わが村の自慢 宇喜多堤  
 記念碑(都窪郡早島町)  
 ふるさとの思い出 寅さん映画最  
 終ロケ地(津山市)  
 二十年間 この世にあった町  
 三つの倉敷 藤井 義光

◆倉敷の歴史 倉敷市総務局総務部総務課  
 〒710-1398岡山県倉敷市真備町箭田  
 1141-1 総務課歴史資料整備室  
 TEL086-698-8151 1991年創刊  
 www.city.kurashiki.okayama.jp/1438.htm

◇27 2017.3 A5 138p  
 東大橋家文書特集  
 倉敷市所蔵備中国屋郡倉敷村  
 東大橋家文書 山本 太郎  
 東大橋家文書に見る大橋敬之助  
 一文久二～元治元年の「日記」  
 を中心として 大島 千鶴  
 文政七年の江戸出訴一件におけ  
 る「古録」村役人の行動 首藤ゆきえ  
 大橋徳蔵の遊学 倉地 克直  
 犬養健と三宅希峰—犬養毅の支持  
 基盤の継承と変容 前田 昌義  
 日中戦争における戦地の兵士一歩  
 兵第七八連隊関連史料を手がかり  
 として 小野 功裕  
 近世倉敷の漢学者・児島信の学識  
 考 足立 賢二  
 大坂書肆河内屋儀助と長尾村小野  
 家 富田 祐生  
 聞き書き倉敷の歴史 職員として  
 体験した三市合併—新市発足五  
 〇周年記念 清水 隆久  
 寂厳と坐禅 中山 薫  
 天明七年六月江戸発古川古松軒書

状と「某氏」 別府 信吾

展示会記録 平成二十八年度資料  
 展示会 御陣屋大変一倉敷代官  
 襲撃・大橋敬之助(立石孫一郎)  
 没後一五〇年  
 新刊紹介 岡崎鎮生『長州第二奇  
 兵隊の悲劇 倉敷・浅尾暴動事  
 件』、原圭一郎『倉敷日曜講演  
 と附属大講演会』、『倉敷市水道  
 百年史』  
 研究誌『倉敷の歴史』1～27号

◆芸備地方史研究  
 〒739-8522広島県東広島市鏡山1-2-3 広島  
 大学大学院文学研究科日本史学研究室内  
 TEL082-424-6643 年3000円 1953年創刊

◇304 2017.2 A5 70p 600円  
 《小特集  
 「建国記念の日」のヒロシマの五〇年》  
 「『建国記念の日』のヒロシマの五  
 〇年」にあたって  
 芸備地方史研究会委員会  
 広島における「建国記念の日」関  
 連行事の動向 石川 遥  
 広島における「建国記念の日」関  
 連諸行事一覧 石川 遥  
 建国記念の日のヒロシマ(50)  
 史料紹介 宮内庁書陵部 九条本  
 「備後国宮家系図」について 田口 義之  
 広島県の地方史研究  
 雑誌目録／研究活動  
 芸備揭示板  
 第25回企画展 海底の戦艦大和  
 一呉市潜水調査の成果  
 呉市海事歴史科学館  
 企画展「広島のスポート」  
 広島市郷土資料館  
 史跡をあるく

南潮山満舟寺栗田樗堂の墓

◆備陽史研究 備陽史探訪の会  
〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8  
TEL084-953-6157 1982年創刊  
bingo-history.net  
◇25 2017.3 A4 84p  
備後渡辺氏の盛衰 田口 義之  
備後『穴の海』の実態と変遷 瀬良 泰三  
沼田小早川氏惣領職と竹原小早川  
氏三代、弘景・盛景・後の弘景  
一応仁・文明の乱の終焉、高山  
城合戦を中心として 木下 和司  
憩亭と菅茶山  
一辻堂の名称に関する提言 田口 由実  
阿部正倫の書状 根岸 尚克  
東海道五十三次一人歩き(坂下宿  
～草津宿) 岡田宏一郎

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会  
〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8  
TEL084-953-6157 bingo-history.net  
◇193 2016.12 A4 22p  
杉原盛重寄進 蓮乗院の仏像 田口 義之  
中世石造物の調査報告 篠原 芳秀  
辻堂百景(10) 福山市駅家町雨木  
「田口の阿弥陀堂」 秋山 由実  
草戸千軒と水路(1)  
一草戸千軒から海への経路 瀬良 泰三  
近世福山の歴史講座  
水野家臣団(3) 高木 康彦  
備後史談  
水野家記御預り之覚(2) 根岸 尚克  
読者便り  
「備後百景」に感じること (O生)  
史料紹介「福山・松永・尾道」地  
域の災害について(3) 岡田宏一郎  
一枚の写真から

鉾山跡標識 文・写真 山本典子  
田口義之の備後山城50選(10)  
典型的な戦国城郭 鷲尾山城跡  
懐かし写真館 沖の稲荷神社  
例会報告 時代の生き証人と共に  
一江田島例会に参加して 見届け人  
山城レポ  
彦根の山城 男鬼入谷城跡 末森 清司  
大分便り 長浜神社おみか餅物語  
後藤 匡史  
会員便り 町内会文化祭出展 末森 清司  
◇194 2017.2 A4 26p  
温故知新 会の足跡を振り返る 田口 義之  
中世石造物の調査報告/山手銀山  
城跡測量調査報告 杉本 憲宏  
研究レポート 草戸千軒と水路(2)  
一草戸千軒の広がり道三川 瀬良 泰三  
古墳講座 指定文化財が語る備後  
の歴史(2)(前)一石鎚山古墳群 網本 善光  
近世福山の歴史講座  
水野家臣団(4) 高木 康彦  
備後史談 福寿会館庭園の石灯籠 根岸 尚克  
田口義之の備後山城50選(12)  
平姓馬屋原氏の居城 九鬼城跡  
「山城探訪」の復刻について  
一枚の写真から  
幕山のくみ取り井戸 文・写真 山本典子  
例会報告 11月バス例会「元禄  
浪漫 播州赤穂城跡と周辺歴史  
地区を巡る」 岡田宏一郎  
会員便り 新年丁酉俳句集 野母 寿子  
大分便り  
後藤神社遷座十周年を迎えて 後藤 匡史  
備後四方山話 刀あれこれ 杉原 道彦  
備後百景 引野町古地 山口 哲晶

◆広島民俗 広島民俗学会  
〒731-0211広島市安佐北区三入1-26-24  
岡崎環方 TEL082-818-3497 1974年創刊  
fs-hiroshima.net  
◇87 2017.3 A5 76p 700円  
平成28年度総会・研究会 シンポ  
ジウム「花田植を伝える」  
コーディネイター・岡崎環  
基調講演 囃し田と音楽 片桐 功  
話題提供  
牛浜養田植の伝承活動 若林 隆志  
原田のはやし田 猪掛 公詩  
再現 安の花田植 内山 一紀  
史料から読み込む民俗一離縁を前  
提とした出産の取り決め 菅 信博  
安芸高田市内神楽団の現状と課題  
アンケート調査の分析より 八島 大樹  
「備後緋」の活性化方策 板野 紫帆  
城下町東城の伝統行事 迫江 勝  
書評  
『かぐら台本集』著者：佐々木順  
三 発行：佐々木敬文 岡崎 環  
『日本誕生の女神 伊邪那美が  
眠る比婆の山』編集：庄原市  
比婆山熊野神社解説本編集  
委員会 岡崎 環

◆みよし地方史 三次地方史研究会  
〒729-4304広島県三次市三良坂町三良坂  
2747 中畑和彦方 TEL0824-44-2753  
1987年創刊  
◇101 2016.12 A4 20p  
《100号記念》  
祝「みよし地方史」  
本会機関誌一〇〇号発行  
創刊号の記事から/研究発表の歩み  
メッセージ「みよし地方史一〇〇  
号」発行に寄せて

伊藤実/大岡廉/小都隆/加藤光臣  
/上重武和/後藤千賀子/佐藤巧/  
四車ユキコ/菅宏司/瀬川信二/立  
畑春夫/中畑和彦/滑英夫/新見理  
恵/藤原和博/藤原一三/富士原昌  
宏/森岡晋/米丸嘉一/鷲尾実  
地方史研究会三十五年のあゆみ  
一年表と写真で綴る  
思い出のアルバム  
「近世古文書解説研究会」テキスト  
ト散見記  
「みよし地方史」(1~100号)掲載  
文著者別総目録

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会  
〒723-0051広島県三原市宮浦6-9-32  
鈴木方 年3600円 FAX0848-63-9932  
◇309 2016.12 B5 12p  
今月の各地  
妙正寺・大田南畝の歌碑 下西 勝彦  
歴史に学ぶ野生生物との共存 現  
代鹿垣(しがき)考(完結編) 行長 啓三  
レキカンハイキング感想文  
レキカン 秋のハイキングに参  
加して 西村 雅幸  
レキカン「新倉・西野の史跡め  
ぐり」に参加して 桧山 幸三  
「レキカン 秋のハイキング」  
補足説明 鈴木 健次  
◇310 2017.1 B5 12p  
今月の各地 新年のご挨拶 上田 嘉信  
「小春紀行」大田南畝が見た210年  
前の三原 下西 勝彦  
三原(旧)一周膝栗毛感想文(1)  
平成28年度の三原(旧)一周膝栗  
毛を終えて 鈴木 健次  
三原(旧)一周膝栗毛道中記 正田 哲夫  
◇311 2017.2 B5 12p

今月の各地 ドローン 行長 啓三  
創立25周年記念 本多博之先生講

演「隆景と秀吉」の記録(1) 事務局  
レキカンハイキング感想文

三原(旧)一周藤栗毛に参加して  
(第6コース) 桧山 幸三

藤栗毛第7コースに参加して 西村 雅幸  
◇312 2017.3 B5 12p

今月の各地 東軍に勝利をもたら  
せた若き武将 小早川秀秋 友宗 邦夫

春の研修ハイキング「糸崎の史跡  
めぐり」ご案内 大谷 和弘

創立25周年記念 本多博之先生講  
演「隆景と秀吉」の記録(2) 事務局

三原市本郷町 西野田火葬墓(1) 福井 万千

#### ◆徳島県立博物館ニュース

〒770-8070徳島市八万町向寺山 文化の森  
総合公園 TEL088-668-3636 1990年創刊

www.museum.tokushima-ec.ed.jp

◇105 2016.12 A4 8p

表紙 辰砂原石と辰砂採掘に用い  
られた道具(阿南市若杉山遺跡

及びその周辺から出土) 岡本 治代  
海草化石かとされていたコダイア

マモの正体が判明! 中尾賢一/小竹信宏  
特別陳列 古代の彩り 徳島の朱

館蔵品紹介  
阿波藍商 手塚家資料 松永 友和

情報BOX 徳島城下町跡から出  
土した木製品の保存処理につい

て 植地 岳彦  
レファレンスQ&A ダングムシ

はなぜ光るのですか? 小川 誠  
◇106 2017.3 A4 8p

表紙 アゴヒゲアザラシ 佐藤 陽一  
チシャ菜のこと 庄武 憲子

特別陳列 日本のアザラシと極地

の動物たち

情報BOX 大西覚用の熊野参詣  
と16世紀の政治情勢 長谷川賢二

館蔵品紹介 イタコルマイト 中尾 賢一  
レファレンスQ&A 「太布」っ

てどんなものですか? 最近文  
化財指定になるという話を聞い

たのですが… 磯本 宏紀

#### ◆伊予史談 伊予史談会

〒790-0007愛媛県松山市堀之内 愛媛県立  
図書館内 1915年創刊

◇384 2017.1 A5 41p 750円  
古代宇摩郡の南海道大岡駅家に関

する試論 井原 恒久  
予土和睦関する一考察—十二月十

九日付小早川隆景書状の年代比  
定を中心に 中平 景介

史料紹介 松山藩領生名島におけ  
る贋金製造 村上 貢

報告 第九回四国地域史研究連絡  
協議会(愛媛大会)参加記 伊津見孝明

コラム  
「籌海庫」は伊達宗城の蔵書印 (淳)

新刊紹介 愛媛県歴史文化博物館  
編『愛媛の祭りと芸能』、風早

活性化協議会編『祭都風早ガイ  
ドブック』、一般社団法人今治

文化振興会今治城編『今治藩主  
久松平氏の世界』、田中修司

著『十円易者村上桂山 風狂の  
路上人生』 編集部

郷土その日その日 編集部(袖山俊夫)  
例会記事 第1216回~第1218回

四国地域史研究連絡協議会愛媛  
大会 シンポジウム「四国の城

を考える」

#### ◆小松史談 小松史談会

〒799-1101愛媛県西条市小松町新屋敷甲  
3007-1 西条市立小松温芳図書館郷土資料

室 TEL0898-72-5634  
◇143 2017.1 A5 124p 500円

伊能忠敬の生涯と偉業 加藤 康明  
篤山 若き日の悩み(書簡を読む)

古文書シリーズ(10) 石丸 敏信  
法安寺跡と伊予の古代 越智 敏雄

杖掛松の史実検証と若干の考察 佐伯 博  
小松 道物語(7) 商店街の覚書 伊藤 敏昭

小松の椿シリーズ・第1回「篤山  
椿」 越智 敏雄

〈篤山遺稿〉の漢詩を読む(5)  
温芳漢文学習会

我が家の年中行事(幼き日の想い  
出) 黒河 一誠

北村六合光先生逝く 石丸 敏信  
なにわ異国船騒動 北村六合光

小松の歴史 4コマ漫画 處 友香  
足立重信の所領周桑郡について

『佐伯家資料集』より 竹内 真人  
平成28年度第1回史跡めぐり報告

高知「龍馬と長宗我部氏を訪ね  
て」 織田 義彦

第2回史跡めぐり報告 二宮忠八  
の偉業と町見郷土館の活動から

学ぶ 加藤 康明  
石碑建立報告 三島神社に奉納石

碑建つ「日野強 生誕の地」顕  
彰碑建つ (石丸)

文化財「篤山旧邸土塀」修復完成  
事務局(友澤)

近藤篤山先生生誕二百五十年記念  
行事 事務局(友澤)

黒川氏三代の剣山城 登山 (織田)

#### ◆探訪 土佐の歴史物語

〒781-1143高知県土佐市波介489  
田所義英方 2014年創刊

◇1 2014.5 A5 66p

発刊のことは

表紙写真 波介 宇佐八幡宮

板原博文・撮影

本山氏の蓮池侵攻と佐川郷谷地に

ついて 朝倉 慶景

波介の集落について 田所 義英

蓮池城と中世の城 板原 博文

土地条件図からみた土佐市と高知

市春野町の地名について 河野 功

高知城下の絵図は南を上にして 東野 博文

「土佐市家俊」の村 尾崎 紮

大坂の陣・豊臣三人衆一長宗我部

盛親・毛利勝永・真田幸村の最

期 明神 眞二

◇2 2015.1 A5 54p

表紙 醫王山鏡池院清瀧寺 本尊

薬師如来立像 伊東 聖隆

四天王寺五智光院領高岡荘の年貢

集散地について 朝倉 慶景

三宝山城址について 田所 義英

「松風城」について 尾崎 紮

八坂八浜のひとつ高祖坂について

東野 博文

出間村の「聖ヤシキ」と「聖神」

について 明神 眞二

土佐市のホノギ(小字)

一蓮池東部地区 板原 博文

◇3 2015.7 A5 68p

表紙 小村神社(おむらじんじゃ)

撮影者・橋本俊二郎

土佐国高岡・蓮池地域の芸能につ

いて 朝倉 慶景

土地条件図から見た高知市春野町

の地名について 川野 功

蓮池八幡宮奉納文書に見られる善  
福寺について 板原 博文  
佐川氏について(1) 尾崎 紮  
「延喜式」—土佐国廿一座めぐりⅡ  
香美郡の神々との出会い 朝倉 教室  
土佐戦史(1) 田所 義英  
土佐市の神社(小祠)と寺院(仏堂)  
巡り(1)—出間の仏堂・観音様  
と毘沙門様について 明神 眞二  
清滝・津野氏の由来 橋本俊次郎  
◇4 2016.1 A5 94p  
表紙 神踊りについて 高知県土  
佐市市野々 天満宮 撮影者・橋本俊次郎  
大善寺 松本 紀郎  
古代社会における土佐市の条里制  
遺構地について 朝倉 慶景  
沼山村馬牧を支える灰方馬牧につ  
いて 東野 博文  
佐川氏について(2) 尾崎 紮  
柏尾山求聞持院観音寺について 板原 博文  
土佐戦史(2) 田所 義英  
津野定勝公と勝興公の墓所を訪ね  
て 橋本俊次郎  
口碑(口承) 高岡郡戸波郷の住人  
「どくれ半七」について 明神 眞二  
◇5 2016.6 A5 70p  
表紙 琴弾八幡宮の再建碑文  
琴弾八幡宮再建委員会  
／撮影者・橋本俊次郎  
蓮池権守家綱と源希義について 朝倉 慶景  
四天王寺秋野坊文書にみる高岡荘  
についての一考察 板原 博文  
戸波城城将 福井玄蕃頭 田所 義英  
土佐国における馬牧の成立とその  
過程—沼山村馬牧を支える尾川  
馬牧について 東野 博文  
佐川氏から中村氏へ(1) 尾崎 紮  
戸波郷永野村の神山(こうやま)氏

と出間村の明神氏について 明神 眞二  
チョウマーベイヤー(宇佐八幡宮  
の神歌)について 橋本俊次郎  
◇6 2017.1 A5 84p  
表紙 西宮八幡宮(高知県土佐市蓮池)  
撮影者・橋本俊次郎  
森八幡宮と森氏婦人の墓 石元 清士  
ダンチクについて 甫喜本 一  
長宗我部地検帳に見られる上分・  
下分・田所分について 朝倉 慶景  
西原清東が設立した「出間青年会  
図書館」とその蔵書について 明神 眞二  
カナツキと押し送りについて 田所 義英  
大平氏累代の墓所と菩提寺につい  
て 橋本俊次郎  
長宗我部地検帳にみる職種の人(1)  
朝倉 慶景  
南海道の成立時期について 東野 博文  
土佐国高岡荘の荘園痕跡について  
板原 博文  
◆秦史談 秦史談会  
〒780-0023高知県高知市東秦泉寺283  
松本紀郎方 TEL088-875-6671 1984年創刊  
◇189 2017.2 B5 62p  
表紙説明 澤田正二郎先祖の墓  
(泰山) 絵・松下政治／文・松本紀郎  
戦史(31) 岸壁の母(2) 新二は  
生きていた—悲劇の母と子 毛利 俊男  
猫神あれこれ 広谷喜十郎  
紀貫之と四国路(2) 溝渕 匠  
悪女たちの招待状 千頭 将宏  
秦・史跡めぐり余滴(25)  
一敷紡敷地 (松本)  
旧制城北・海南中学合併問題の拾  
遺 大岸由起子  
『福岡家御用日記』という史料 岩崎 義郎  
古記録に見る諸事(4)

借上げ米 鍋島 静一  
もの忘れ名人 大岸由起子  
土佐郡万城主 久万氏について 香崎 和平  
苛めの歴史は古い 笹原 保博  
京、築、神楽について 笹原 保博  
ベースボール 大リーグ見聞記(2)  
千頭 将宏  
才谷屋・豪商の片鱗 原田 英祐  
秦・史跡めぐり余滴(28)—ドノマ (松本)  
秦の昔話 子どもを守る 小山神  
社(愛宕山)／龍王様の蛇(前里)  
(『こうち童話』から) 永野美智子  
宍戸しげさんの両親の墓、片岡家  
の墓を訪ねて… 長島 伸郎  
グループだより 秦史談会(『土  
佐史談』263号・2016年12月から)  
岡村庄造氏拓本集から(40)

### 九州・沖縄

◆季刊邪馬台国 梓書院  
〒812-0044福岡市博多区千代3-2-1 麻生ハ  
ウス3階 TEL092-643-7075 年5400円  
1979年創刊  
◇131 2016.12 A5 240p 1250円  
巻頭言 まほろばを求めて 編集部  
時事古論(4) 再論詳説・洛陽で  
発見された「三角縁神獣鏡」詳  
論(2) これは、やはり、現代  
中国での捏造鏡である 安本 美典  
〈わたしの古代史論〉受賞論文特集  
「わたしの古代史論」入賞論文総評  
河村 哲夫  
最優秀賞  
香椎宮の祭祀空間と神功皇后 東 久仁政  
神武は鯨を見たか?—神武東征  
と神武歌謡を考える 宮崎 照雄  
審査員特別賞 奈良盆地をヤマト  
(邪馬台)と名づけたのは天照大

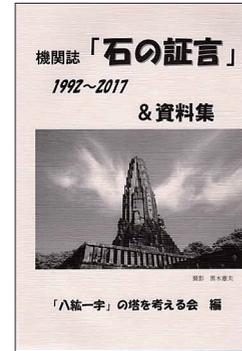
神の孫=饒速日尊—我が故郷・  
奈良(那羅)も奴国(那のクニ)の  
地名が移ったもの 飯田 眞理  
優秀賞  
魏志が辿った邪馬台国への径と  
国々 塩田 泰弘  
私の「邪馬台国」試論—「魏志  
倭人伝」より「邪馬台国」を  
読み解く 愛川 順一  
敢闘賞  
素戔嗚尊は徐福を神格化した神  
か 児玉 眞  
金印は「ヤマト」と読む 田口 裕之  
オトナ女子のコラム  
晴れ、ときどき、古代史 藤江かおり  
新連載 神社仏閣・縁起めぐり  
「敵国降伏」笹崎宮 編集部  
「魏志倭人伝」とは?  
その基礎知識 笛木 亮三

◆久留米郷土研究会誌  
〒839-0862久留米市野中町970-1  
久留米市立中央図書館内 TEL0942-38-7116  
◇30 2017.3 B5 92p  
佐賀城化け猫騒動の真相 香月 玉夫  
久留米藩直心影流剣術師範 今井  
静摩良成について 酒井 一也  
久留米おきあげの歴史と魅力 樋口 一成  
戦国武将 戸次(立花)道雪につい  
て 西野 浩平  
久留米市諏訪野町“今昔” 小川 喬義  
久留米空襲関連年表 坂田 健一  
高良川沿いの水車跡をめぐって 秋山 正信  
◆末盧国 松浦史談会  
〒847-0824佐賀県唐津市神田2118-1  
TEL0955-73-3549 年2000円 1962年創刊  
◇208 2016.12 B5 20p

木造薬師如来坐像  
 法輪寺 唐津市相賀 志佐 惲彦  
 寺沢広高伝研究の現状と課題 寺沢 光世  
 「松浦瀉」、諸相に見る風景賞翫 田島 龍太  
 秋の史談会旅行 高野山と鳥羽、  
 奈良を訪ねる旅 松本 和典  
 久里双水古墳から見える一首長制  
 社会から古代国家づくりへの道  
 堀川 義英  
 秀吉が名護屋城から広めた桃山文  
 化・能 熊本 典宏  
 庄屋文書を読む(2)  
 一その魅力と意義 山田 洋  
 ◇209 2019.3 B5 20p  
 木造愛染明王坐像 唐津市相知町  
 黒岩(芙蓉山医王山) 志佐 惲彦  
 原田伊予と天草島原の乱—原田氏  
 の流転と唐津藩の行方 寺村 朋輝  
 天草富岡城代川村四郎右衛門と小  
 瀬氏 寺沢 光世  
 久里双水古墳から見える一首長制  
 社会から古代国家づくりへの道  
 (2) 堀川 義英  
 吉村茂三郎著 松浦史料の研究  
 二 山田 洋  
 地名伝説  
 石室の「城の元」・「銃ヶ峰」 熊本 典宏  
 たちはなとさくらきのあや 式島 若彦  
 古文書史料 『平松儀右衛門道中  
 日記』 檜垣文庫(九州大学図書  
 館蔵) 解題・山田洋  
 解説 『平松儀右衛門道中日記』 久我 圭子  
 庄屋文書を読む(3)  
 一その魅力と意義 山田 洋

◆石の証言 「八紘一字」の塔を考える会  
 〒880-0026宮崎市波島2-30-2 佐藤文則方  
 年2000円 1995年創刊

◇76 2017.1 A4 8p  
 石の証言  
 朝鮮総督府 45×60 花崗岩  
 「平和の少女像」が提起するもの 税田啓一郎  
 日本国憲法は母を強くする 佐川 嘉正  
 ◇77 2017.3 A4 6p  
 石の証言 新京特別市 45×70cm  
 機関誌「石の証言」複製合本&資  
 料集の発行 追込 敏弘  
 「平和の少女像」が提起するもの  
 (2) 欧州ドイツに初めて「平  
 和の少女像」設置/北原みのり  
 「『平和の碑』と『少女像』」 税田啓一郎  
 \*日中戦争を契機とする国民精神総動員運動  
 が進められる中、1940年に紀元2600年記念事  
 業として宮崎市郊外の高台に建立された「八  
 紘之基柱」について、①塔建設の史実を調査  
 研究する、②戦前・戦中・戦後の現代史を学  
 ぶ、③全国各地の現代史掘り起こし活動と交  
 流する、ことを目的に「平和の塔」の史実を  
 考える会(後に、「八紘一字」の塔を考える  
 会)が発足したのは1991年のことである。以  
 来、定例学習会や毎年8月15日のウォッチン  
 グ「八紘一字」の開催、ブックレット(日本  
 語版、英語版)や資料集の刊行などの活動を  
 続けてきた。機関誌『石の証言』は、1992年  
 2月に会報『もとはしら』として創刊され、  
 同年8月に改題し、ほぼ隔月に発行して今日  
 に至っている。この度、会発足25周年を記念  
 し、会報・機関誌(1~76号)、県知事への申  
 し入れ文書、新聞報道、シンポジウム報告、  
 チラシなどをまとめて複製合本した資料集  
 (本誌89頁参照)を刊行した。先年、国会で女  
 性議員から八紘一字は日本建国以来の価値観  
 であるとの発言があったが、八紘一字がどの  
 ような歴史的脈で使われてきたのか、シン  
 ポジウム報告集にある「知的な追及」こそが  
 必要なのではなからうか。その意味において、



「八紘一字」の塔を考える会の活動意義はま  
 ことに大きいと考えるものである。

◆鹿児島民具 鹿児島民具学会  
 〒895-0011鹿児島県川内市天辰町2365  
 鹿児島純心女子大学附属博物館内  
 年2500円 1980年創刊  
 ◇29 2017.3 B5 110p  
 《蒲生町特集号》  
 表紙 蒲生御飯屋門 文責・有村澄子  
 口絵 漆のおかべ(豆腐)づくり 牧島知子/井上賢一  
 序文—始良市蒲生町の民具調査を  
 実施して 森田 清美  
 蒲生町の民俗・民具・歴史話題 江口 秀丸  
 蒲生町特集  
 蒲生町の民具調査に寄せて—漁  
 法と漁具、箆、バラ踊り、太  
 鼓踊りについて 下野 敏見  
 近藤津代志  
 蒲生すき和紙、菜種油 坂元 恒太  
 漆のウマゴヤに残る農具 小島 摩文  
 蒲生町の田の神石像 川野 博志  
 蒲生町の茶作り 有村 澄子  
 蒲生の木と民具 牧島 知子  
 蒲生町食文化の変遷 牧島 知子  
 蒲生町の運搬具・民俗芸能具か  
 ら 井上 賢一

蒲生町の石塔 松田 誠  
 蒲生町民俗信仰の特色 森田 清美  
 蒲生民具調査に参加して 二見 剛史  
 蒲生町の一古老からの聞き取り 高山真一郎  
 蒲生女性の会 有村 澄子  
 南大東島を旅して 牧 洋一郎  
 トコウスとコガネ 坂元 恒太  
 追悼 海江田義広さんを偲ぶ  
 小島摩文/井上賢一  
 宇部地区で見かける民具の面白さ  
 橋口 尚武

◆鹿児島民俗 鹿児島民俗学会  
 〒890-0056鹿児島市下荒田4-1-18  
 阿多利昭方 TEL099-253-1775  
 年4000円 1950年創刊  
 ◇150 2016.12 B5 112p  
 表紙写真解説  
 鹿屋市王子町鉦踊りの特徴 所崎 平  
 加世田土踊りの歌謡と演技 松原 武実  
 民俗行事を担う悪石島の祭祀組織  
 渡山 恵子  
 木製民具—イオオケ(魚桶) 牧島 知子  
 「さのぼい」に関連する諸行事に  
 ついて 石野 宣昭  
 「海の新幹線」を構築しよう 日  
 本列島全域の活性化をめざして 牧 民郎  
 末代まで崇る 霧島修験池郷民部  
 の怨霊と浄化(1) 池郷民部の怨  
 霊鎮魂 森田 清美  
 第20回かごしま郷土芸能(平成28  
 年10月23日)報告 所崎 平  
 大浪池の龍神とお浪の物語—大浪  
 池をめぐる霧島信仰圏の伝説を  
 巡って 森田 清美  
 トカラ列島生業総括—トカラを中  
 心とし、薩南諸島をアジア視点

で論ずる 下野 敏見  
徳之島井之川島口の位置資料覚書  
(2) 本田 碩孝  
資料 安永二年 次渡日帳 川邊  
前床重治・編  
みんぞく・かわらばん 長崎オク  
ンチの九連環踊／田は稲か？／  
怖い森／アマンパン／河南源兵  
衛の「旅日記」 所崎 平

#### ◆宮古郷土史研究会会報

〒906-0013沖縄県平良市下里1223-8  
下地和宏気付 TEL0980-72-9963  
年3000円 1977年創刊  
◇218 2017.1 B5 8p  
1月定例会レジュメ  
宮古のグスク時代における階級  
社会を考えるための先行研究 本村麻里衣  
2月定例会レジュメ  
水納島の「鷹塚」について 下地 和宏  
宮古諸島における津波堆積物への  
研究—11月定例会のまとめ 久貝 弥嗣  
三つの軍用飛行場はどのように利  
用されたのか—12月定例会より  
下地 和宏  
宮古へのおもい 新城 宗史  
宮古島市総合博物館 第31回企画  
展「現代宮古の作家たちX」 寺崎 香織  
企画展関連講話 宮古島の絵画同  
人「二季会」の画家達—下地明  
増・本村恵清・平野長伴 講師：  
瑞慶山昇  
平成28年度子ども博物館 第5回講  
座「東平安名崎の自然と歴史」  
の紹介 寺崎 香織  
埋蔵文化財公開活用事業第四回文  
化講座 先島の人類史解明を目  
指して—宮古島の人骨調査から

久貝 弥嗣  
歴史的過渡期に出発した伊良皆春  
宏先輩逝く 学校・社会両面に  
業績残す 仲宗根將二  
民主・平和運動の拠り所 日本キ  
リスト教団 宮古島教会開設70  
年 仲宗根將二  
◇219 2017.3 B5 8p  
3月定例会レジュメ 集落遺跡か  
ら見る中世相当期から近世期に  
かけての変遷(1)—沖縄県内の  
事例を対象として 山本 正昭  
1月定例会まとめ 久貝 弥嗣  
「鷹塚」伝説と百合若伝説  
—二月定例会を終えて 下地 和宏  
シマジリクジラ化石の発掘と今後  
の研究・活用について 安谷屋 昭  
稲村賢敷『倭寇史跡の研究』に学  
ぶ(4) 下地 和宏  
埋蔵文化財公開活用事業 第五回  
文化講座 遺跡から見えてきた  
自然災害の痕跡—先島諸島地域  
を中心にして 久貝 弥嗣  
刊行物紹介  
『国指定名勝及び天然記念物「八  
重干瀬」保存活用計画策定報  
告書』、『全志川豊見親屋敷跡  
—範囲確認調査』 久貝 春陽  
『国仲砂川の壕』 久貝 弥嗣  
藤澤健一編『移行する沖縄の教員  
世界』 仲宗根將二

#### 寄贈図書紹介

◆マンガ長久保赤水の一生  
付赤水先生為学入門抄・志学警現代語訳  
高萩郷土史研究会編(〒318-0034 茨城県高  
萩市高萩258-7 神永久米男 TEL0293-22-4445)

長久保赤水顕彰会(〒318-0103 茨城県高萩  
市大能341 佐川春久 TEL0293-28-0405) マン  
ガ制作:原康隆 2017年1月 B5 189頁  
1000円  
『マンガ長久保赤水の一生』を読んで謎解き  
に挑戦しよう!(馬場章)／日本を救い続ける  
赤水先生(草間吉夫)／祝 『マンガ長久保赤  
水の一生』と『赤水先生為学入門抄』の掲載  
出版(長久保片雲(源藏))／はじめに 長久保  
赤水(一七七一～一八〇二)とはこの国の人々  
に自分が地球上のどこに立っているのか、そ  
の位置を初めて教えた男／マンガ長久保赤水  
の一生(原康隆)／『赤水先生為学入門抄』・  
『志学警』現代語訳／『赤水先生為学入門抄』  
現代語訳／『志学警』現代語訳／名越南溪か  
ら赤水への手紙(体系的学問の教え)現代語訳  
◆井伊直虎と戦国の女100人  
川口素生著 P H P 研究所(〒102-8331 東  
京都千代田区三番町3-10 TEL03-3239-6233)  
2017年1月 文庫版 322頁 619円  
井伊直虎の生涯／戦国の女100人(井伊家と  
今川家の戦国女性たち、室町将軍家・古河公  
方家の戦国女性たち、東北・関東の戦国女性  
たち、甲信越の戦国女性たち、北陸・東海の  
戦国女性たち、近畿の戦国女性たち、山陰・  
山陽・四国の戦国女性たち、九州・琉球の戦  
国女性たち、織田信長をめぐる女性たち、豊  
臣秀吉をめぐる女性たち、徳川家康をめぐる  
女性たち)  
◆疑問に迫る日本の歴史  
松本一夫著 ベレ出版(〒162-0832 東京都  
新宿区岩戸町12 レベッカビル TEL03-5225-  
4790) 2017年1月 B6 325頁 1600円  
原始・古代から近現代まで40のテーマを設け  
て、それぞれにいくつもの疑問点を投げかけ  
ながらさまざまな史料を通じて歴史の真相を  
解き明かす、考えながら学ぶ日本の歴史。  
◆空襲被災者と戦後日本 東京大空襲・戦災

資料センター2017年第1回特別展  
政治経済研究所附属東京大空襲・戦災資料セ  
ンター(〒136-0073 東京都江東区北砂1-5-4  
TEL03-5857-5631) 2017年2月 A4 6頁  
東京大空襲・戦災資料センターの特別展(2017  
年2月25日～4月9日)パンフレット。空襲で  
傷を負った戦災傷害者や戦災遺族について、  
2015年4月から始まった空襲被災者運動研究  
会による共同研究の中間報告とともに、全国  
戦災障害者連絡会の故杉山千佐子氏寄贈資料  
をはじめ各地の空襲遺族団体や名古屋空襲訴  
訟に関わる資料など、新たに収蔵した資料を  
紹介する。総力戦と空襲／空襲被災者運動の  
展開／戦災傷害者の戦後史／終わらない戦後  
—エピソード／略年表  
◆高尾山薬王院の歴史  
外山徹著 大本山高尾山薬王院(〒193-8686  
東京都八王子市高尾町2177 TEL042-661-1115)  
発行所:ふく出版(〒192-0903 東京都八  
王子市万町34-1 TEL042-622-6315) 2014年1  
月 A5 279頁 1900円  
高山山信仰のあけぼの(高尾山と太古の信仰、  
高尾山縁起の世界、中世～近世初期の高尾  
山)／信仰の山—高尾山(高尾山に祀られた  
神仏、高尾山信仰の展開、人々が求めた利  
益)／江戸幕府の寺社支配と高尾山(江戸幕  
府の寺院統制、高尾山寺領の成立、将軍との  
儀礼)／武家による信仰／高尾山信仰の興隆  
(信仰圏の構造、護摩札配札と信仰圏の拡張、  
薬王院と江戸、御影供と開帳、講中に集う  
人々)／伽藍形成・山内名所と寺院経営(伽  
藍の形成、山内名所の成立、寺院経営)／幕  
末・明治維新の高尾山  
◆復興へのキセキ  
長野県神城断層地震 白馬村震災記録誌  
長野県白馬村役場総務課編 長野県白馬村  
(〒399-9393 長野県北安曇郡白馬村大字北  
城7025 TEL0261-72-5000) 2016年10月 A4

2014年11月22日22時08分に発生した、長野県北部を震源とするマグニチュード6.7の「長野県神城断層地震」における白馬村の記録。長野県神城断層地震記録誌の刊行にあたって(下川正剛)／地震の概要—断層の脅威 地震発生メカニズム 逆断層として動いた神城断層(大塚勉)／被害の状況—村が震えた日 道路等の地表の被害(大塚勉)、建築物の被害(浅野良晴)、インフラの被害(内川義行)／避難救助—近助・共助の力 地区に根ざした「近助」の力(鎌倉宏)、人の助け合いに感謝(柏原輝久)、多くの人を助ける側にまわりたい(三浦洋二)、隣近所と家族の繋がりに助けられて(津滝君和)、応急仮設住宅の狭さにむしろ安心した避難生活(嶋田悠二)、防災におけるコストパフォーマンス(横山義彦)、“人”の繋がりに支えられた避難生活(中村純子)、専門知識と技術を持った官民連携の復興支援を(橋の口みゆき)／災害対策—どう動いたのか 地震発生からの経緯、災害対策本部の動向／復旧復興—明日に向けて槌音高く 建築物の復旧・復興への指針(浅野良晴)、農村・農業復興への指針(内川義行)、写真で綴る復興への道、実施した主な各種支援制度

#### ◆岐阜縣不破郡案内(復刻版)

岐阜縣不破郡役所編纂 岐阜縣郷土資料研究協議会(〒500-8368 岐阜市宇佐4-2-1 岐阜県図書館内 TEL058-275-5111) 2017年1月 A5 200頁

大正3年(1914)7月に刊行された『岐阜縣不破郡案内』の復刻版。古くから美濃の中心として栄えた不破郡についての要項をまとめた小地誌で、名所旧跡や人物など貴重な写真も多数収録。不破郡全図／郡内指導図／郡内里程・哩程表／名所古蹟／史伝／統計／営業

◆平成27年度京都府域の文化資源に関する共同研究会報告書(洛北編) 平成28年度文化

芸術による地域活性化・国際発信推進事業 京都府文化スポーツ部文化政策課編・刊(〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-29 TEL075-723-4831) 2016年11月 A4 240頁

京都市左京区北山地域を文化と環境に包まれた京都を発信する街とする「北山文化環境ゾーン」構想の一環として整備中の「京都府立京都学・歴史館」プレ事業の成果。文化としての洛北の自然(阿部健一)／京都北山のヤママユ類の活用と生息環境保全(齊藤準)／自然資源としての農山村におけるササの利用と京都の文化(深町加津枝)／江戸時代の賀茂別雷神社における造営について(小出祐子)／近世社会における賀茂葵信仰(藤本仁文)／京都大原山勝林院に関する調査研究(鈴木久男)／洛北小野の里と尚齒会(鳥居本幸代)／京都洛北地域の景観変化とその時代的創造性—修学院村を中心に(渡邊秀一)／近世後期における洛北長谷村の生活と領主聖護院・天皇葬送(東昇)／雑煮と納豆餅(中村治)

#### ◆香呂地区自治会文書目録

香呂地区連行自治会・香寺町史研究室編(〒679-2131 兵庫県姫路市香寺町犬飼464-1 犬飼公民館別館 TEL079-280-6665) 香寺町史研究会刊 2017年2月 A4 57頁

香寺歴史研究会と香呂地区連合自治会とが協働で実施した平成28年度姫路市提案型協働事業「地域の力で地域史料を保存継承する」の成果。平成10年(1998)から始まった香寺町史編さん事業で調査・整理された各自治会文書を引き継ぐかたちで、その後の文書を中心としてそれぞれの自治会によりまとめられた文書目録。自治会文書とその保存について(大槻守)／香呂／行重／矢田部／相坂／田野／犬飼／中仁野／中屋／廣瀬南／廣瀬北

#### ◆神前郡(その2)―補論

妙見山麓遺跡調査会紀要25 神崎勝著 妙見山麓遺跡調査会(〒679-1214

兵庫県多可郡多可町加美区的場294 TEL0795-35-0555) 2017年1月 A4 22頁

妙見山麓遺跡調査会主催の風土記講座『播磨風土記』の記録。神前郡の諸勢力と王権による支配／五、六世紀における伊予とヤマト政権(講演記録 2015.8.8. 於大阪天満橋にて)

◆真念「四国遍路道志るべ」の変遷 書誌研究その5

新居正甫編・刊(〒569-1021 大阪府高槻市弥生が丘町30-10 TEL072-689-2893) 2017年2月 B5 174頁 非売品

四国遍路についての初めての案内書となった宥辯真念「四國邊路道指南」についての書誌学的研究第5冊。へんろ道筋の変化・地震による土佐入国禁止／納経帳／納経帳の一覧表・影印／幕藩体制から明治新政府へ／明治年代の『四国遍路道志るべ』『四国霊場略縁起 道中記大成 全』、『明治新刻 四国遍路道志るべ 全』、『改正 四国霊場遍禮順路指南増補大成』

◆機関誌「石の証言」1992～2017 & 資料集「八紘一字」の塔を考える会編・刊(〒880-0026 宮崎市波島2-30-2 佐藤文則方) 2017年2月 A4 663+92頁

#### ◆後記

2017年5月1日付「産経ニュース」で、滋賀民俗学会会長 菅沼晃次郎氏(89歳)が本年2月に死去されたことと、同氏の死去によって、雑誌『民俗文化』が昨年11月の638号を最後に発行できない事態に陥っていることを知った。同誌は1963年9月の創刊で、月刊、B5判、12頁を維持してきた。月刊の地方誌は同誌の他には、『伊那』(長野県、伊那史学会)、『伊那路』(同、上伊那郷土研究会)、『信濃』(同、信濃史学会)と『近畿文化』(大阪府、近畿文化会)の5誌しかない。会員と執筆者の減少、資金難などで各地の研究誌の発行はどれも困難な状況にあるが、『民俗文化』の場合は、それでも大変な月刊誌の編集を菅沼氏がほぼ一人で担当してきたというのであるから、この帰結は早晩予測できたことでもある。同誌は民俗学の専門誌として、地域調査に基づく民俗と生活の諸相を記録してきたことは申すまでもないが、菅沼氏は毎号巻頭文を執筆し、広く社会情勢や世相に目を向け、鋭い批判精神を発揮された。毎号それを読むのが楽しみであった。菅沼氏の冥福を祈ると共に、滋賀民俗学会会には態勢を整えて再出発して欲しいと願わずにはられない。(飯澤)

地方史情報 133 2017年(平成29年)9月 発行 <http://www.iwata-shoin.co.jp>  
定価0円(送料90円) 年間購読料 税込1000円(送料として) 振替口座00100-2-564137  
発行所：岩田書院 〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757